

II 兒童生徒編

Ⅱ-1 属性

(1) 学校種別

	小学生	中学生	高校生	合計
回答数(人)	668	756	654	2,078
割合(%)	32.1	36.4	31.5	100.0

(2) 地域別

	備前県民局	備中県民局	美作県民局	合計
回答数(人)	896	862	320	2,078
割合(%)	43.1	41.5	15.4	100.0

(3) 同居している人<問1>(複数回答)

	父	母	兄弟・ 姉妹	祖父	祖母	叔父、 叔母、 その他の の親戚	その他 の人	無回答	合計
回答数(人)	1,774	2,007	1,705	308	436	60	27	1	2,078
割合(%)	85.4	96.6	82.1	14.8	21.0	2.9	1.3	0.0	100.0

II-2 調査結果

1 朝食について

問2 あなたは、朝食を食べていますか。《○は1つ》

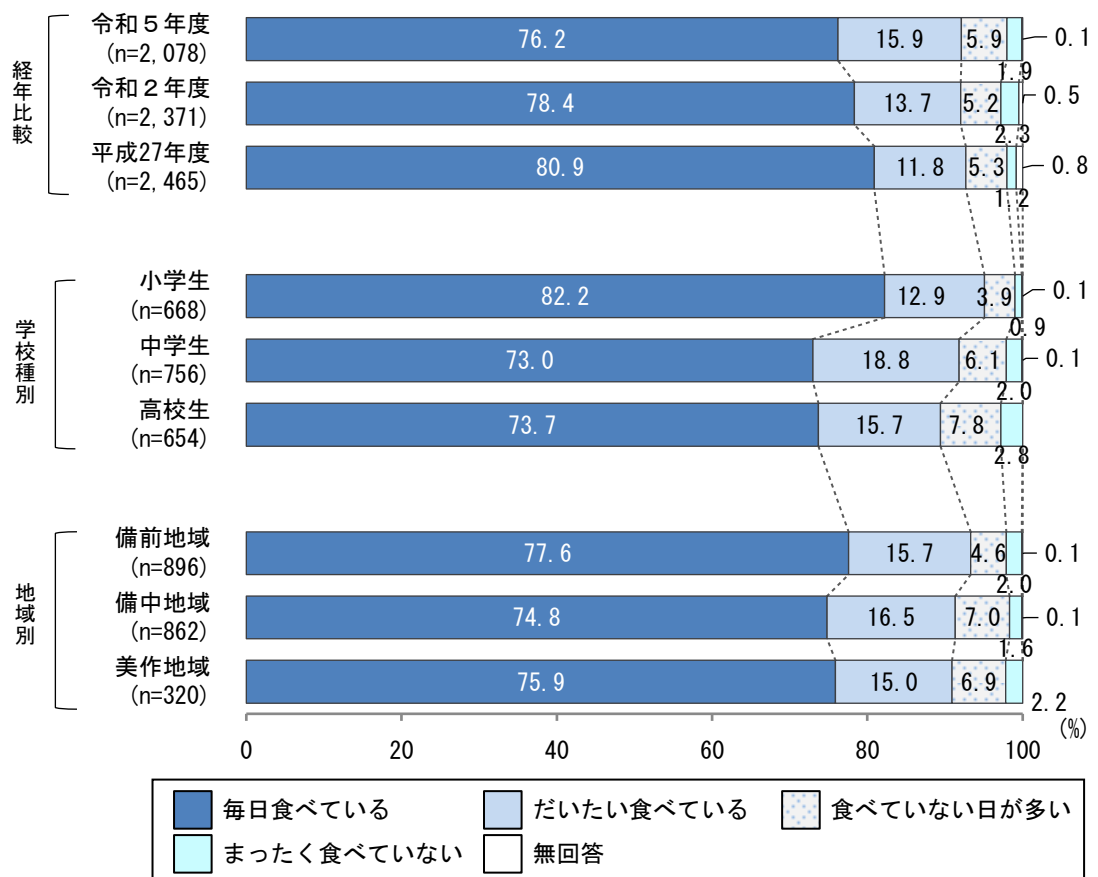
朝食の摂取状況について、「毎日食べている」との回答が76.2%と最も高く、次いで「だいたい食べている」(15.9%)、「食べていない日が多い」(5.9%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「毎日食べている」との回答は小学生が8割超と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 朝食の摂取状況（経年比較・学校種別・地域別）】



2 夕食について

問3 あなたは、誰と一緒に夕食を食べることが多いですか。《〇はいくつでも》

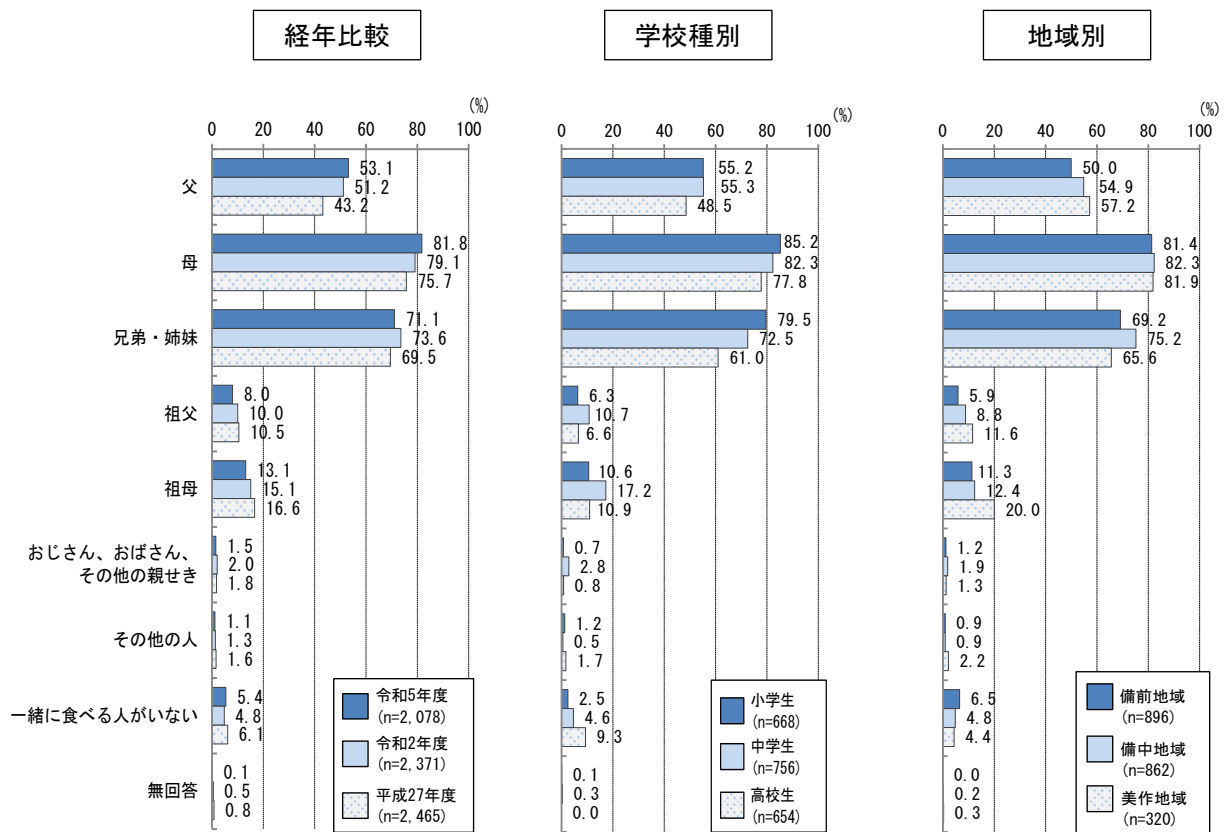
夕食を共に食べる人について、「母」との回答が81.8%と最も高く、次いで「兄弟・姉妹」(71.1%)、「父」(53.1%)などの順となっている。

経年比較すると、「父」との回答は今回調査が前回調査を1.9ポイント、「母」との回答は2.7ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「母」、「兄弟・姉妹」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「一緒に食べる人がいない」との回答は高校生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「兄弟・姉妹」との回答は備中地域で7割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 夕食を共に食べる人（経年比較・学校種別・地域別）】



3 就寝時間について

問4 あなたは、平日（翌日に学校がある日）は何時頃に寝ていますか。《○は1つ》

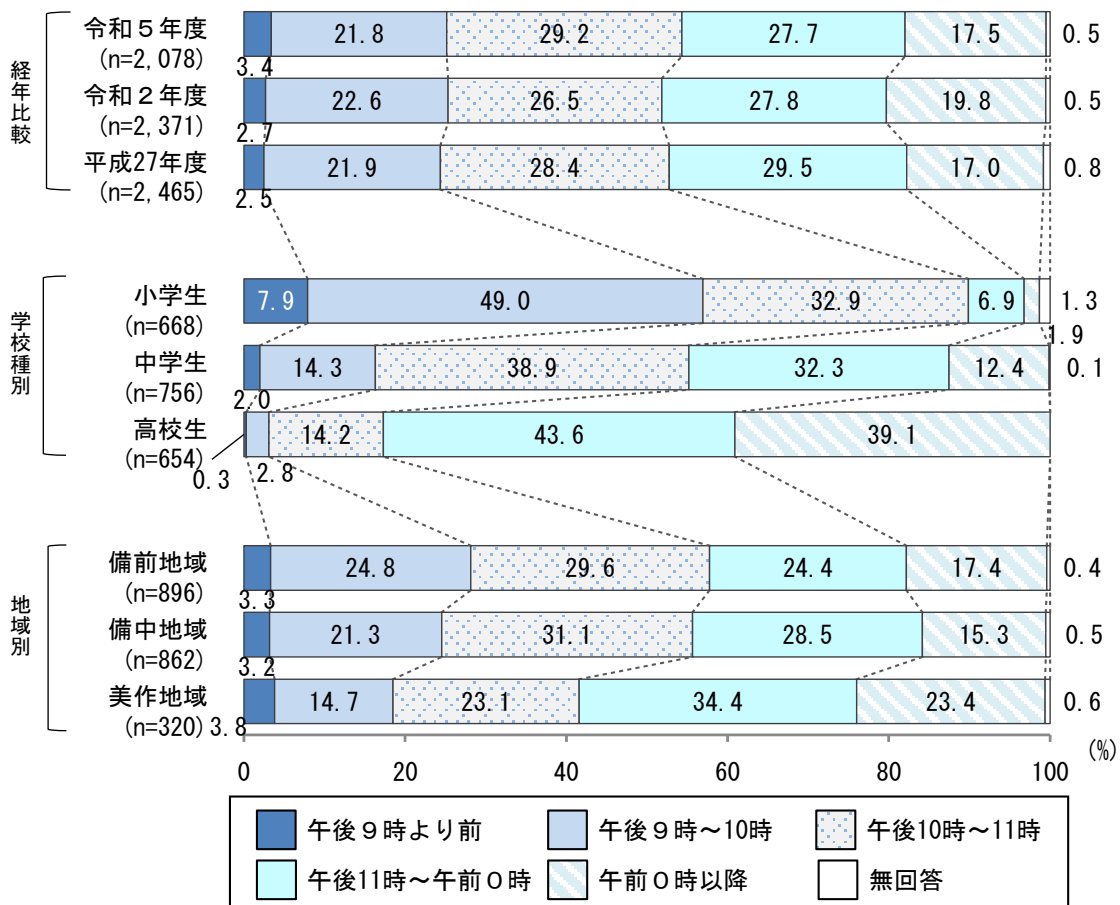
平日の就寝時間について、「午後10時～11時」との回答が29.2%と最も高く、次いで「午後11時～午前0時」（27.7%）、「午後9時～10時」（21.8%）、「午前0時以降」（17.5%）などの順となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、小学生は「午後9時～10時」、中学生は「午後10時～11時」、高校生は「午後11時～午前0時」が最も高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて就寝時間が遅くなっている。

地域別にみると、「午後11時～午前0時」との回答は美作地域で3割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 平日の就寝時間（経年比較・学校種別・地域別）】



4 深夜の外出について

問5 あなたは、深夜（午後11時以降）に外出していることがありますか。

《○は①と②それぞれ1つずつ》

① 保護者以外の人との深夜の外出

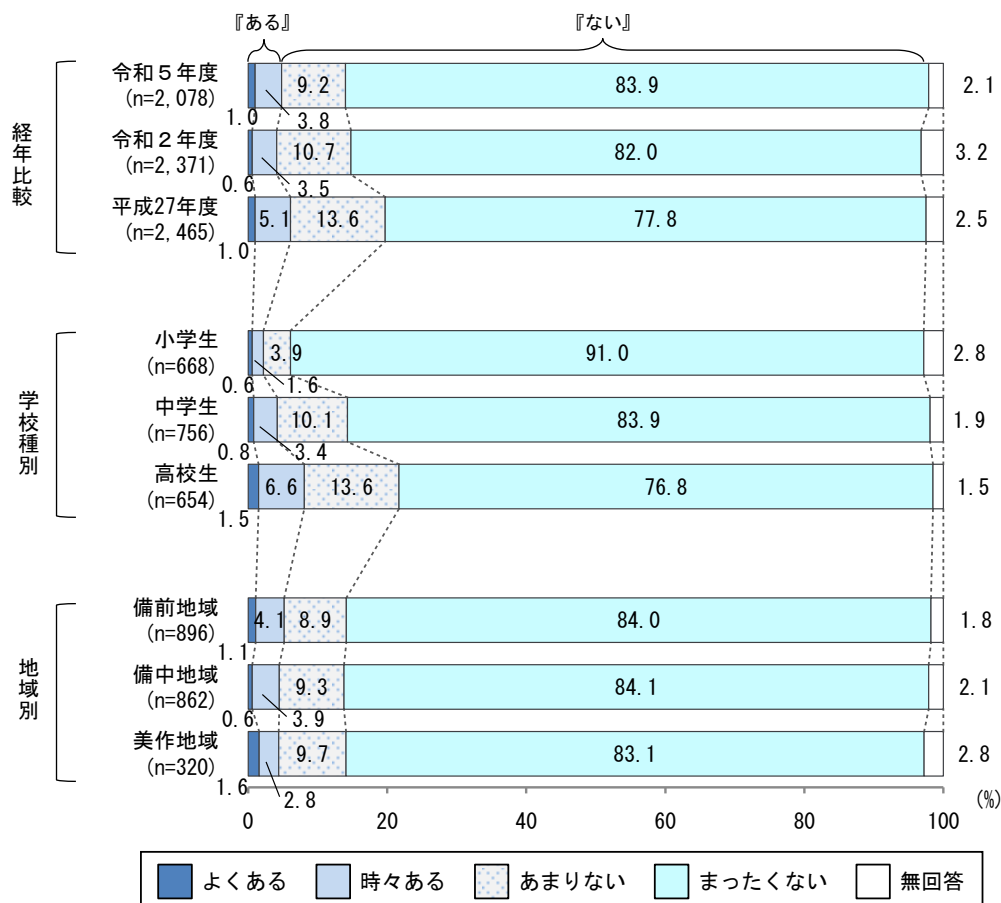
1人で、または友だちなど保護者以外の人との深夜の外出について、『ある』（「よくある」と「時々ある」を合わせた割合）との回答が4.8%、「ない」（「まったくない」と「あまりない」を合わせた割合）との回答が93.1%となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、『ある』との回答は小学生で低く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 保護者以外の人との深夜の外出（経年比較・学校種別・地域別）】



② 保護者の人との深夜の外出

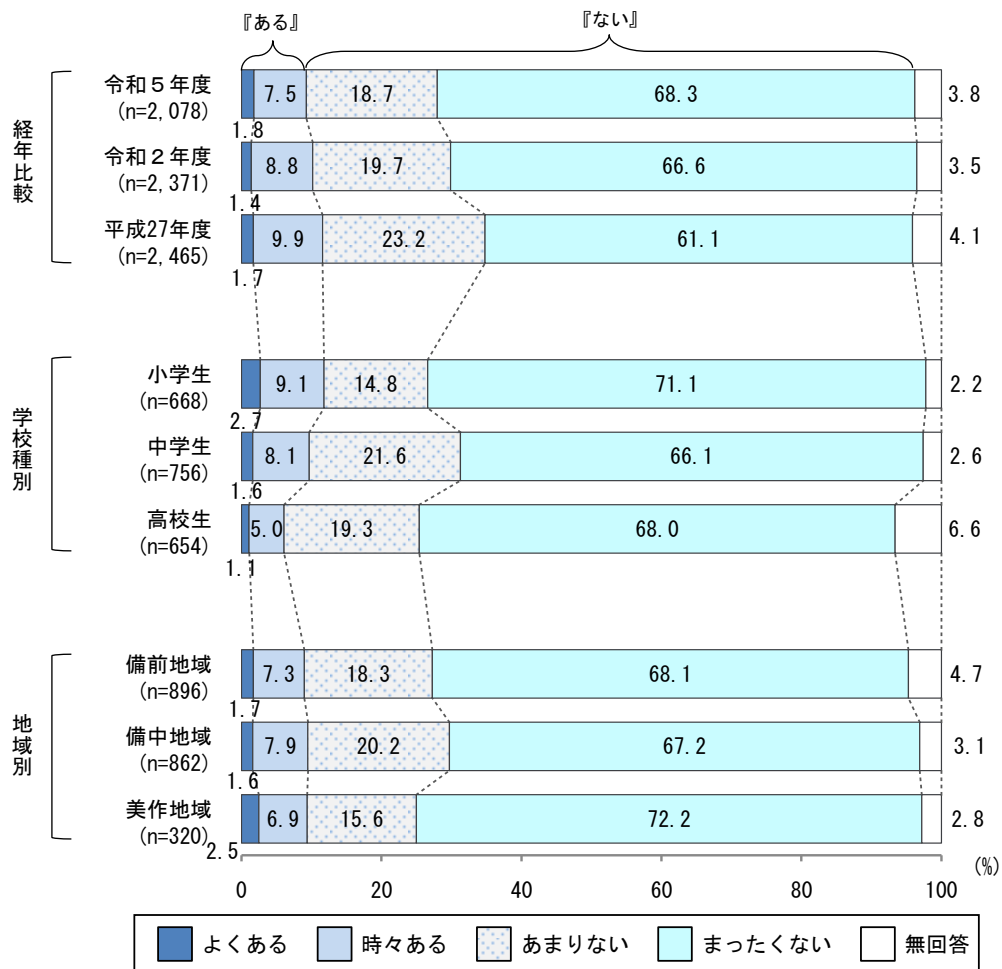
保護者の人との深夜の外出について、『ある』との回答が9.3%、『ない』との回答が87.0%となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、『ある』との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 保護者の人との深夜の外出（経年比較・学校種別・地域別）】



5 平日に費やす時間について

問6 あなたが、平日（学校がある日）に次のことをしている時間（1日平均）は、どれくらいですか。《○は①～④それぞれ1つずつ》

① 学校の授業以外で勉強する時間（家での学習、塾、家庭教師、インターネットを使った学習など）

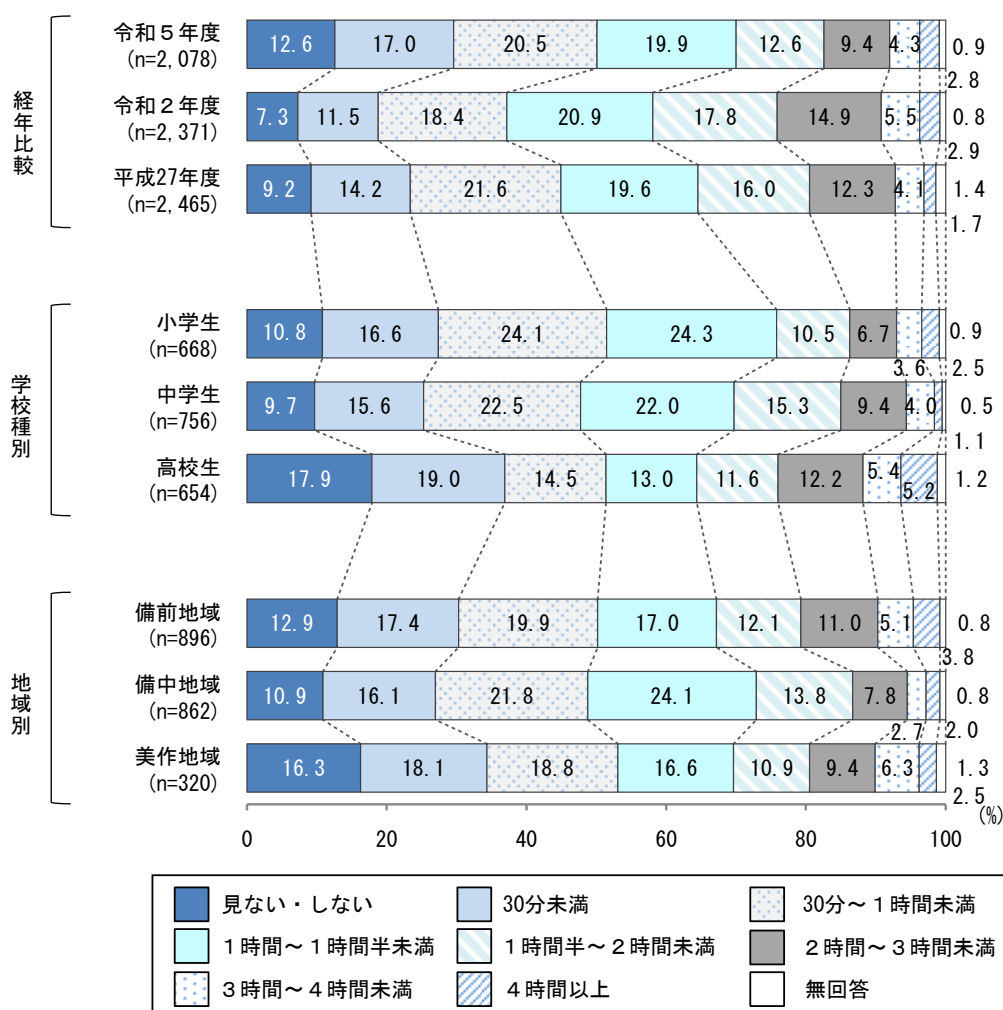
学校の授業以外で勉強する時間について、「30分～1時間未満」との回答が20.5%と最も高く、次いで「1時間～1時間半未満」（19.9%）、「30分未満」（17.0%）などの順となっている。

経年比較すると、「見ない・しない」との回答は今回調査が前回調査を5.3ポイント、「30分未満」との回答は5.5ポイント上回っている。

学校種別にみると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は高校生で、「30分～1時間未満」、「1時間～1時間半未満」との回答は小学生で高くなっている。

地域別にみると、「見ない・しない」との回答は美作地域で1割台半ば、「1時間～1時間半未満」との回答は備中地域で2割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 学校の授業以外で勉強する時間（経年比較・学校種別・地域別）】



② テレビやDVD、録画映像を見る時間

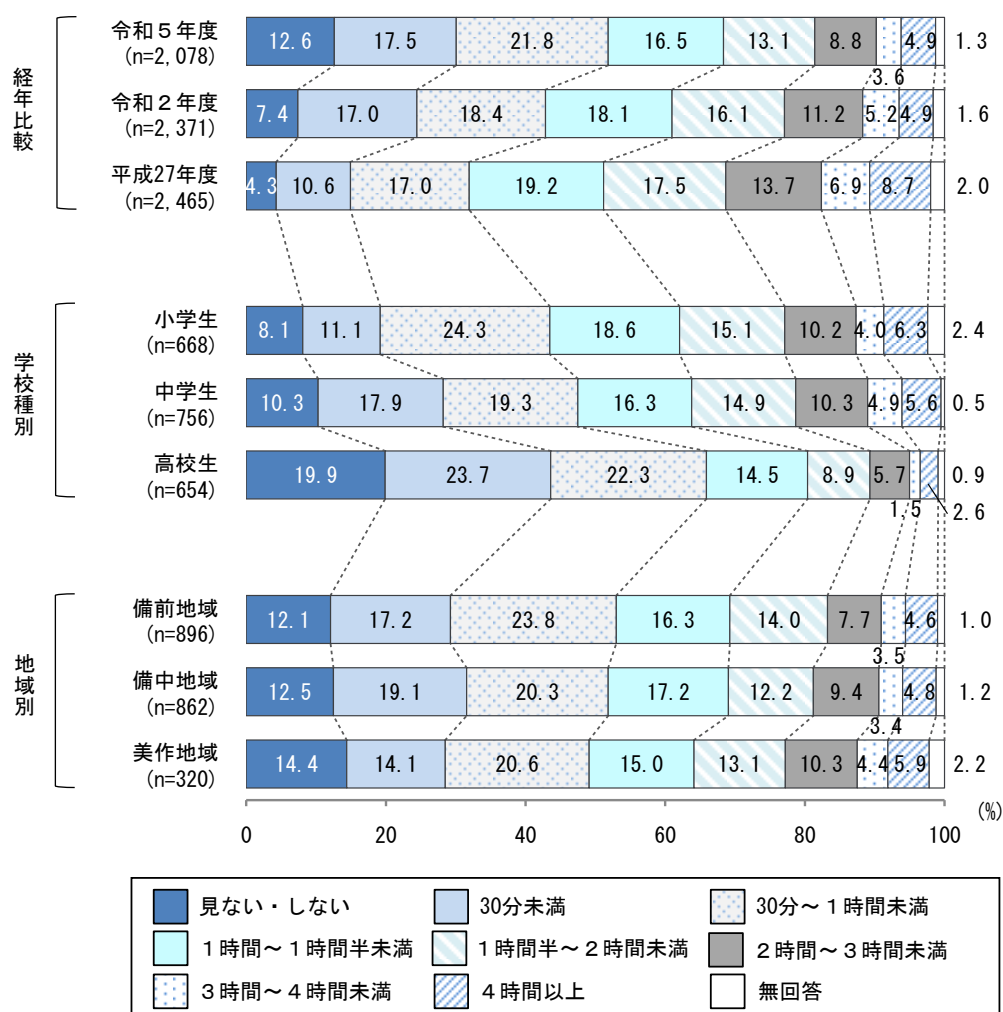
テレビやDVD、録画映像を見る時間について、「30分～1時間未満」との回答が21.8%と最も高く、次いで「30分未満」(17.5%)、「1時間～1時間半未満」(16.5%)などの順となっている。

経年比較すると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は高校生が高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 テレビやDVD、録画映像を見る時間（経年比較・学校種別・地域別）】



③ ゲーム（スマホやゲーム機器を使ったオンラインゲームを含む）をする時間

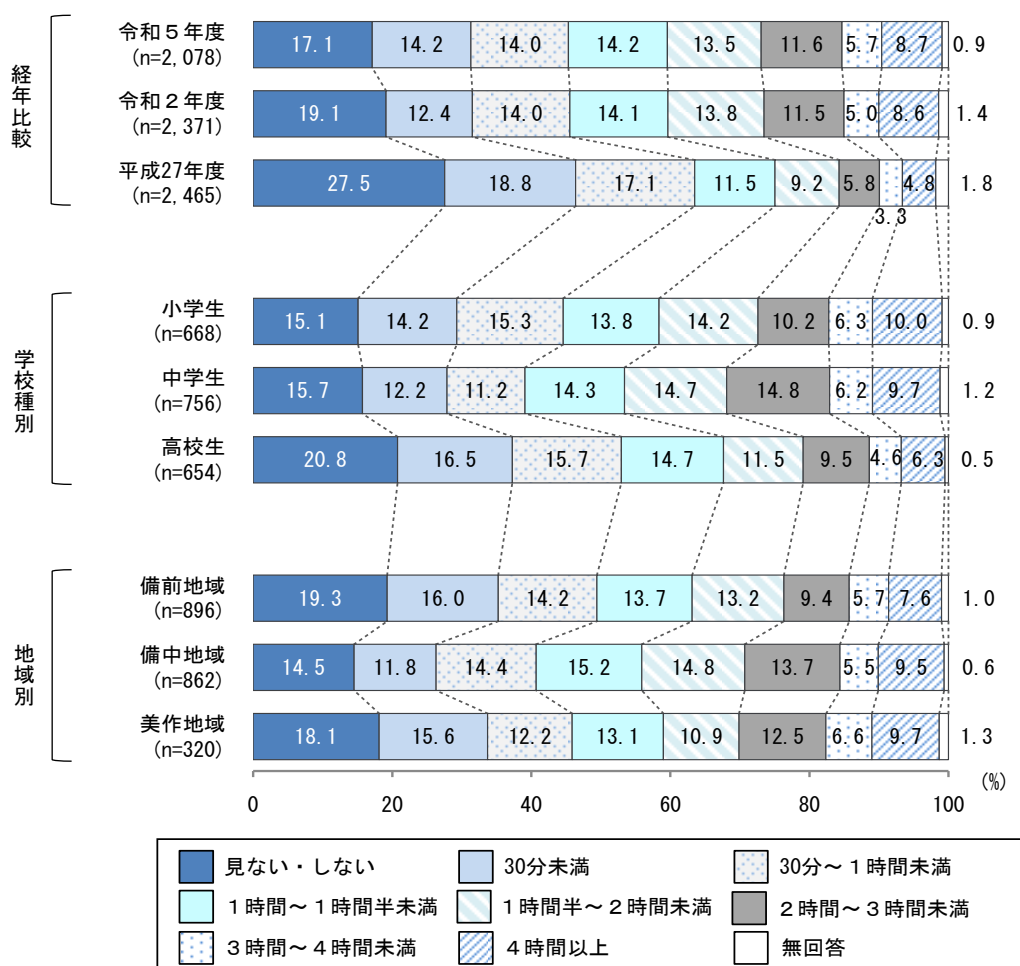
ゲームをする時間について、「見ない・しない」との回答が17.1%と最も高く、次いで「30分未満」、「1時間～1時間半未満」（ともに14.2%）、「30分～1時間未満」（14.0%）などの順となっている。

経年比較すると、「見ない・しない」との回答は今回調査が前回調査を2ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「見ない・しない」との回答は高校生で2割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は備中地域で2割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

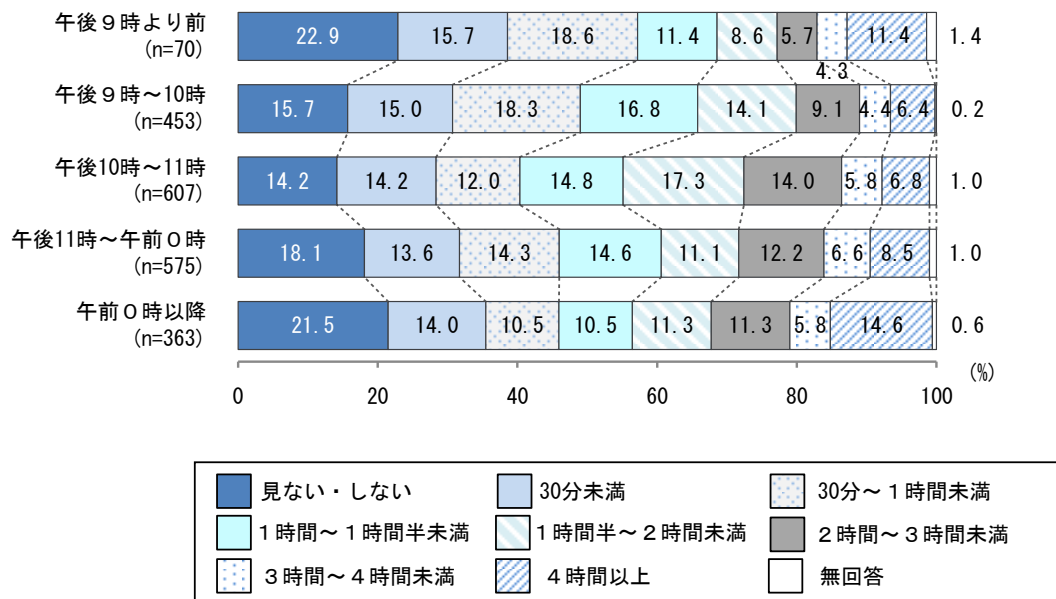
【図表 ゲームをする時間（経年比較・学校種別・地域別）】



<問6 平日の就寝時間との関係>

ゲームをする時間について、平日の就寝時間別にみると、「見ない・しない」との回答は就寝時間が午後9時より前の児童生徒、午前0時以降の児童生徒で2割超、「30分～1時間未満」との回答は就寝時間が午後10時より前の児童生徒で約2割と高くなっている。また、「4時間以上」との回答は就寝時間が午前0時以降の児童生徒で高く、就寝時間が遅くなるにつれてゲームをする時間が長くなっている。

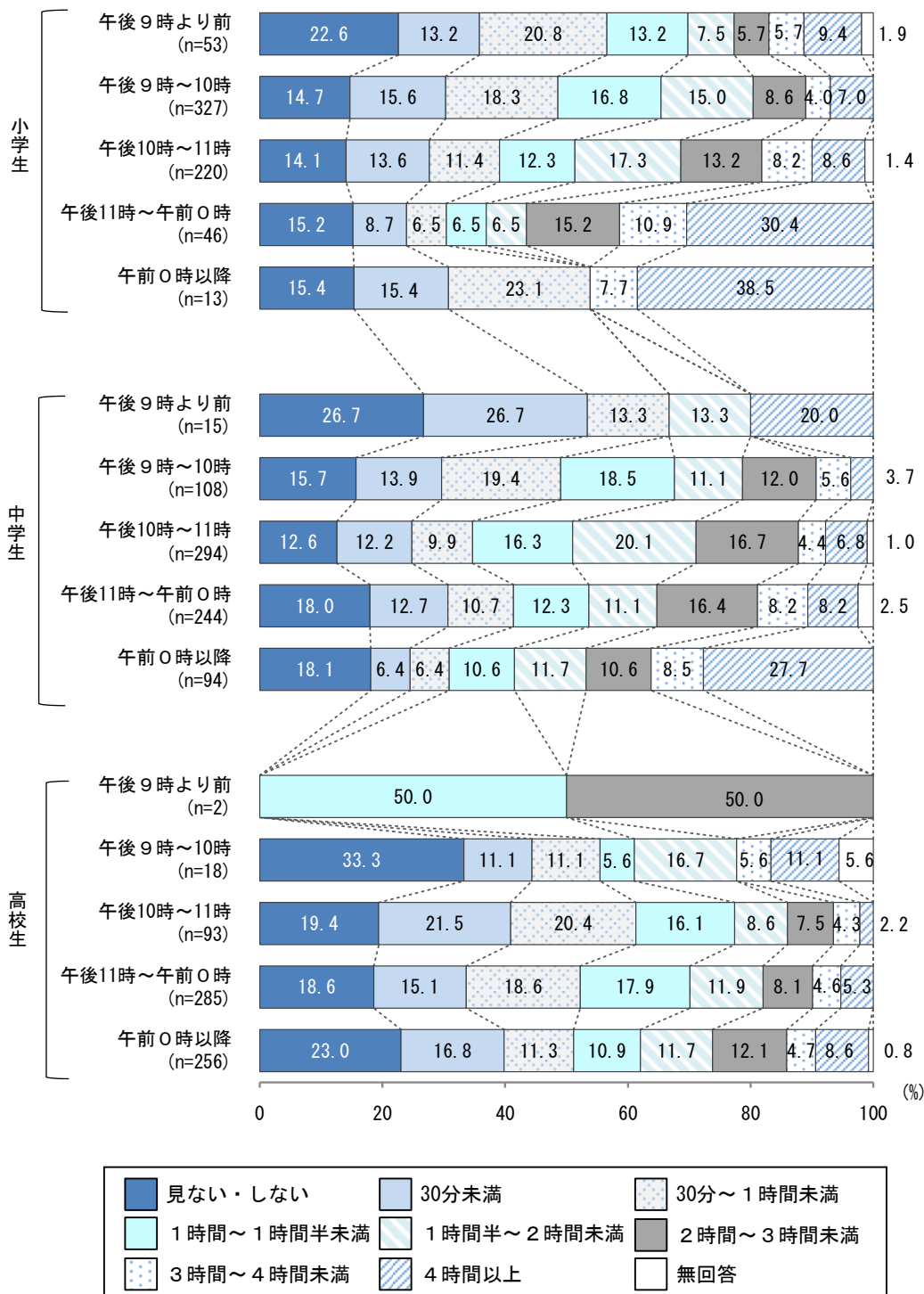
【図表 ゲームをする時間（平日の就寝時間別）】



＜問6 平日の就寝時間との関係：学校種別＞

ゲームをする時間について、平日の就寝時間別に学校種別でみると、小学生では、「見ない・しない」との回答が「就寝時間が午後9時より前」の児童生徒で2割超、中学生では、「4時間以上」との回答が「就寝時間が午前0時以降」の児童生徒で2割台後半と高く、就寝時間が遅くなるにつれてゲームをする時間が長くなる傾向がみられる。高校生でも同様に、「2時間以上」の回答の割合は就寝時間が遅くなるにつれて高くなっており、ゲームをする時間が長くなっている。

【図表 ゲームをする時間（平日の就寝時間別×学校種別）】



※20人以下の回答者の回答傾向は記述しないこととする。(以下同じ)

④ ゲーム以外でスマホやインターネット(動画視聴やLINEなどのSNSを含む)をする時間

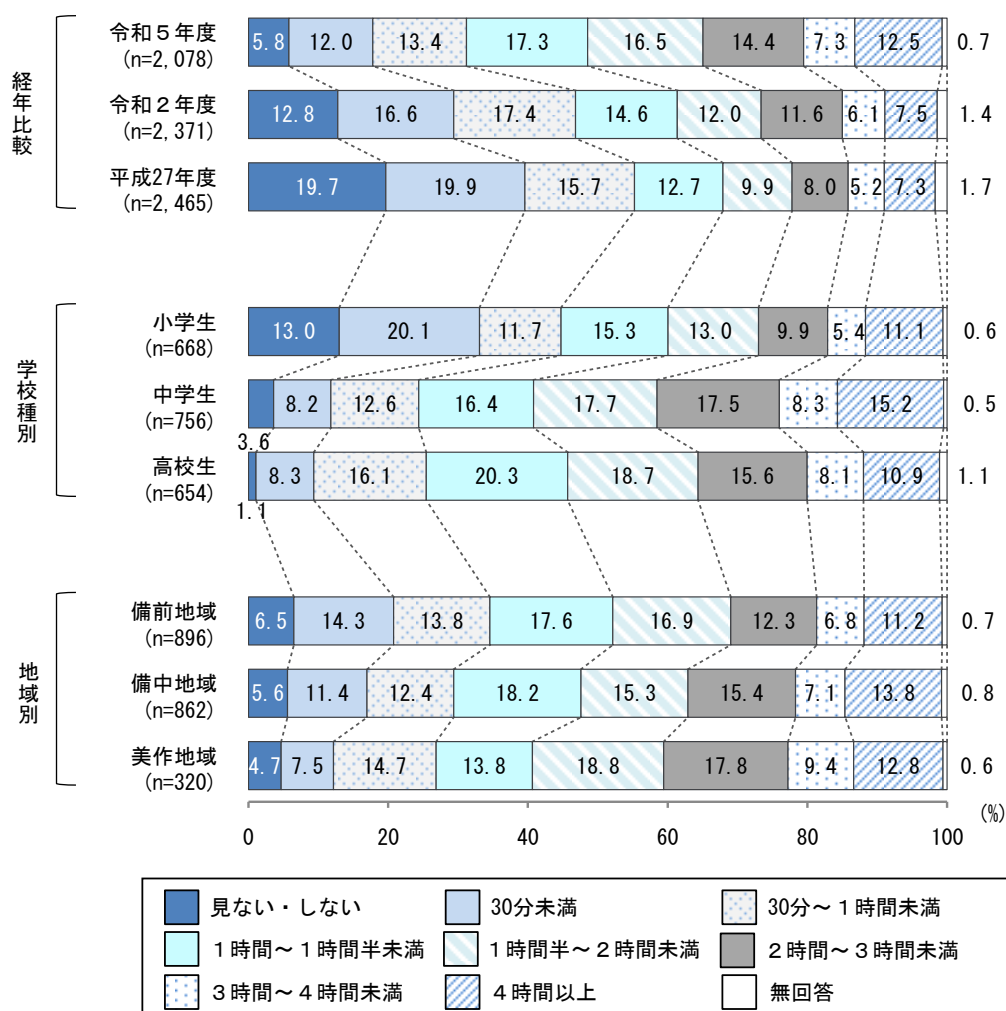
ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間について、「1時間～1時間半未満」との回答が17.3%と最も高く、次いで「1時間半～2時間未満」(16.5%)、「2時間～3時間未満」(14.4%)などの順となっている。

経年比較すると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「見ない・しない」、「30分未満」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

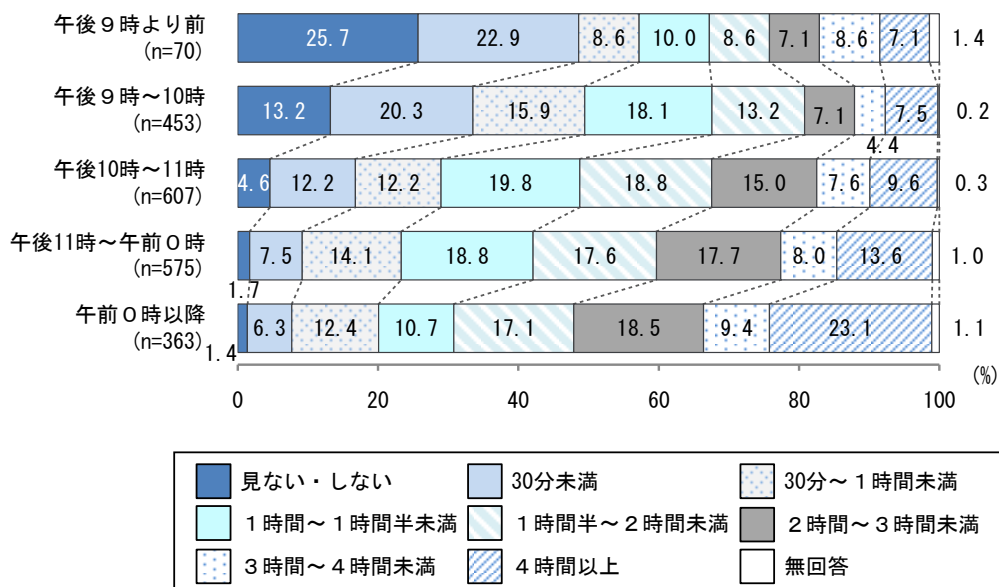
【図表 ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間(経年比較・学校種別・地域別)】



<問6 平日の就寝時間との関係>

ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間について、平日の就寝時間別にみると、「見ない・しない」との回答は就寝時間が午後9時より前の児童生徒で2割台半ばと最も高く、就寝時間が遅くなるにつれてゲーム以外でスマホやインターネットをする時間が長くなる傾向がみられる。

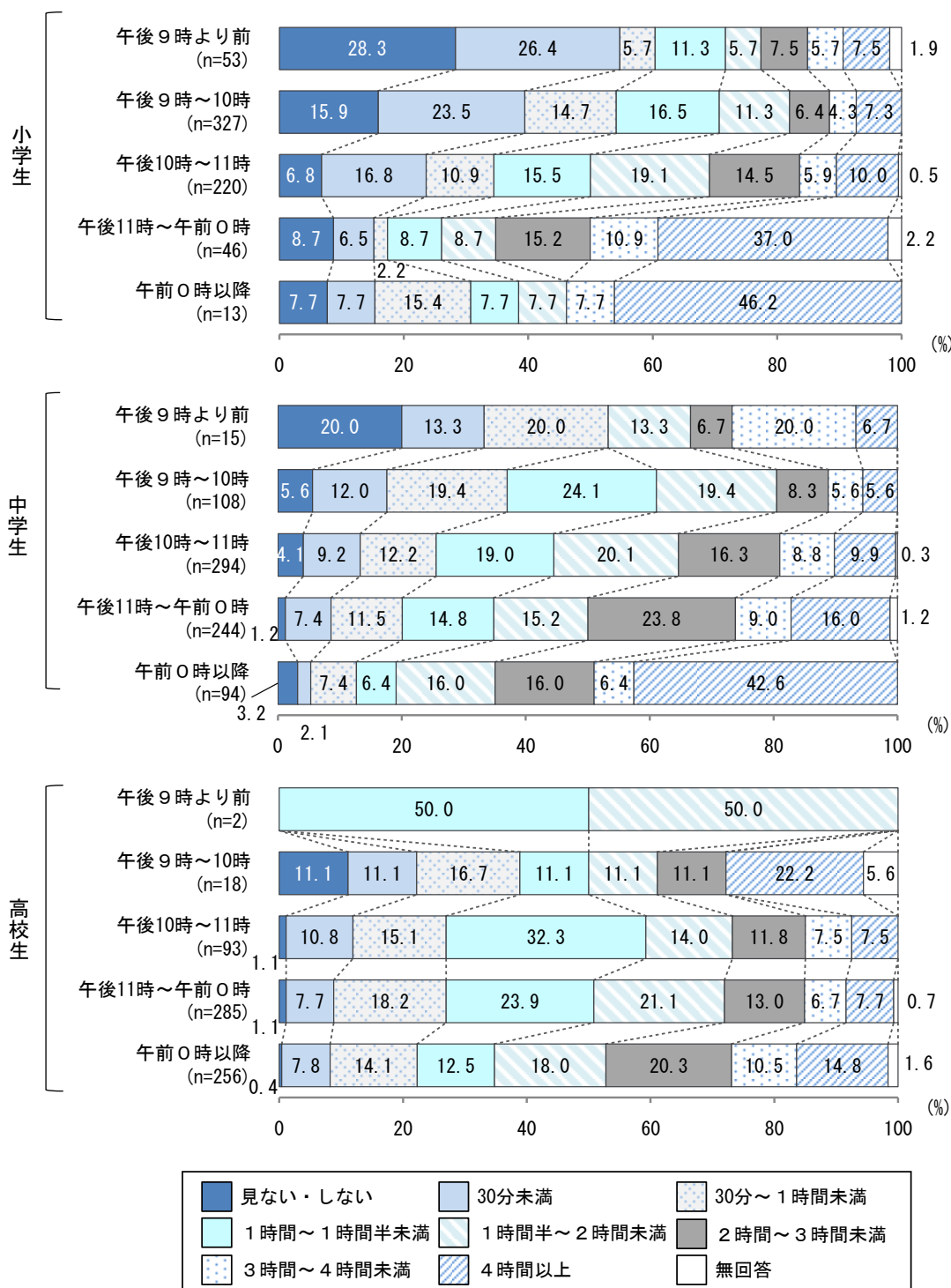
【図表 ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間（平日の就寝時間別）】



<問6 平日の就寝時間との関係：学校種別>

ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間について、平日の就寝時間別に学校種別で見ると、小学生では、「就寝時間が午後9時より前」の児童生徒で「見ない・しない」との回答が約3割と高く、就寝時間が遅くなるにつれてゲーム以外でスマホやインターネットをする時間が長くなっている。中学生では、「就寝時間が午後9時～10時」の児童生徒で「1時間～1時間半未満」との回答が2割台半ば、「就寝時間が午前0時以降」の児童生徒で「4時間以上」との回答が4割超と高くなっている。高校生でも同様に、「午前0時以降」の児童生徒で「2時間以上」との回答は4割台半ばと高く、就寝時間が遅くなるほど、インターネットの使用時間が長くなっている。

【図表 ゲーム以外でスマホやインターネットをする時間（平日の就寝時間別×学校種別）】



(問6の②～④で「8(4時間以上)」に○がついた人だけお答えください。)

問6-1 自分の部屋などで1人きりでしていますか。《○は1つ》

(オンライン上では友だちとつながっていても、「1. はい」と教えてください)

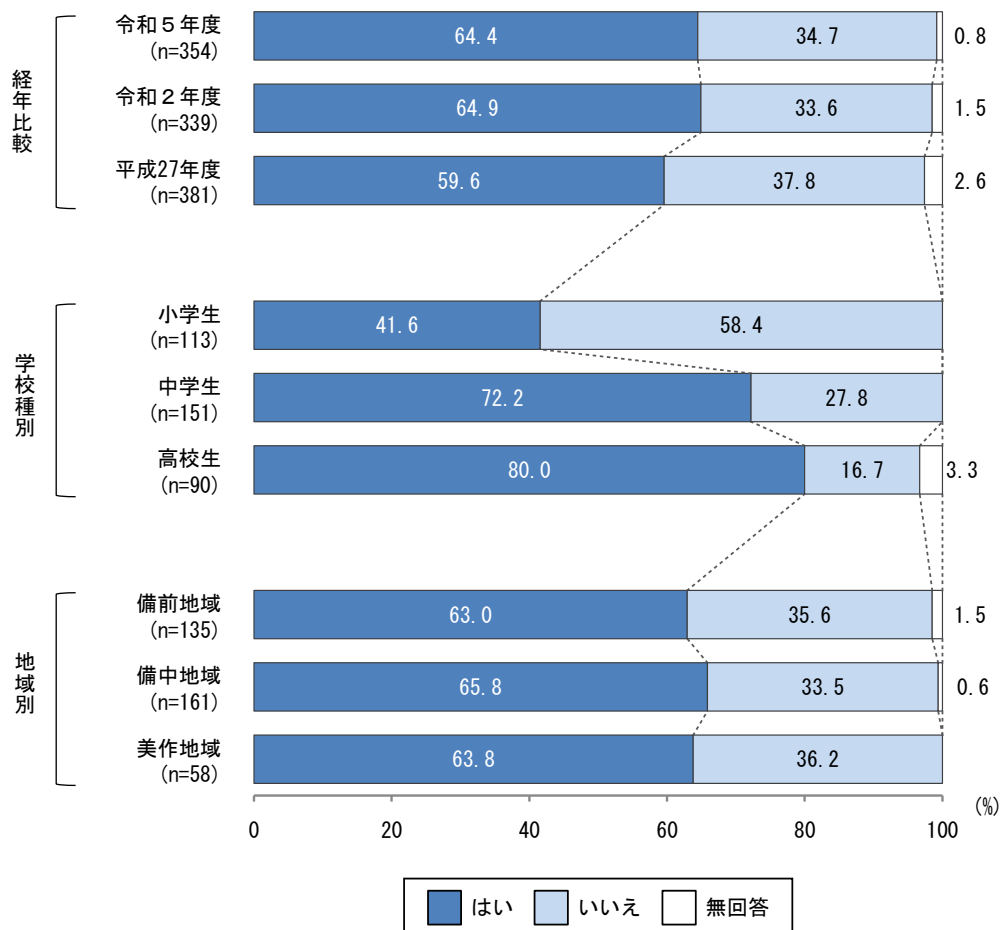
テレビやゲーム、インターネットなどを1人するかどうかについて、「はい」との回答が64.4%、「いいえ」との回答が34.7%となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「はい」との回答は高校生で8割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 テレビやゲーム、インターネットなどを1人するか(経年比較・学校種別・地域別)】



6 家庭での生活について

問7 あなたの家庭についておたずねします。《○は①～⑤それぞれ1つずつ》

① 家庭での生活は楽しい

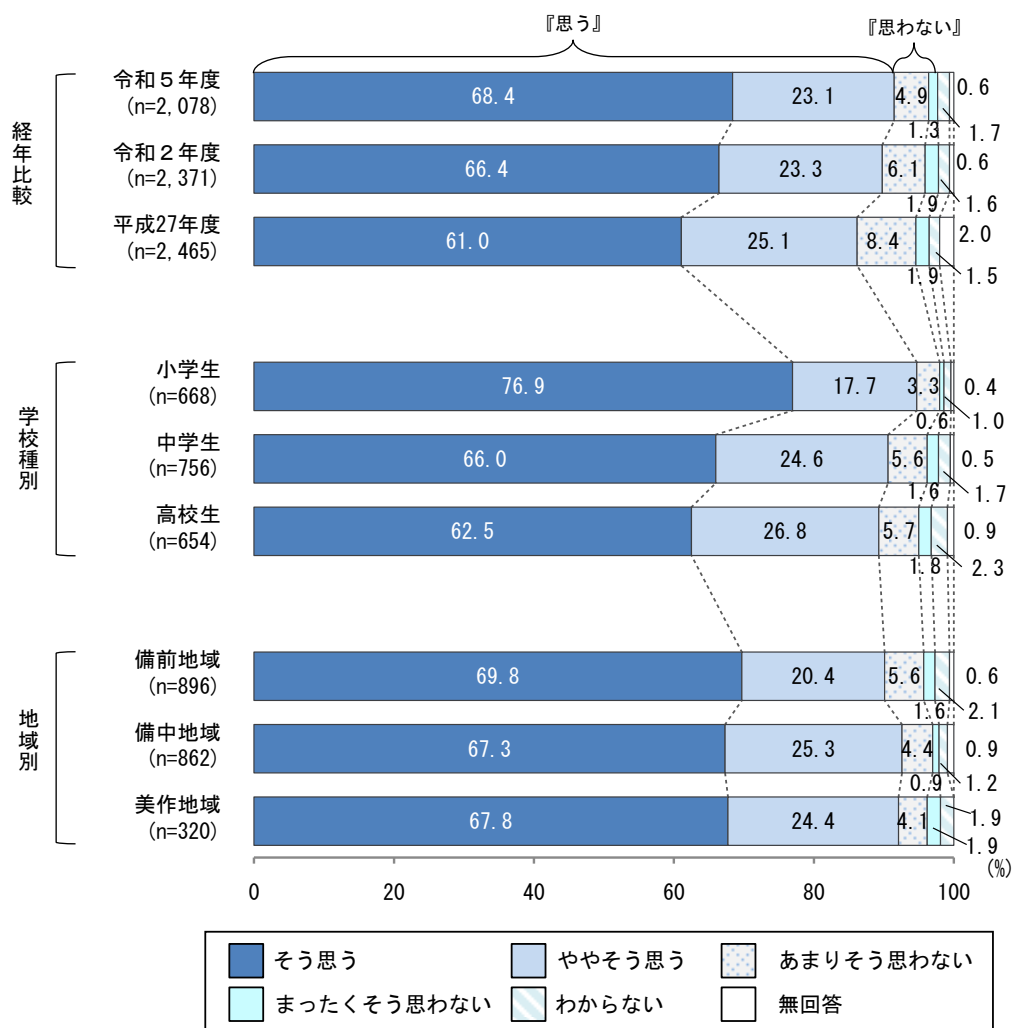
家庭での生活は楽しいかどうかについて、楽しいと『思う』（「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合）との回答が91.5%、『思わない』（「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合）との回答が6.2%となっている。

経年比較すると、『思う』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、『思う』との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

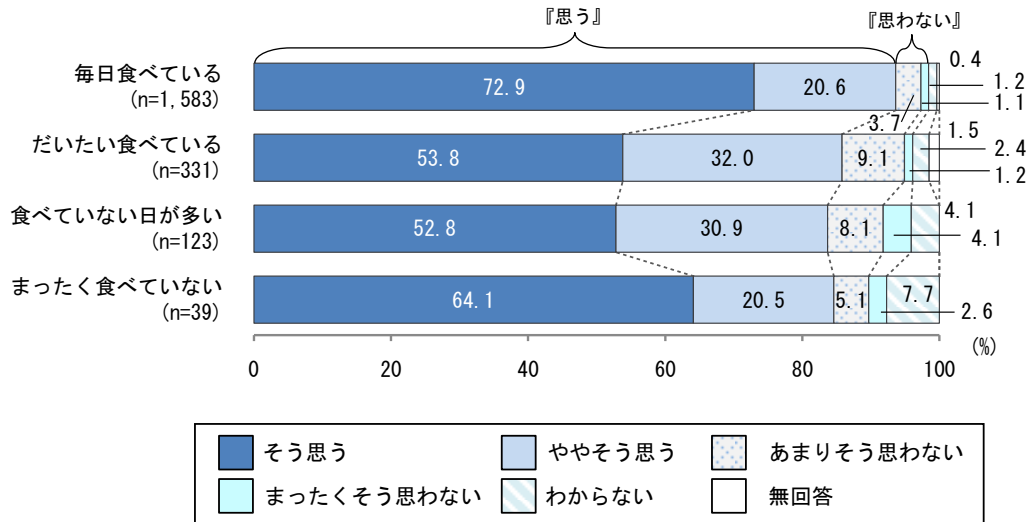
【図表 家庭での生活は楽しい（経年比較・学校種別・地域別）】



<問7 朝食の摂取状況との関係>

家庭での生活は楽しいかどうかについて、朝食の摂取状況別にみると、朝食を毎日食べている児童生徒は『思う』との回答が9割台半ばと高くなっている。

【図表 家庭での生活は楽しい（朝食の摂取状況別）】



② 家庭でのしつけや注意は厳しい

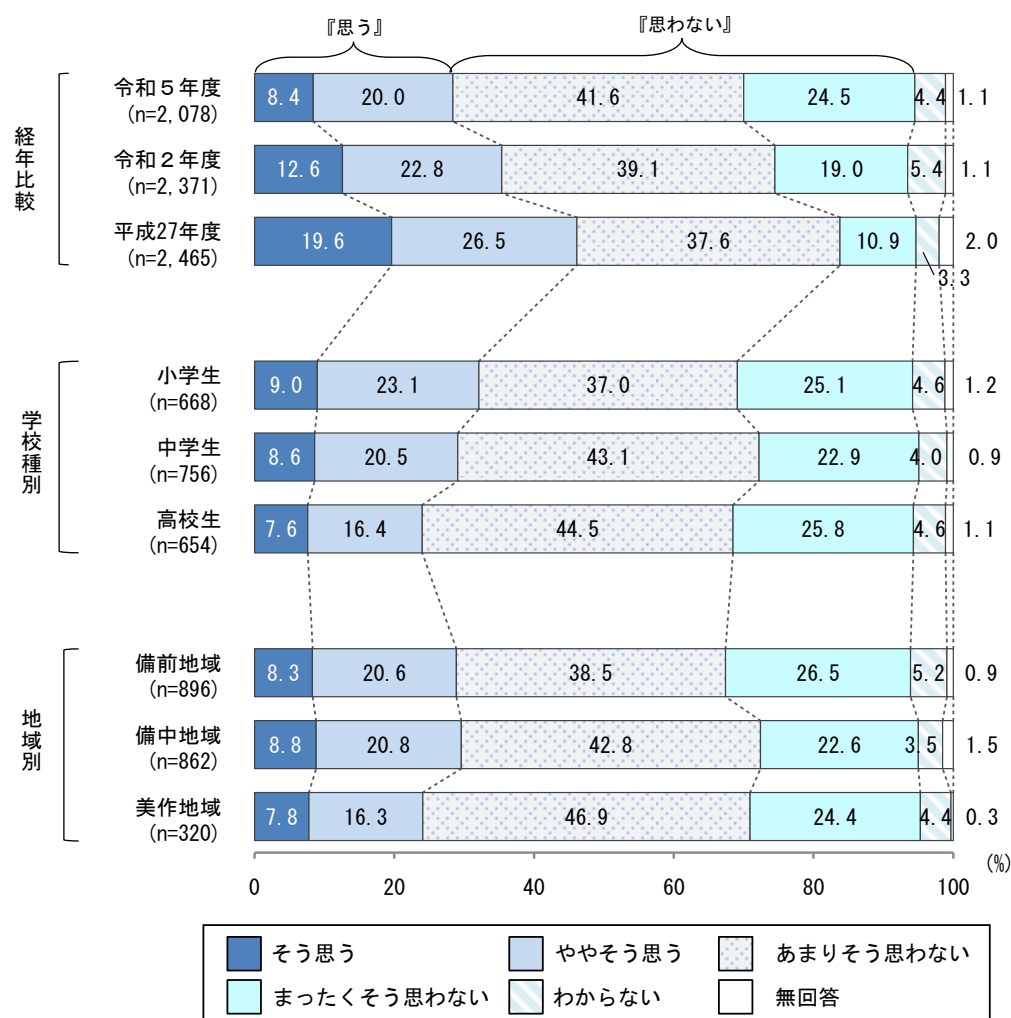
家庭でのしつけや注意は厳しいかどうかについて、厳しいと『思う』との回答が28.4%、『思わない』との回答が66.1%となっている。

経年比較すると、『思う』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で2割台半ばと低くなっている。

地域別にみると、『思う』との回答は美作地域で2割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

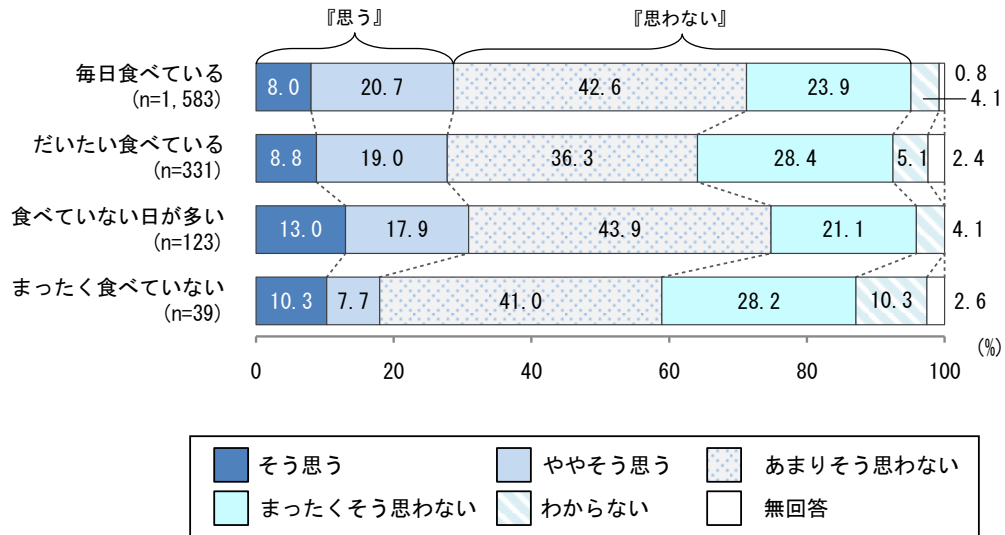
【図表 家庭でのしつけや注意は厳しい（経年比較・学校種別・地域別）】



<問7 朝食の摂取状況との関係>

家庭でのしつけや注意は厳しいかどうかについて、朝食の摂取状況別にみると、朝食を食べていない日が多い児童生徒は『思う』との回答が約3割と高くなっている。

【図表 家庭でのしつけや注意は厳しい（朝食の摂取状況別）】



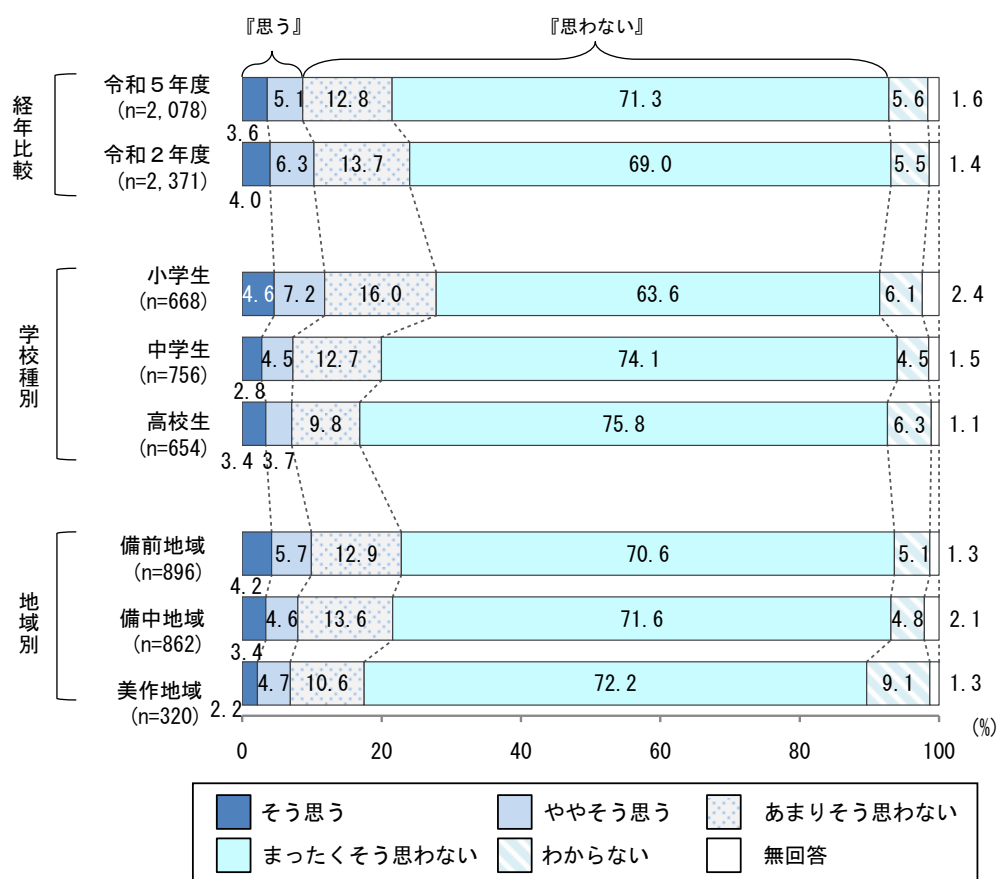
③ 保護者からたたかれることがある

保護者からたたかれることがあるかどうかについて、たたかれることがあると『思う』との回答が8.7%、『思わない』との回答が84.1%となっている。

学校種別にみると、『思わない』との回答は高校生で8割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 保護者からたたかれることがある（経年比較・学校種別・地域別）】



④ 家に帰りたくない

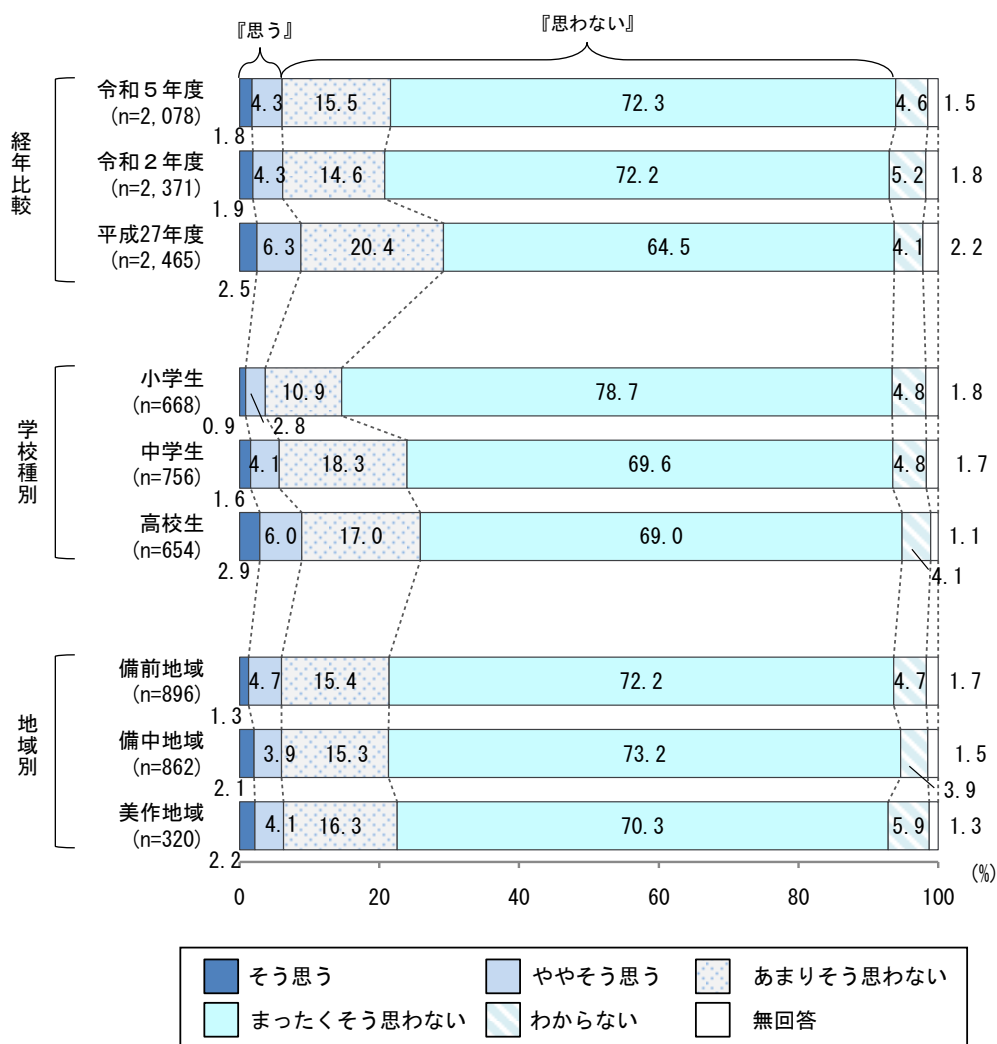
家に帰りたくないと思うかどうかについて、帰りたくないと『思う』との回答が6.1%、『思わない』との回答が87.8%となっている。

経年比較すると、『思う』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、『思う』との回答は小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 家に帰りたくない（経年比較・学校種別・地域別）】



⑤ 保護者とよく話をする

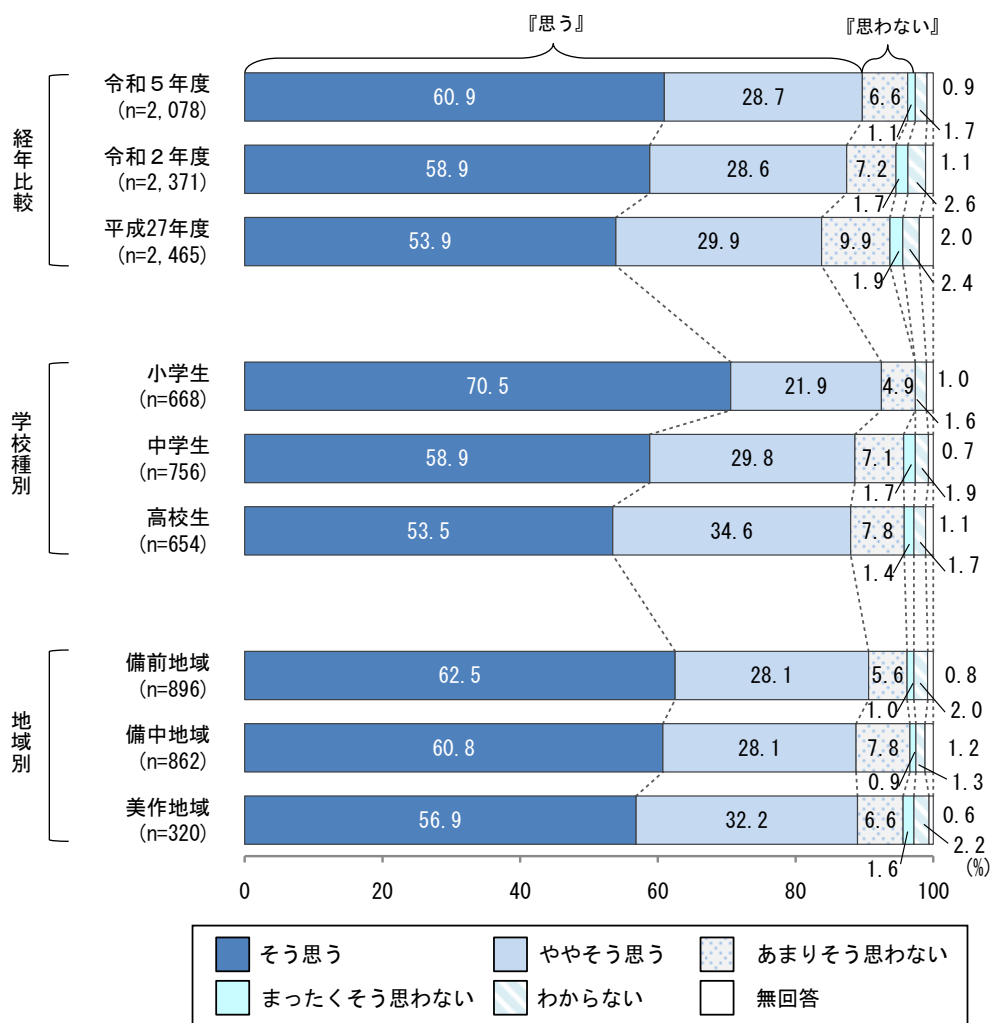
保護者とよく話をするかどうかについて、話をよくすると『思う』との回答が89.6%、『思わない』との回答が7.7%となっている。

経年比較すると、『思う』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「そう思う」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 保護者とよく話をする（経年比較・学校種別・地域別）】



（問7の⑤で「3. あまりそう思わない」または「4. まったくそう思わない」に○がついた人だけお答えください。）

問7-1 あなたが、保護者と話をしないのはなぜですか。《○はいくつでも》

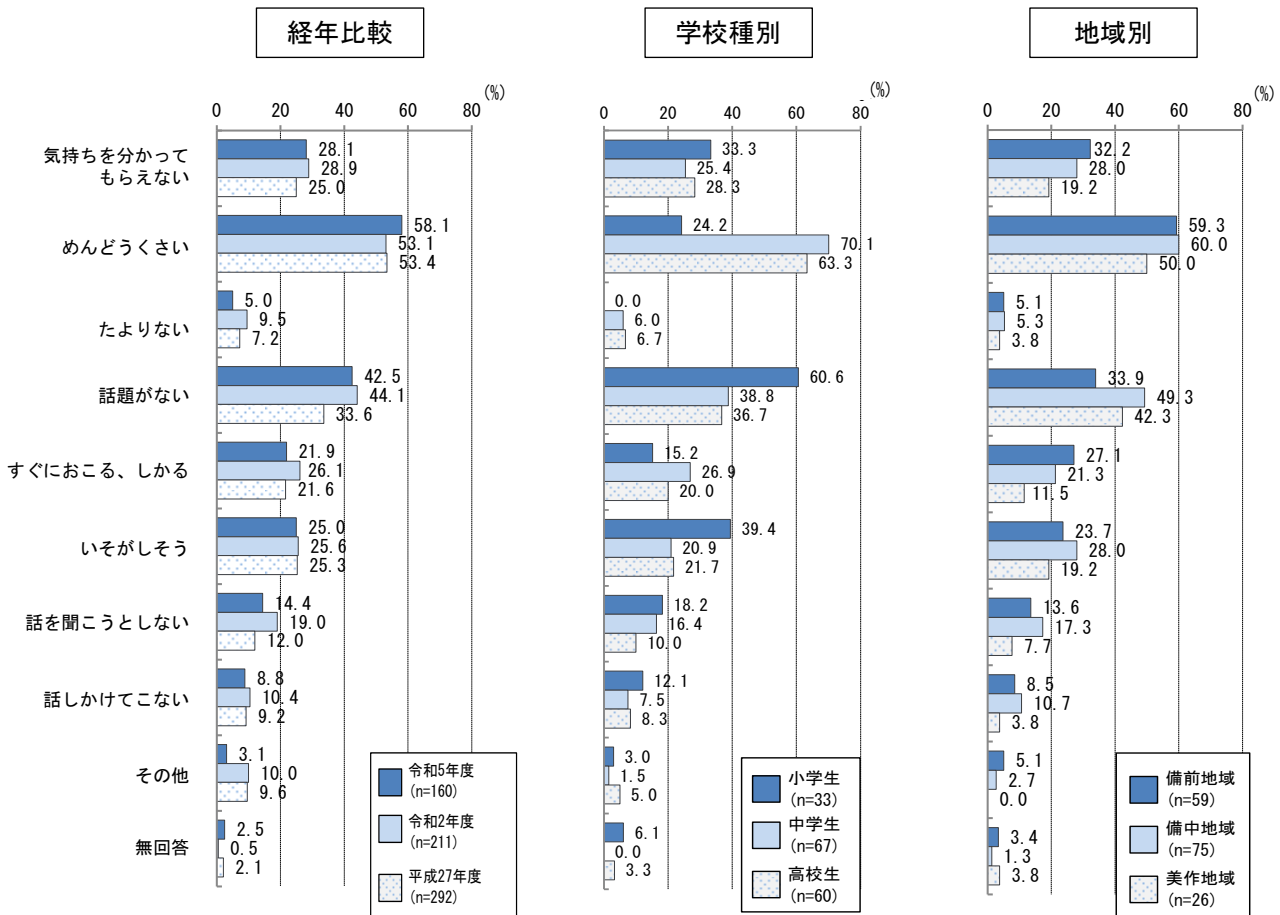
保護者と話をしない理由について、「めんどくさい」との回答が58.1%と最も高く、次いで「話題がない」（42.5%）、「気持ちを分かってもらえない」（28.1%）などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「めんどくさい」との回答は中学生で約7割、「話題がない」との回答は小学生で約6割と高くなっている。

地域別にみると、「すぐにおこる、しかる」との回答は備前地域で2割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 保護者と話をしない理由（経年比較・学校種別・地域別）】



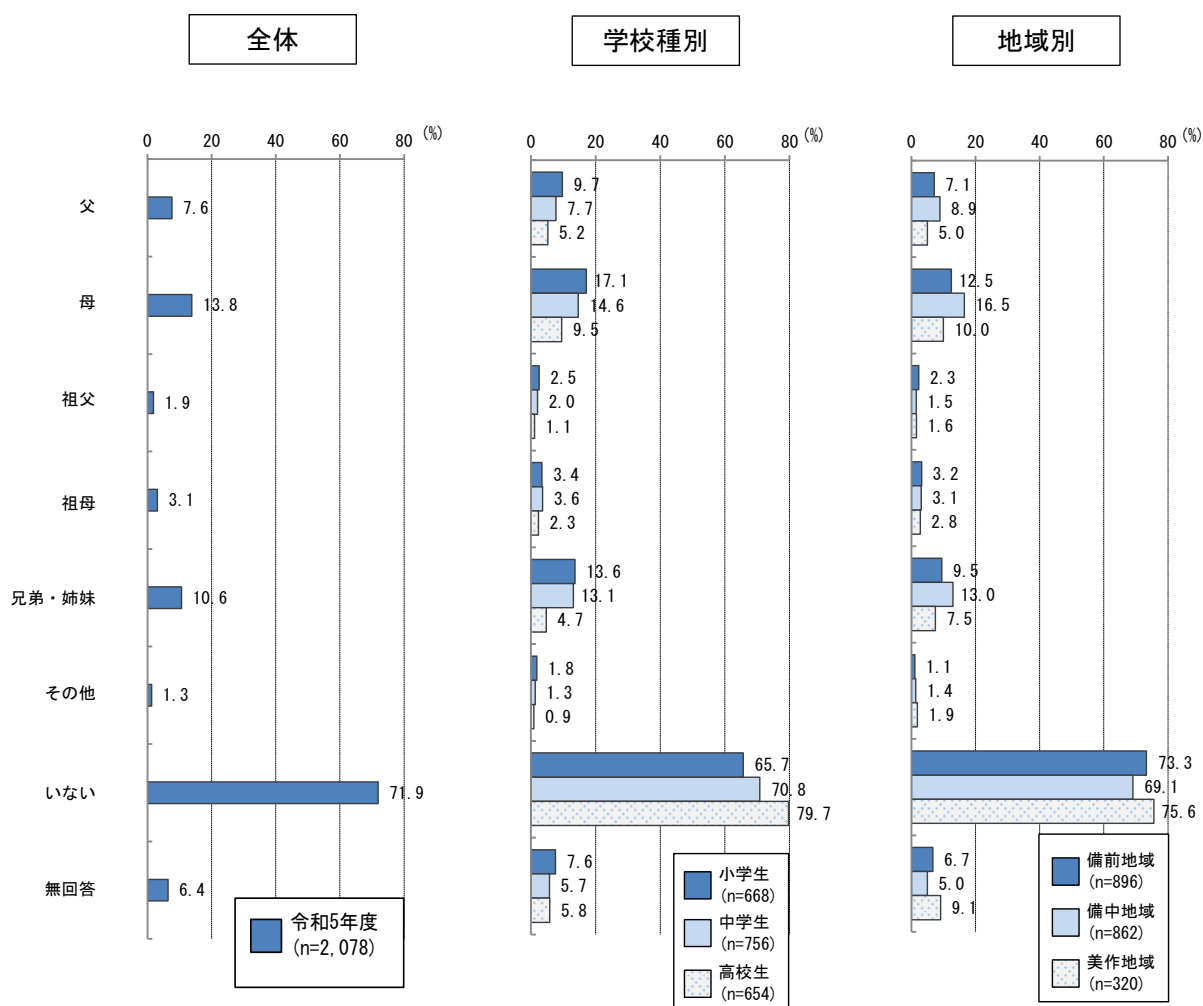
問8 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)《〇はいくつでも》

お世話をしている家族について、「母」との回答が13.8%と最も高く、次いで「兄弟・姉妹」(10.6%)、「父」(7.6%)などの順となっている。

学校種別にみると、「母」、「兄弟・姉妹」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「いない」との回答は高校生で約8割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると大きな差はみられない。

【図表 お世話をしている家族(全体・学校種別・地域別)】



（問8で「1～6」に○がついた人だけ、問8-1、問8-2、問8-3にお答えください。）

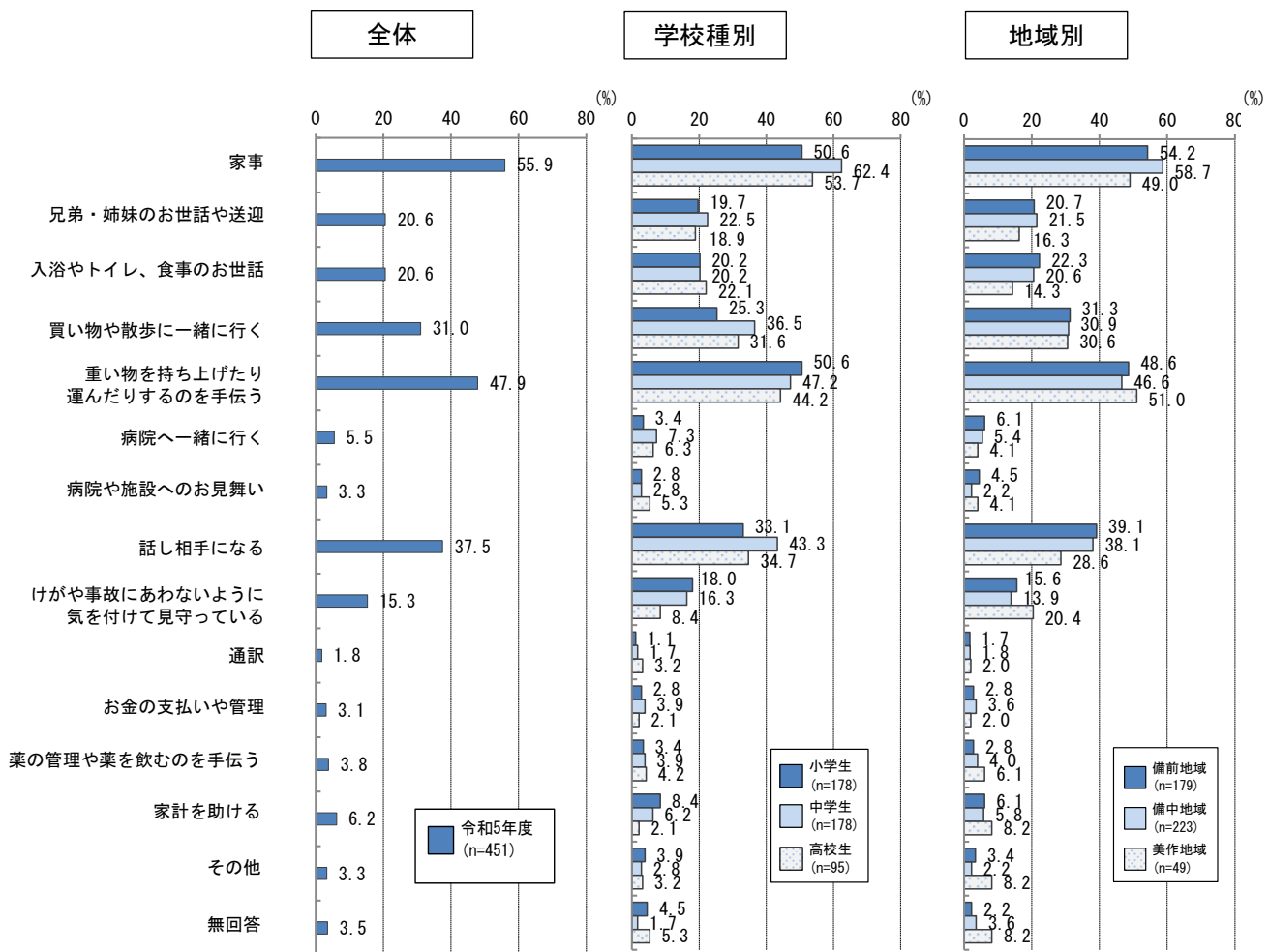
問8-1 あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。《○はいくつでも》

家族のお世話の内容について、「家事」との回答が55.9%と最も高く、次いで「重い物を持ち上げたり運んだりするのを手伝う」（47.9%）、「話し相手になる」（37.5%）などの順となっている。

学校種別にみると、「家事」、「買い物や散歩に一緒に行く」、「話し相手になる」との回答は中学生で高くなっている。

地域別にみると、「家事」、「入浴やトイレ、食事のお世話」、「話し相手になる」との回答は美作地域で他の地域に比べ低くなっている。

【図表 家族のお世話の内容（全体・学校種別・地域別）】



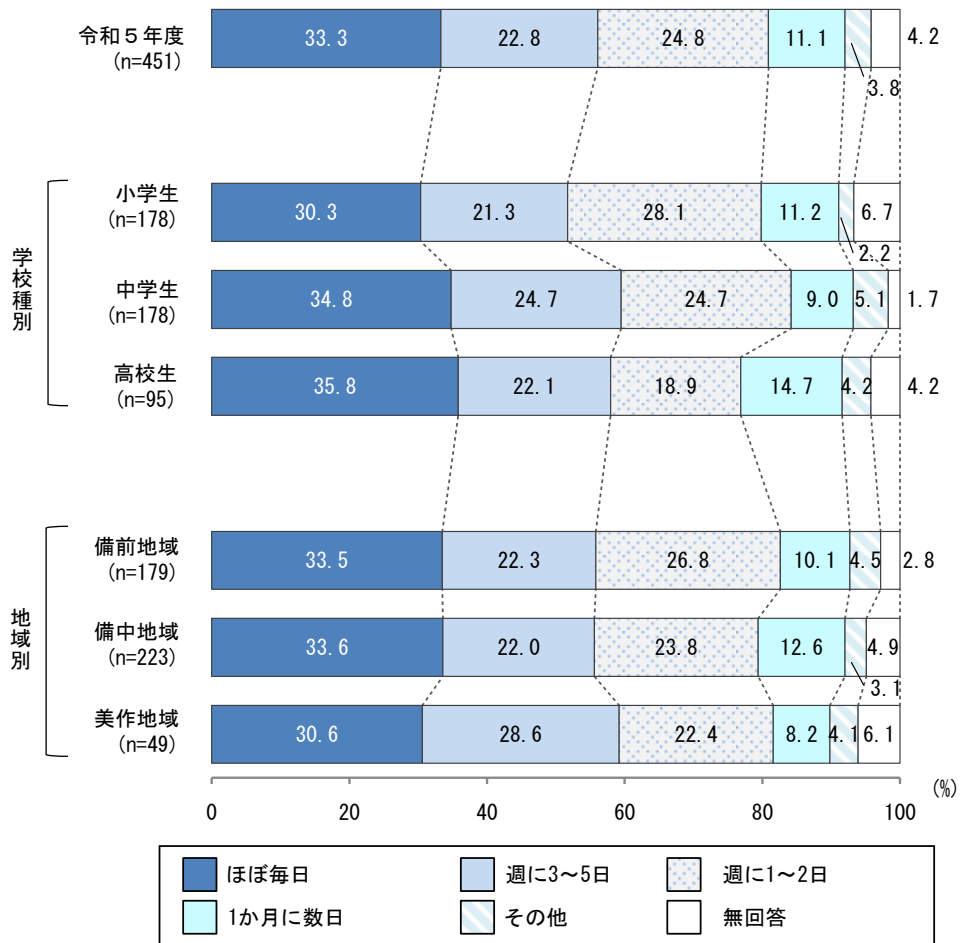
問8-2 あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あなたが何人かのお世話をしている場合、合わせてどのくらいお世話をしていますか。)《○は1つ》

家族のお世話の頻度について、「ほぼ毎日」との回答が33.3%と最も高くなっている。

学校種別にみると、「週に1～2日」との回答は高校生で約2割と低くなっている。

地域別にみると、「週に3～5日」との回答は美作地域で約3割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 家族のお世話の頻度（全体・学校種別・地域別）】



問8-3 お世話をしていることで、次のような経験をしたことはありますか。

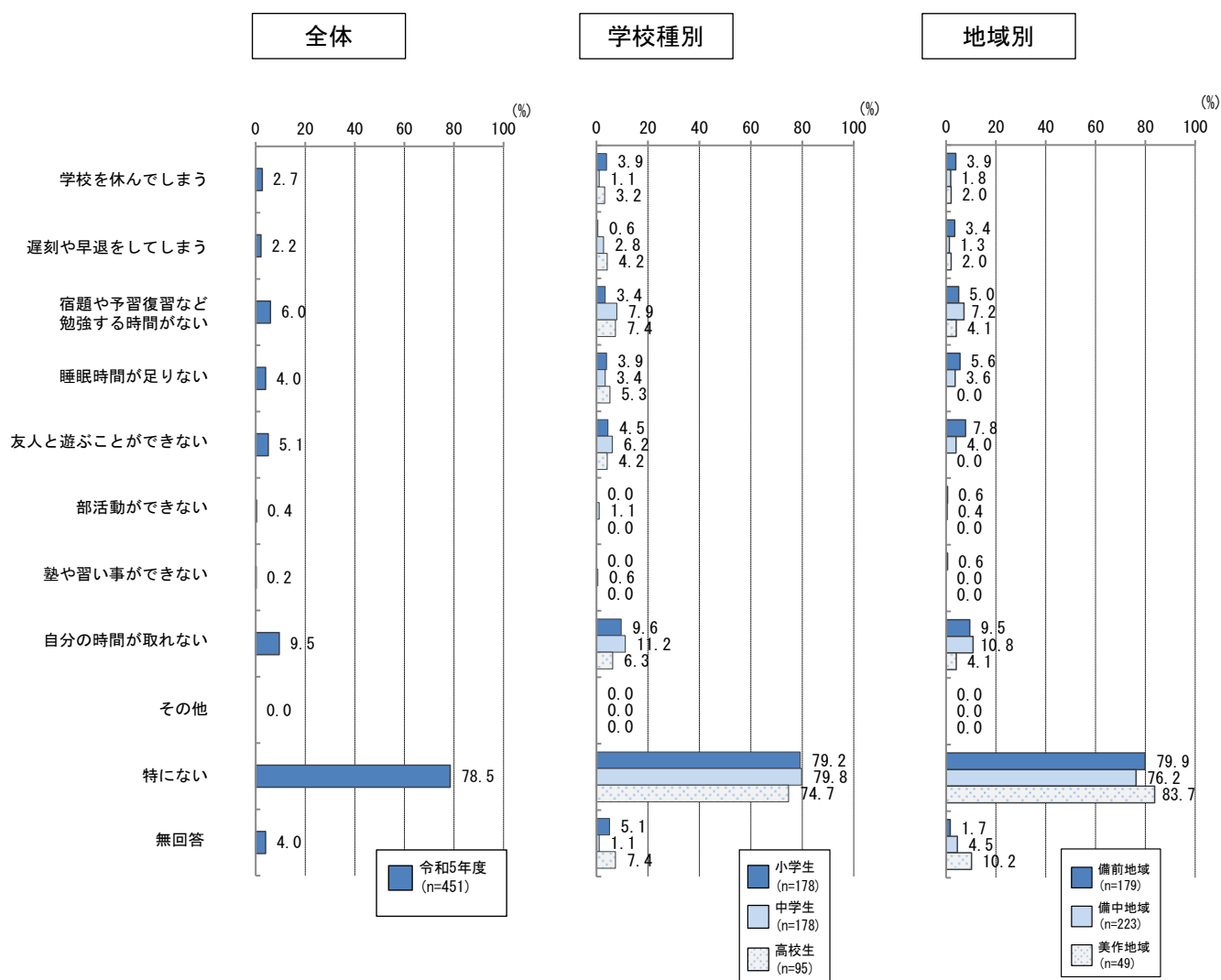
《〇はいくつでも》

家族のお世話をしていることによる経験について、「自分の時間が取れない」との回答が9.5%と最も高く、次いで「宿題や予習復習など勉強する時間がない」(6.0%)、「友人と遊ぶことができない」(5.1%)などの順となっている。

学校種別にみると、大きな差はみられない。

地域別にみると、「自分の時間がとれない」との回答は美作地域で5%未満と他の地域に比べ低くなっている。

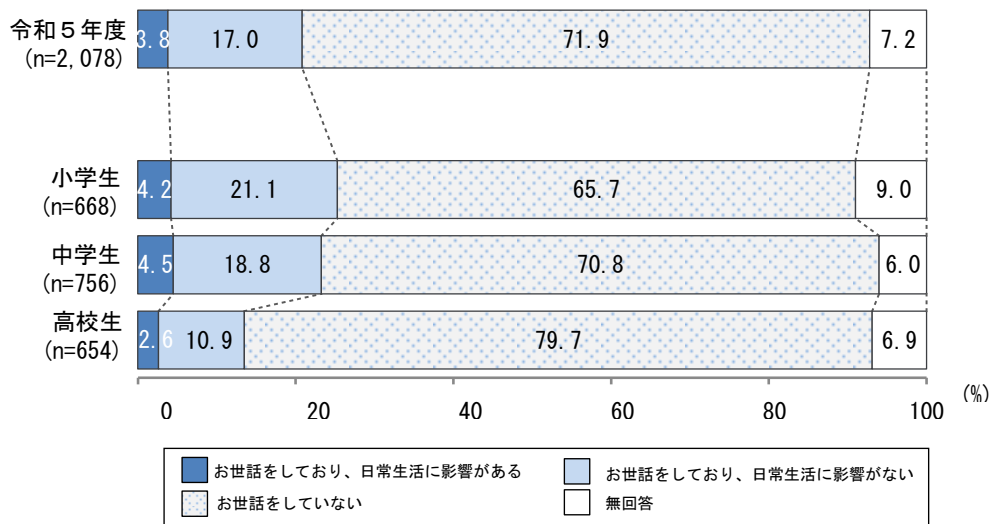
【図表 家族のお世話をしていることによる経験（全体・学校種別・地域別）】



<家族のお世話の状況>

家族のだれか一人でも「お世話をしている」と回答した児童生徒は全体の約 20%となっており、家族のお世話の結果、日常生活に影響があると回答した児童生徒は全体の約 4%となっている。

【図表 家族のお世話の状況（全体・学校種別）】



※問 8 で「1. 父」～「6. その他」を回答し、問 8-3 で「1. 学校を休んでしまう」～「9. その他」を回答した者を『お世話をしており、日常生活に影響がある』と総称する。

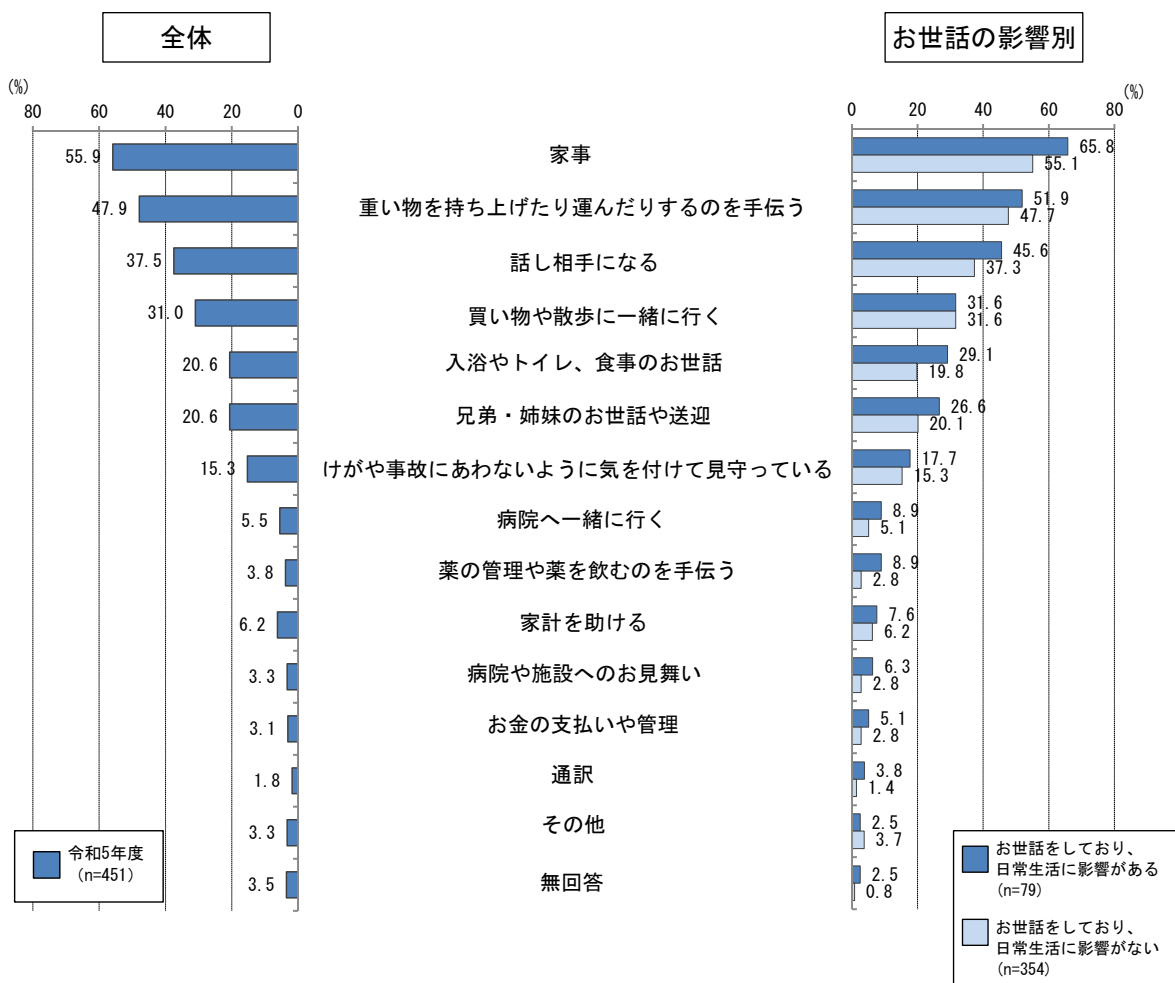
問 8 で「1. 父」～「6. その他」を回答し、問 8-3 で「10. 特にない」を回答した者を『お世話をしており、日常生活に影響がない』と総称する。

問 8 で「7. いない」を回答した者を『お世話をしていない』と総称する。

<家族のお世話の内容>

家族のだれか一人でも「お世話をしている」と回答した児童生徒が行っている家族のお世話の内容について、お世話の影響別に見ると、『お世話をしており、日常生活に影響がある』人は、『お世話をしており、日常生活に影響がない』人に比べて、「家事」、「話し相手になる」、「入浴やトイレ、食事のお世話」、「兄弟・姉妹のお世話や送迎」が5ポイント以上高くなっている。

【図表 家族のお世話の内容（全体・お世話の影響別）】



7 地域活動について

問9 あなたは、最近1年間で次のような地域の活動に参加したことがありますか。

《○はいくつでも》

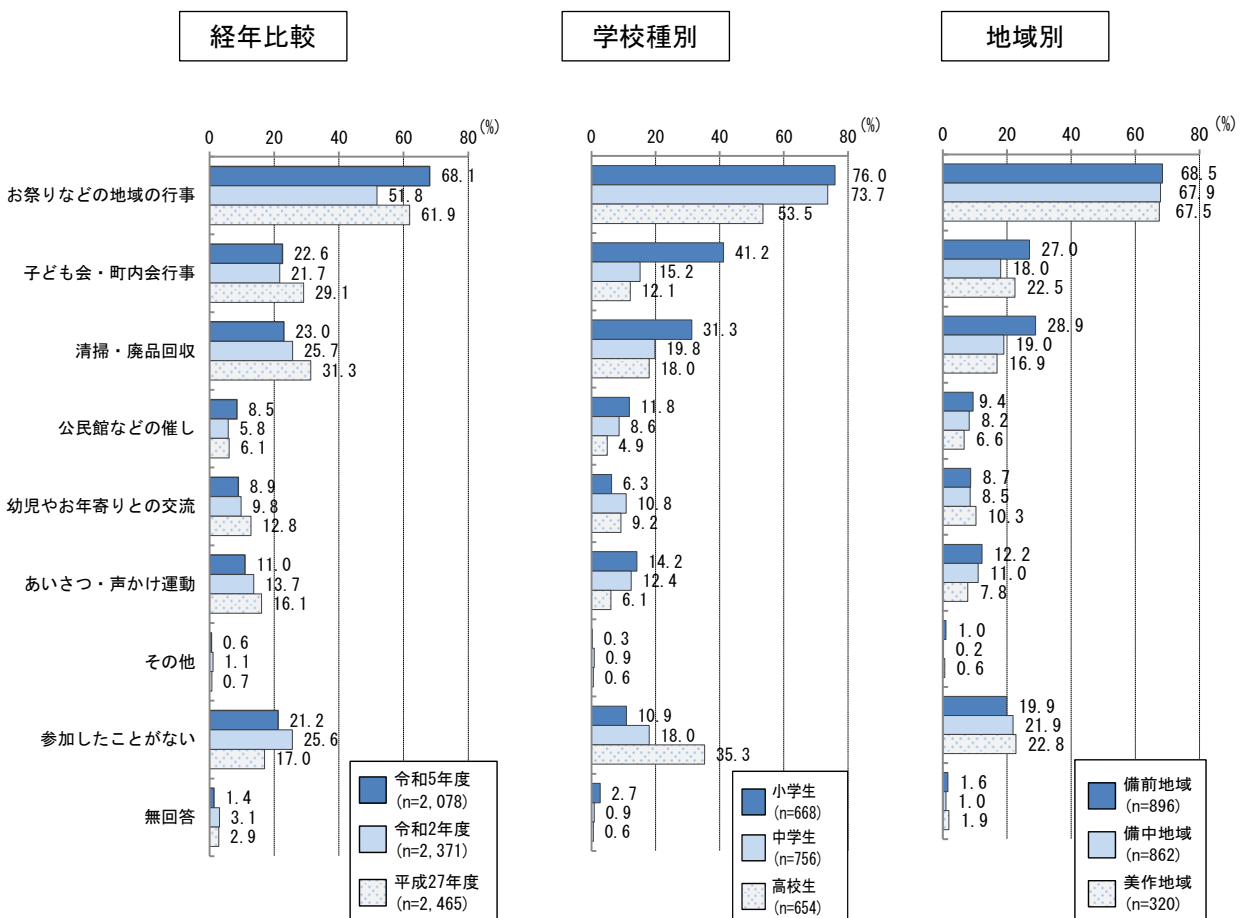
地域活動の参加状況について、「お祭りなどの地域の行事」との回答が68.1%と最も高く、次いで「清掃・廃品回収」(23.0%)、「子ども会・町内会行事」(22.6%)などの順となっている。また「参加したことがない」との回答は21.2%となっている。

経年比較すると、「お祭りなどの地域の行事」との回答は今回調査が前回調査を16.3ポイント上回っている。

学校種別にみると、「お祭りなどの地域の行事」「子ども会・町内会行事」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「参加したことがない」との回答は高校生で3割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「子ども会・町内会行事」「清掃・廃品回収」との回答は備前地域で他の地域に比べ高くなっている。

【図表 地域活動の参加状況（経年比較・学校種別・地域別）】



問10 あなたは、ボランティア活動をしていますか。《○は1つ》

※小学生にはない設問

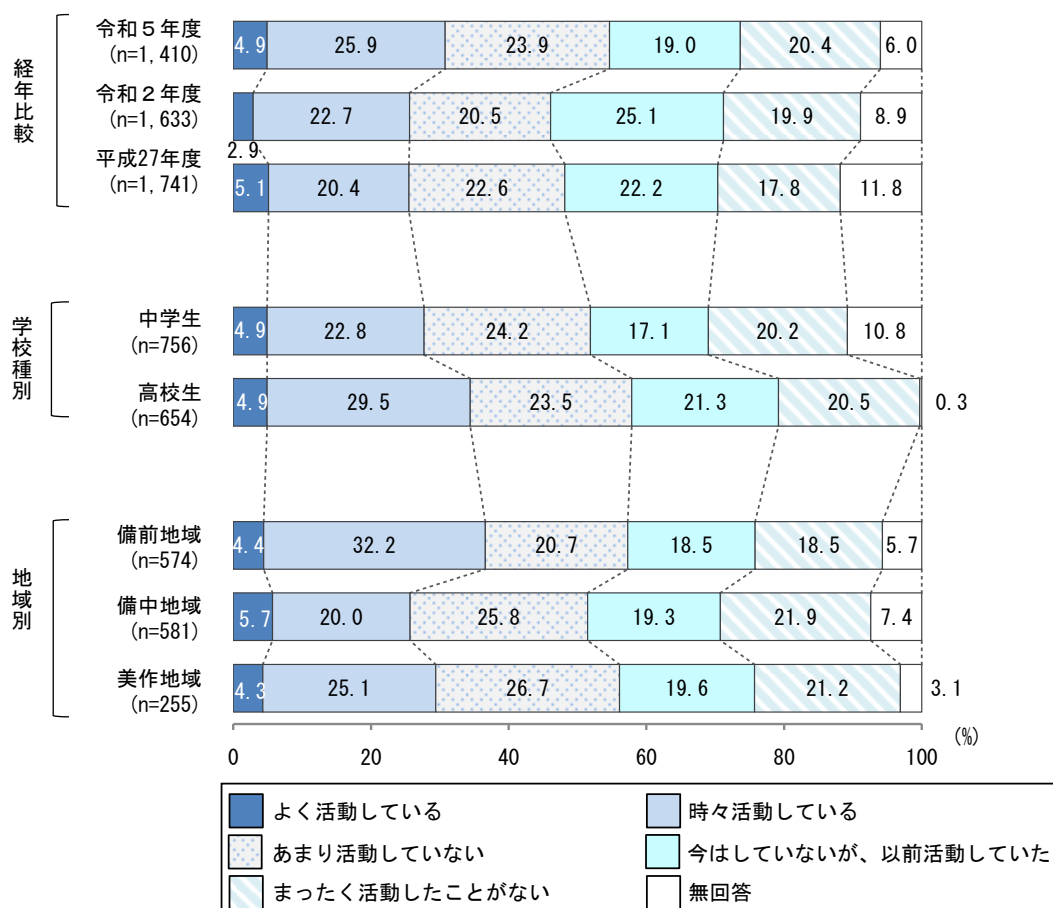
ボランティア活動の状況について、「時々活動している」との回答が25.9%と最も高く、次いで「あまり活動していない」(23.9%)、「まったく活動したことがない」(20.4%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「時々活動している」との回答は高校生で約3割と高くなっている。

地域別にみると、「時々活動している」との回答は備前地域で3割超と他の地域に比べ高くなっている。

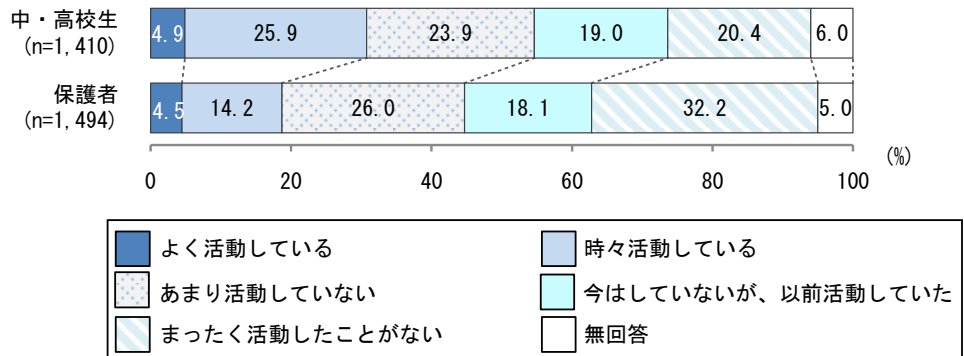
【図表 ボランティア活動の状況（経年比較・学校種別・地域別）】



<問 10 中・高校生と保護者の比較>

ボランティア活動の状況について、中・高校生、保護者別にみると、「時々活動している」との回答は中・高校生（25.9%）が保護者（14.2%）を11.7ポイント上回っている。一方「まったく活動したことがない」との回答は中・高校生（20.4%）が保護者（32.2%）を11.8ポイント下回っている。

【図表 ボランティア活動の状況（中・高校生、保護者別）】



(問9で「8. 参加したことがない」、または問10で「5. まったく活動したことがない」に○がついた人だけお答えください。)

問11 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加しないのは、なぜですか。

《○は3つまで》

※小学生にはない設問

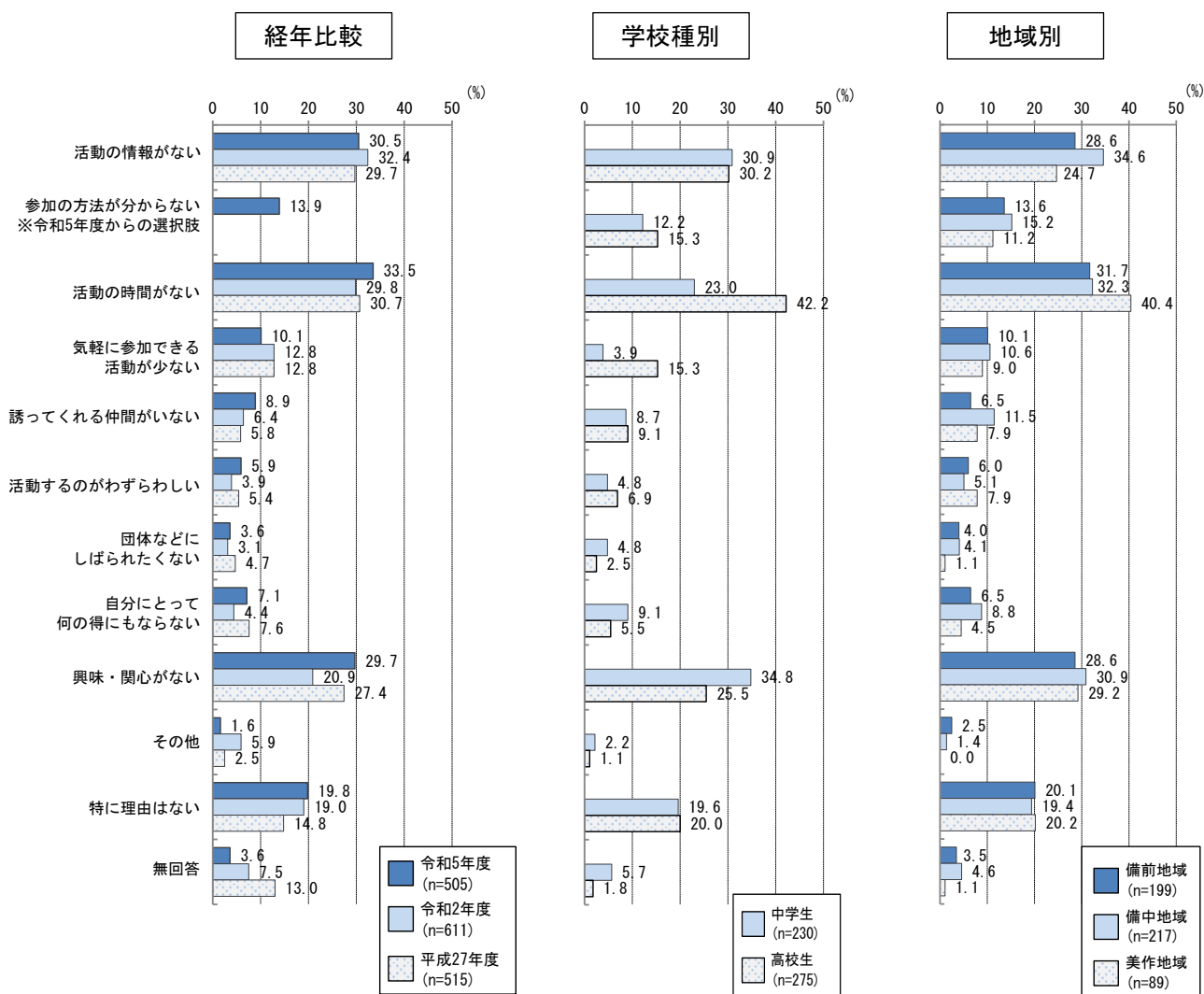
地域活動やボランティア活動に参加しない理由について、「活動の時間がない」との回答が33.5%と最も高く、次いで「活動の情報がない」(30.5%)、「興味・関心がない」(29.7%)などの順となっている。

経年比較すると、「興味・関心がない」との回答は今回調査が前回調査を8.8ポイント上回っている。

学校種別にみると、「活動の時間がない」、「気軽に参加できる活動が少ない」との回答は高校生で高くなっている。一方「興味・関心がない」との回答は中学生が3割台半ばと高くなっている。

地域別にみると「活動の情報がない」との回答は備中地域で3割台半ば、「活動の時間がない」との回答は美作地域で4割超と他の地域に比べ高くなっている。

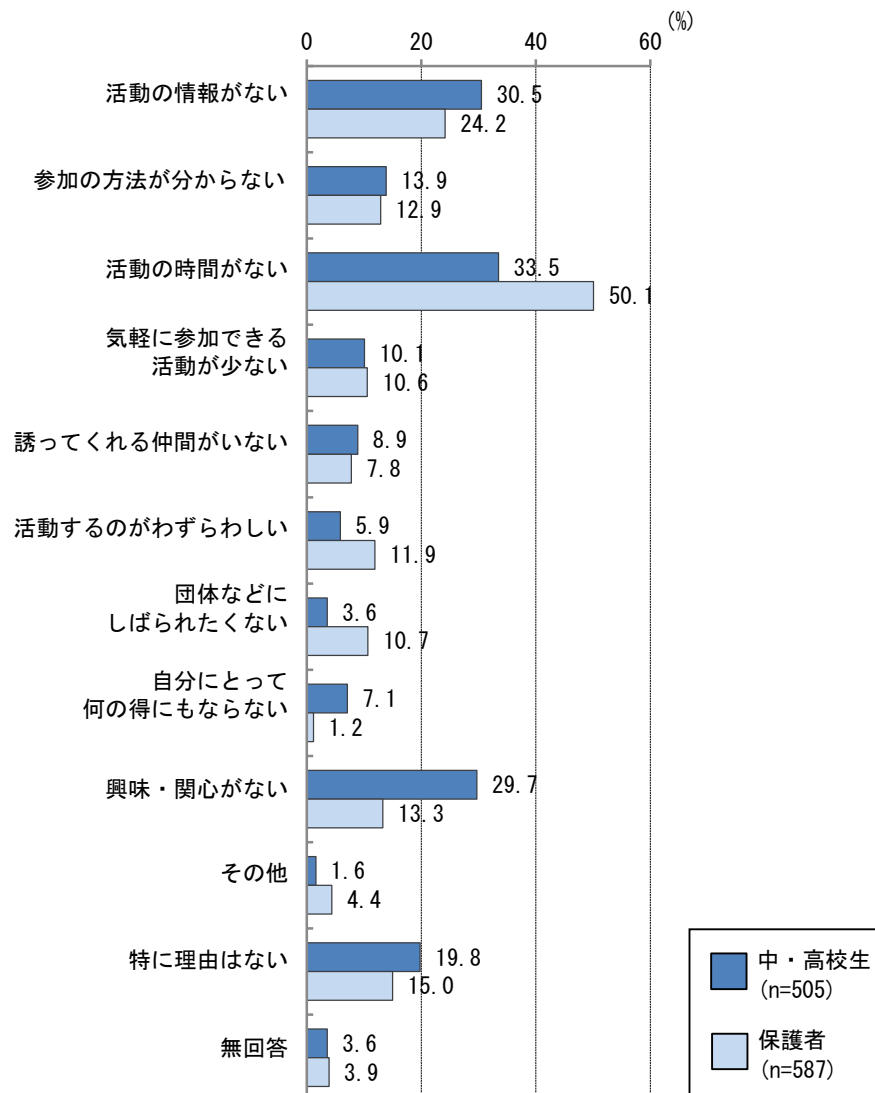
【図表 地域活動やボランティア活動に参加しない理由 (経年比較・学校種別・地域別)】



<問 11 中・高校生と保護者の比較>

地域活動やボランティア活動に参加しない理由について、中・高校生、保護者別にみると、「活動の時間がない」との回答は中・高校生（33.5%）が保護者（50.1%）を16.6ポイント、「団体などにしぼられたくない」との回答は中・高校生（3.6%）が保護者（10.7%）を7.1ポイント下回っている。一方「興味・関心がない」との回答は中・高校生（29.7%）が保護者（13.3%）を16.4ポイント上回っている。

【図表 地域活動やボランティア活動に参加しない理由（中・高校生、保護者別）】



8 近所の人とのかかわりについて

問12 あなたは、近所（同じ町内会）の人とのかかわりはどの程度ですか。《○は1つ》

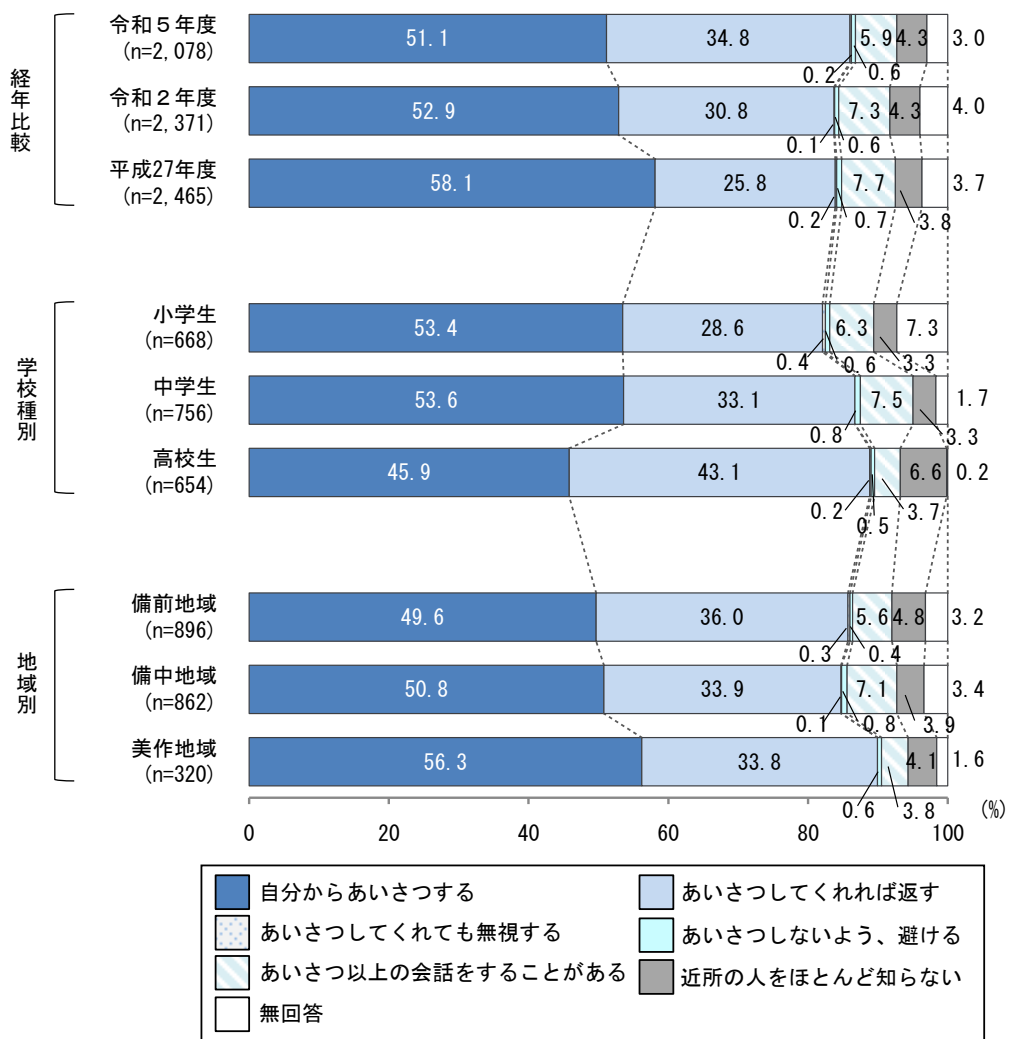
近所の人とのかかわりの程度について、「自分からあいさつする」との回答が51.1%と最も高く、次いで「あいさつしてくれれば返す」(34.8%)、「あいさつ以上の会話をする」との回答(5.9%)などの順となっている。

経年比較すると、「自分からあいさつする」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。一方、「あいさつしてくれれば返す」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「あいさつしてくれれば返す」との回答は高校生で4割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなってきている。

地域別にみると、「自分からあいさつする」との回答は美作地域で5割台半ばと他の地域に比べ高くなってきている。

【図表 近所の人とのかかわりの程度（経年比較・学校種別・地域別）】



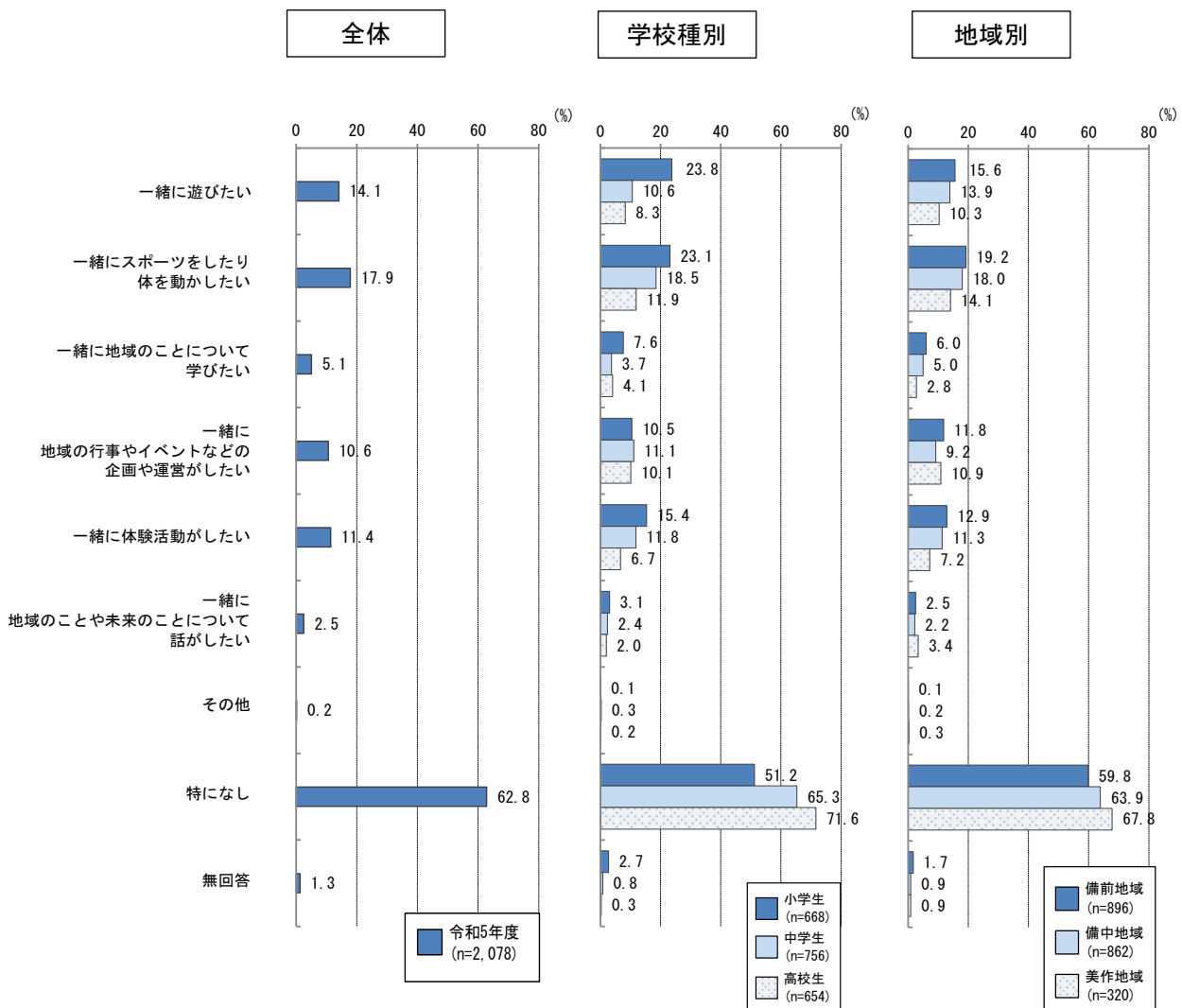
問 1 3 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。《○はいくつでも》

地域の人と一緒にしたいことについて、「特になし」との回答が62.8%と最も高く、次いで「一緒にスポーツをしたり体を動かしたい」(17.9%)、「一緒に遊びたい」(14.1%)などの順となっている。

学校種別にみると、「一緒に遊びたい」「一緒にスポーツをしたり体を動かしたい」との回答は小学生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。一方、「特になし」との回答は高校生で7割超と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 地域の人と一緒にしたいこと（全体・学校種別・地域別）】



<問 13 児童生徒・青年・保護者の比較>

地域の人と一緒にしたいことについて、児童生徒・青年・保護者別にみると、「一緒に遊びたい」との回答は、児童生徒（14.1%）が保護者（5.6%）を8.5ポイント上回っている。

【図表 地域の人と一緒にしたいこと（調査対象別）】

(%)

	問13 近所の人や身近な地域の人と一緒にしたいことはありますか。									
	一緒に遊びたい	一緒に体を動かしたい	一緒に地域のことに	企画や運営がしたい	一緒に地域の行事やイベントなど	一緒に体験活動がしたい	一緒に地域のことで話したい	その他	特になし	無回答
全体	2078	14.1	17.9	5.1	10.6	11.4	2.5	0.2	62.8	1.3
児童生徒	668	23.8	23.1	7.6	10.5	15.4	3.1	0.1	51.2	2.7
小学生	756	10.6	18.5	3.7	11.1	11.8	2.4	0.3	65.3	0.8
中学生	654	8.3	11.9	4.1	10.1	6.7	2.0	0.2	71.6	0.3
高校生	964	7.5	8.9	4.9	7.8	7.9	2.9	0.9	75.0	0.9
青年	1494	5.6	12.8	6.8	7.7	13.1	5.1	1.9	65.5	1.1
保護者										

9 相談相手について

問14 あなたの、心配事や悩みの相談相手は誰ですか。《○は3つまで》

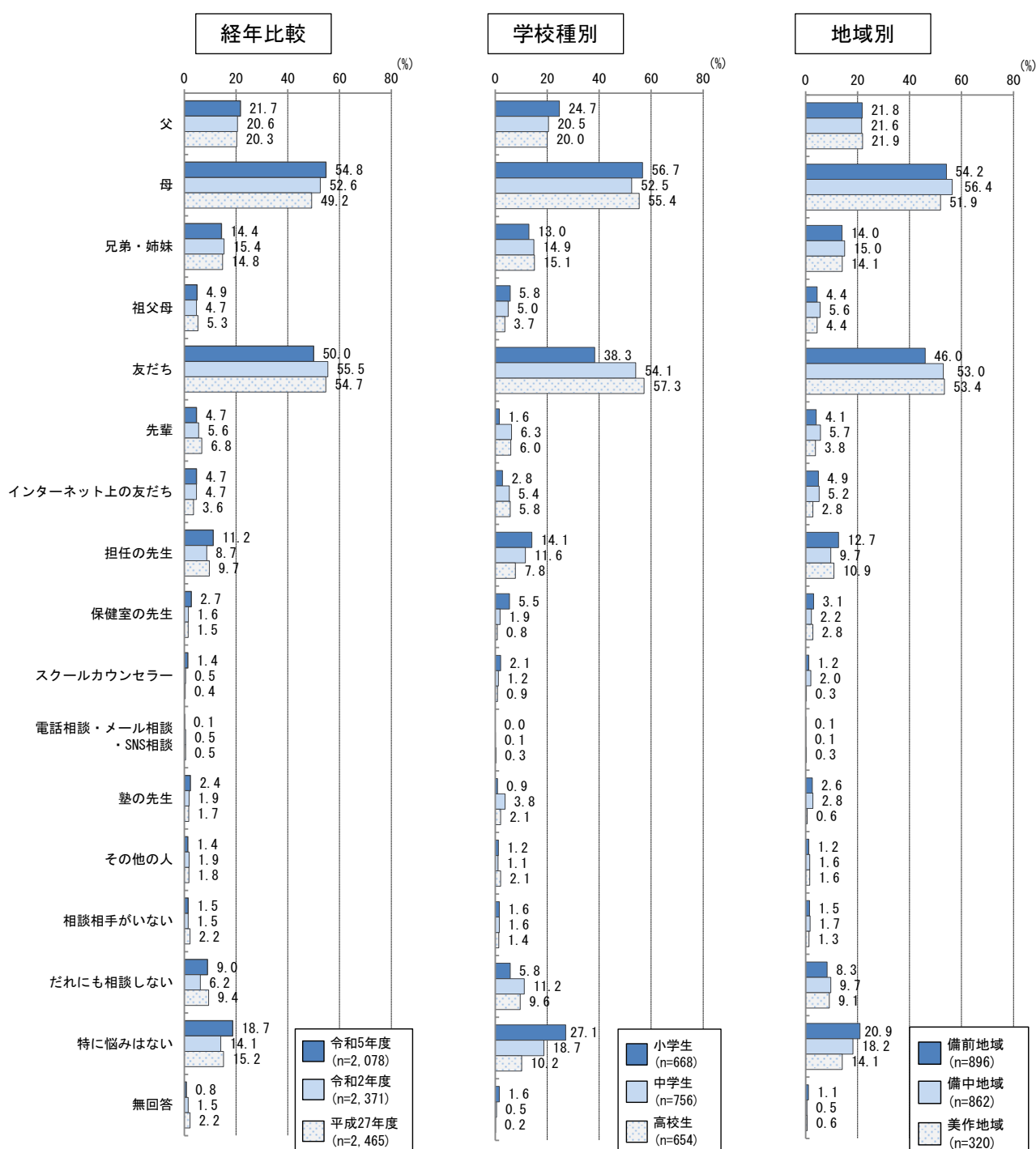
心配事や悩みの相談相手について、「母」との回答が54.8%と最も高く、次いで「友だち」(50.0%)、「父」(21.7%)などの順となっている。

経年比較すると、「母」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「友だち」との回答は高校生で約6割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「友だち」との回答は備前地域で4割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 心配事や悩みの相談相手（経年比較・学校種別・地域別）】



10 自分自身の性格について

問15 あなた自身のことについておたずねします。《○は①～⑧それぞれ1つずつ》

① きまりやルールをきちんと守るほうだ

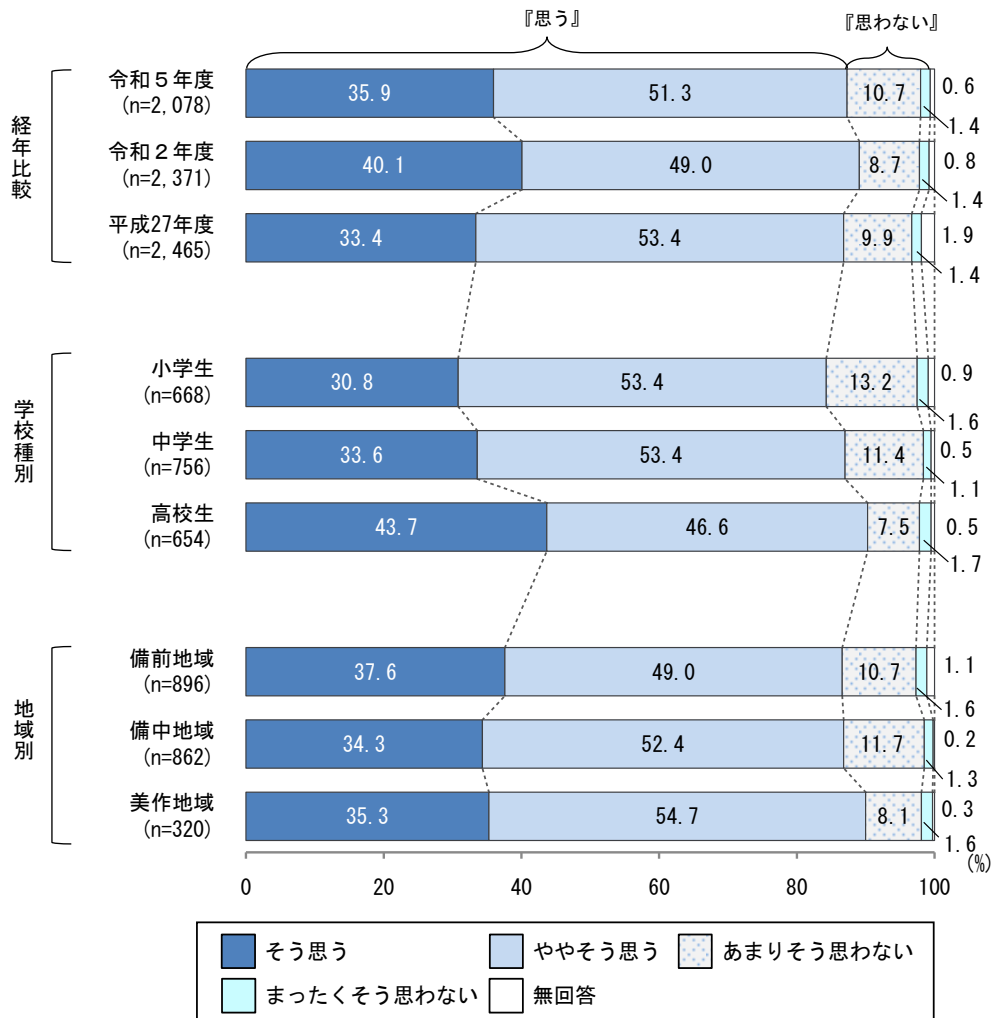
きまりやルールをきちんと守るほうだと思うかどうかについて、『思う』との回答が87.2%、『思わない』との回答が12.1%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で約9割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 きまりやルールをきちんと守るほうだ（経年比較・学校種別・地域別）】



② どんなことでも積極的なほうだ

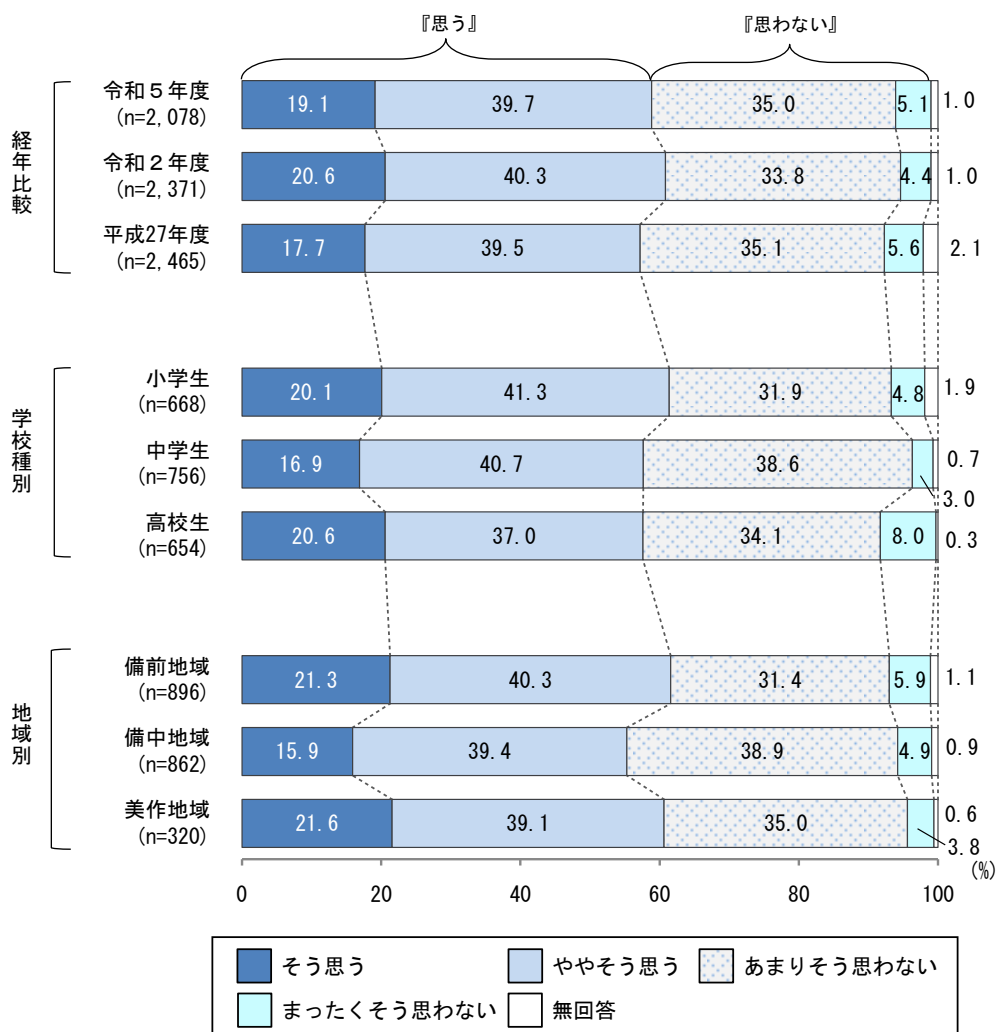
どんなことでも積極的なほうだと思うかどうかについて、『思う』との回答が 58.8%、『思わない』との回答が 40.1%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思わない』との回答は中学生、高校生で約4割とやや高くなっている。

地域別にみると、『思わない』との回答は備中地域で約4割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 どんなことでも積極的なほうだ（経年比較・学校種別・地域別）】



③ キレやすい

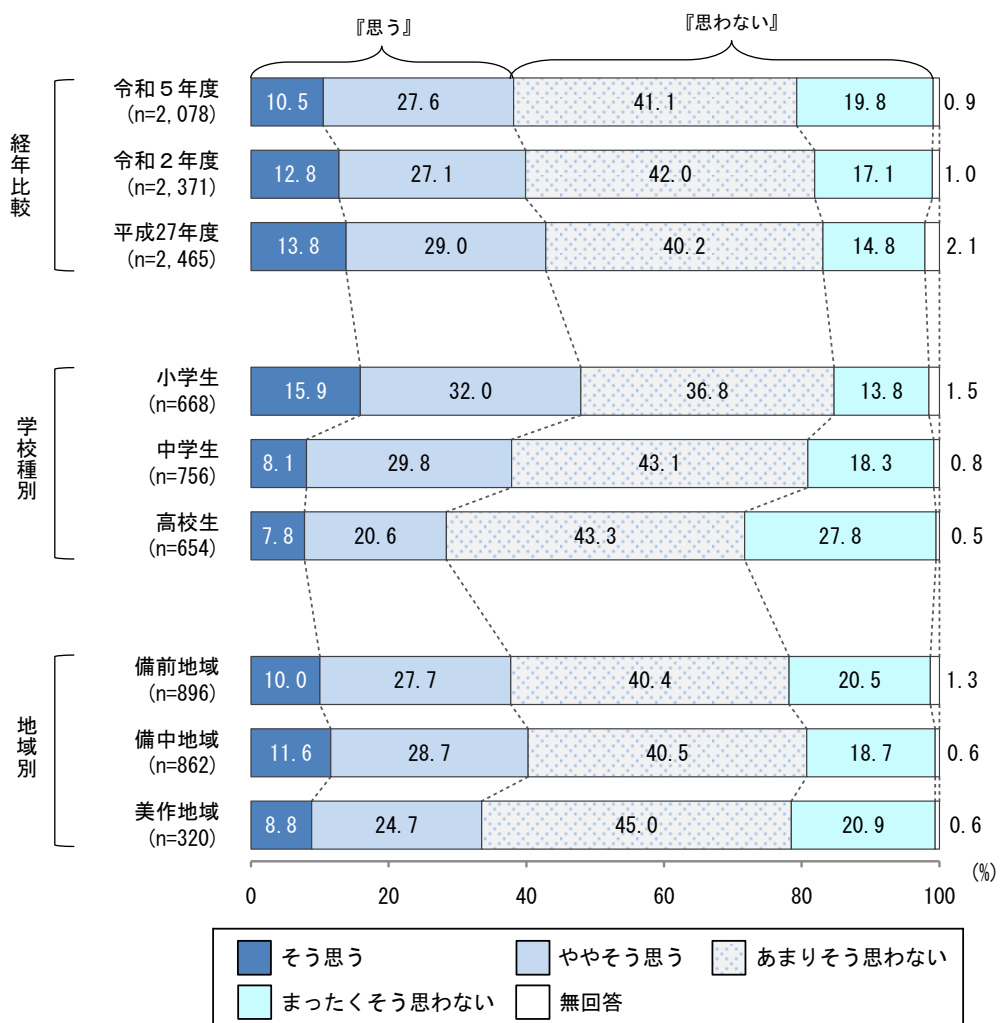
キレやすいと思うかどうかについて、『思う』との回答が38.1%、『思わない』との回答が60.9%となっている。

経年比較すると、『思わない』との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、『思わない』との回答は高校生で約7割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると『思わない』との回答は美作地域で6割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

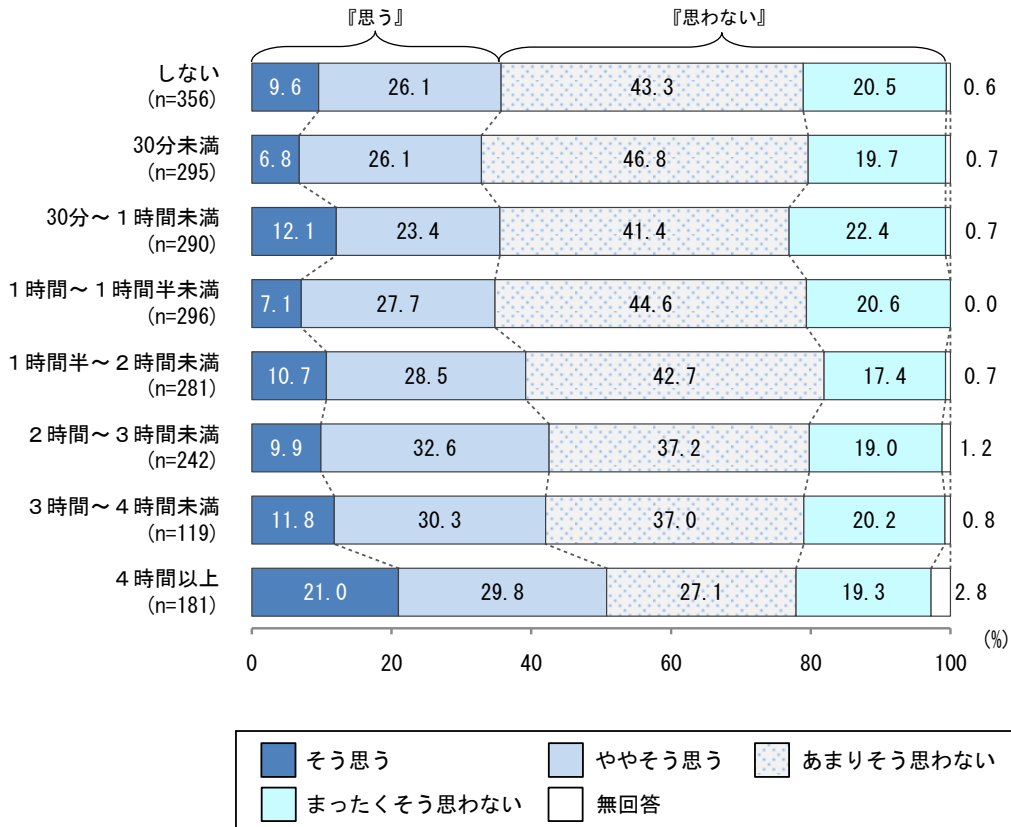
【図表 キレやすい（経年比較・学校種別・地域別）】



<問 15 ゲームをする時間との関係>

キレイやすいと思うかどうかについて、ゲームをする時間別でみると、ゲームをする時間が4時間以上の児童生徒は『思う』との回答が約5割と高くなっている。

【図表 キレイやすい（ゲームをする時間別）】



④ つまらないことですぐに落ちこむ

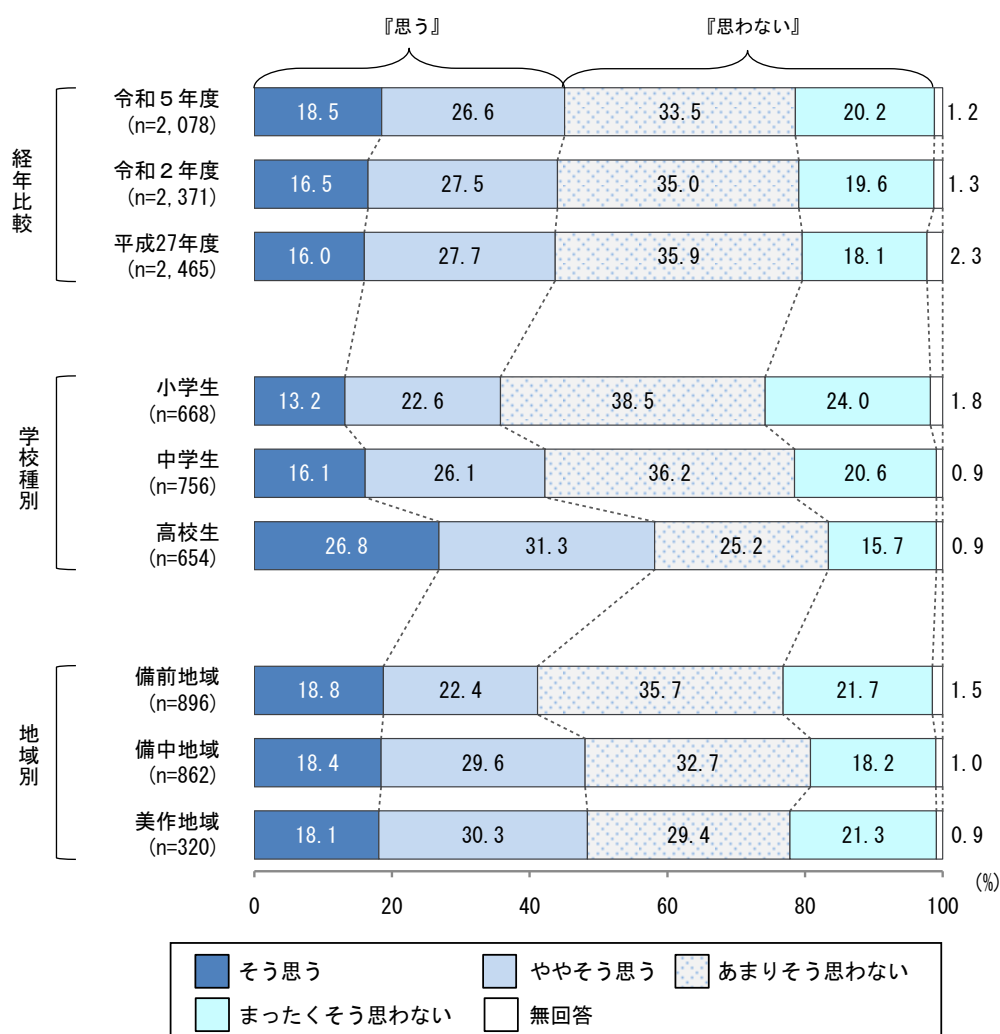
つまらないことですぐに落ち込むと思うかどうかについて、『思う』との回答が45.1%、『思わない』との回答が53.7%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で約6割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、『思う』との回答は備前地域で約4割と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 つまらないことですぐに落ちこむ（経年比較・学校種別・地域別）】



⑤ 人とつきあうのが苦手だ

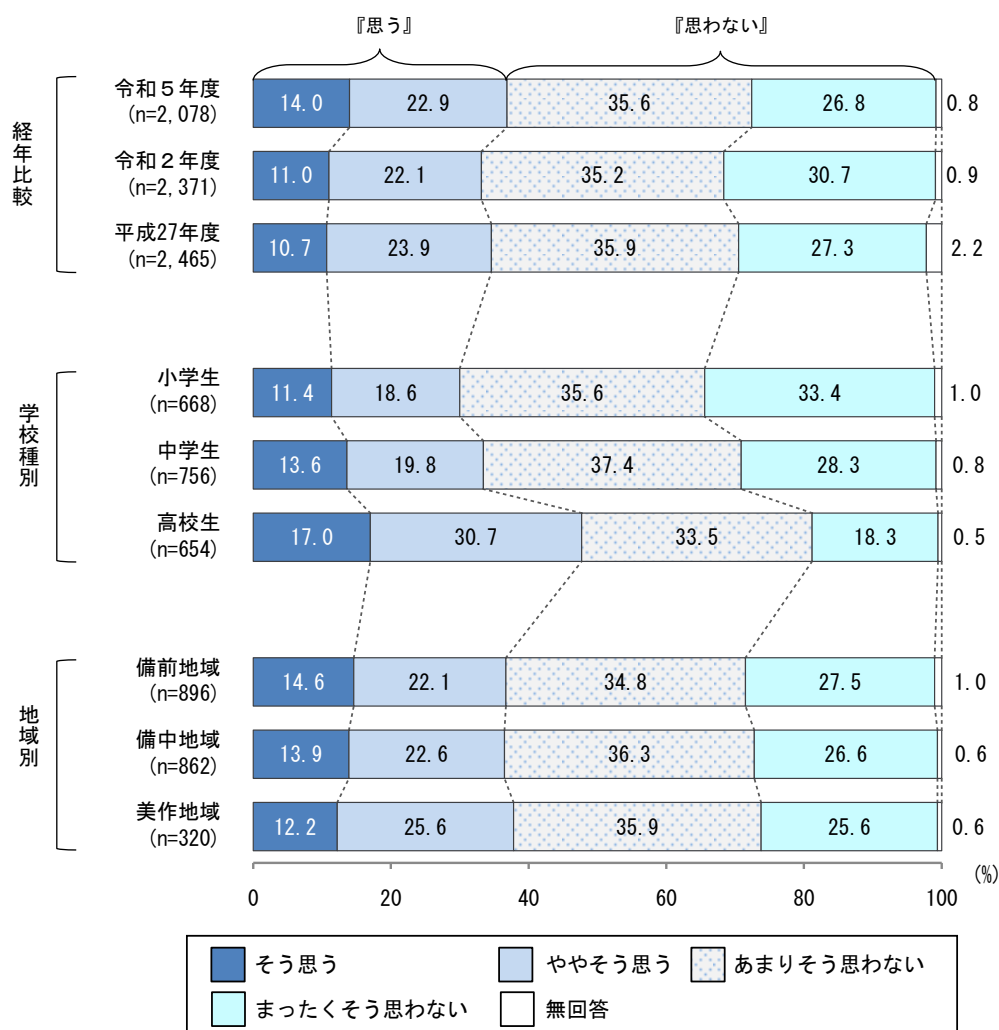
人とつきあうのが苦手だと思うかどうかについて、『思う』との回答が36.9%、『思わない』との回答が62.4%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で約5割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

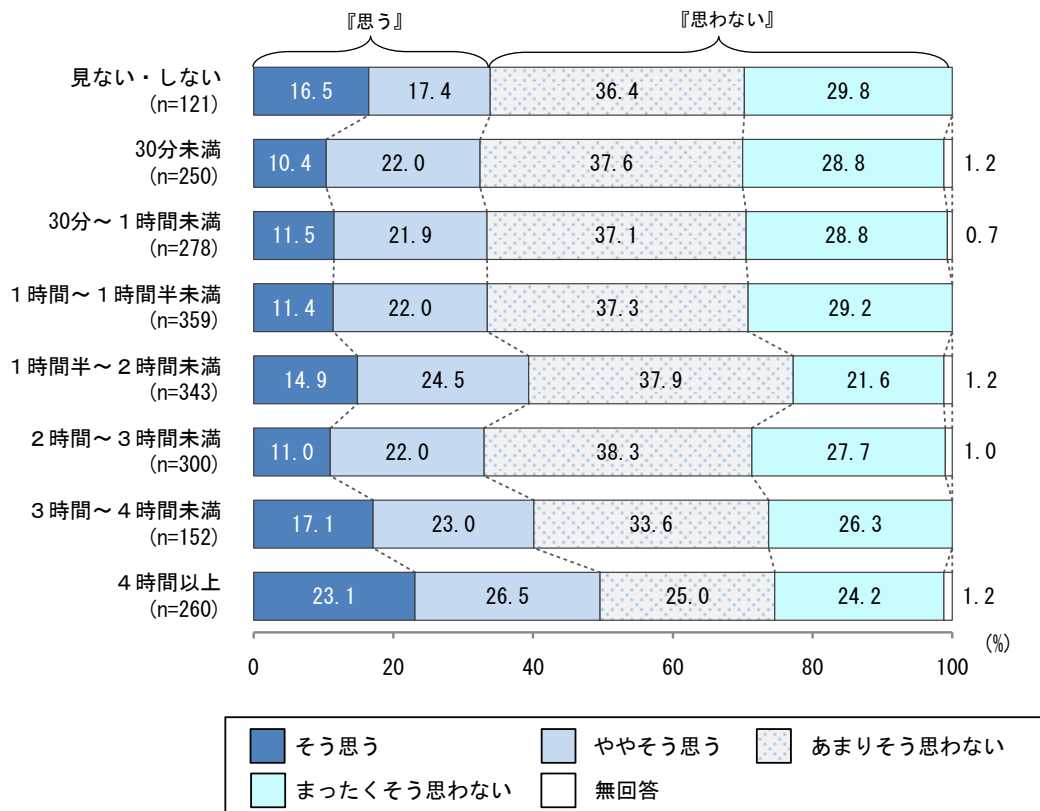
【図表 人とつきあうのが苦手だ（経年比較・学校種別・地域別）】



<問 15 ゲーム以外でのインターネットをする時間との関係>

人とつきあうのが苦手だと思うかどうかについて、ゲーム以外でのインターネットをする時間別にみると、『思う』との回答は4時間以上ゲーム以外でのインターネットをする児童生徒で約5割と高くなっている。

【図表 人とつきあうのが苦手だ（ゲーム以外でのインターネットをする時間別）】



⑥ 自信を持ってやれることがない

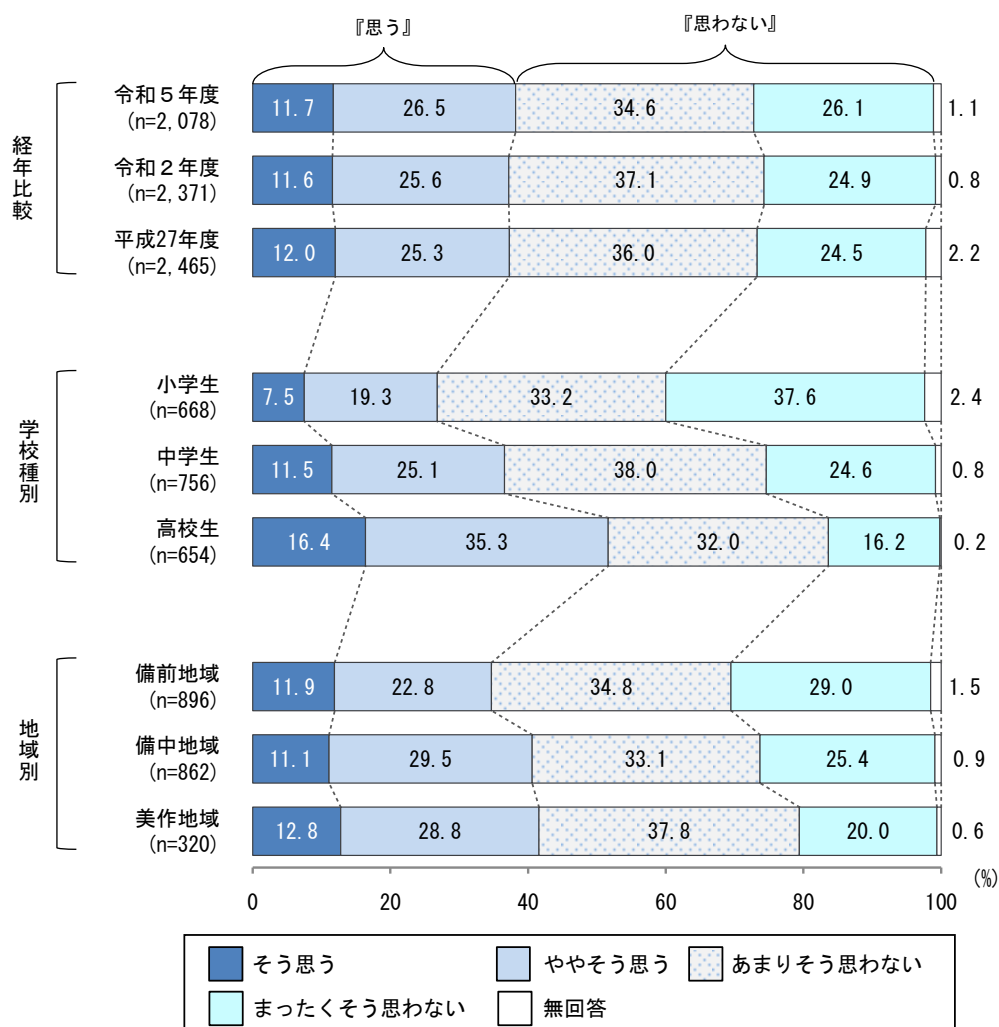
自信を持ってやれることがないと思うかどうかについて、『思う』との回答が38.2%、『思わない』との回答が60.7%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、『思う』との回答は高校生で5割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、『思う』との回答は備前地域で3割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 自信を持ってやれることがない（経年比較・学校種別・地域別）】



⑦ 自分が好きである

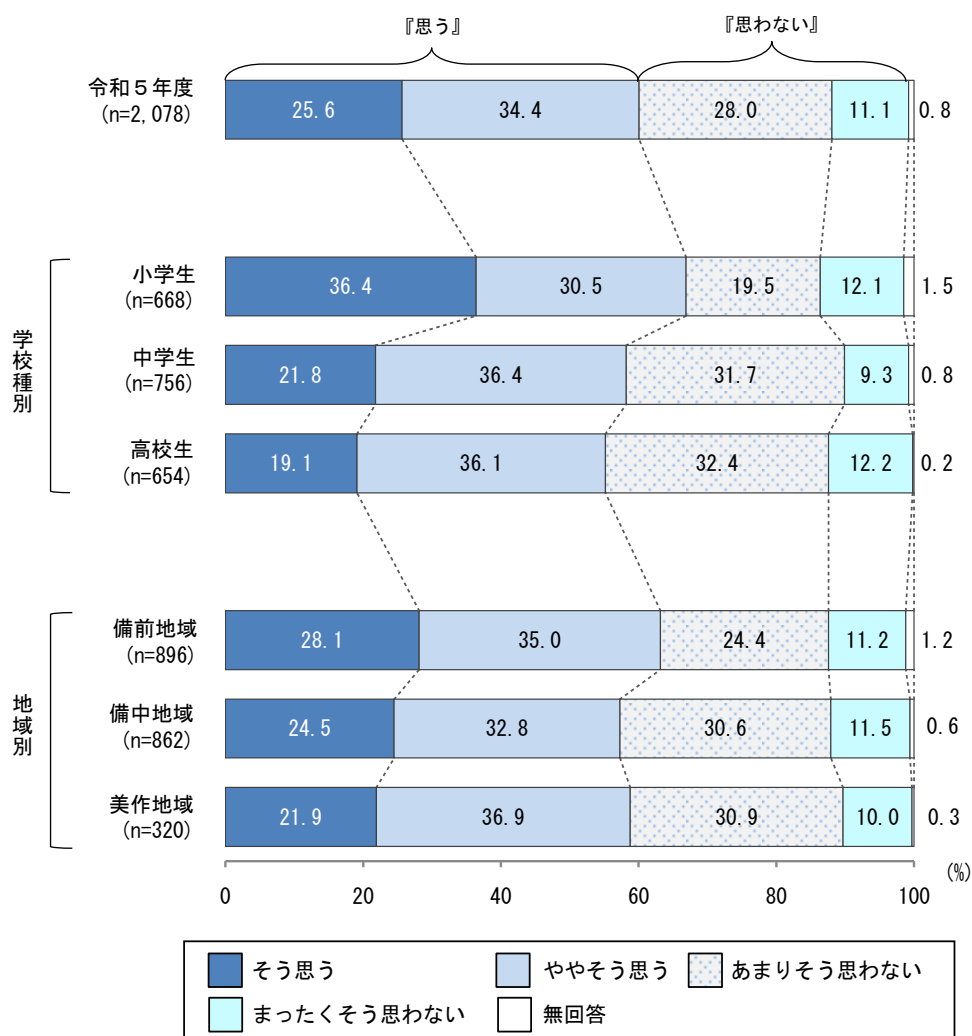
※令和5年度からの選択肢

自分が好きであると思うかどうかについて、『思う』との回答が60.0%、『思わない』との回答が39.1%となっている。

学校種別にみると、『思う』との回答は小学生で6割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、『思わない』との回答は備前地域で3割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 自分が好きである（全体・学校種別・地域別）】



⑧ 自分には良いところがある

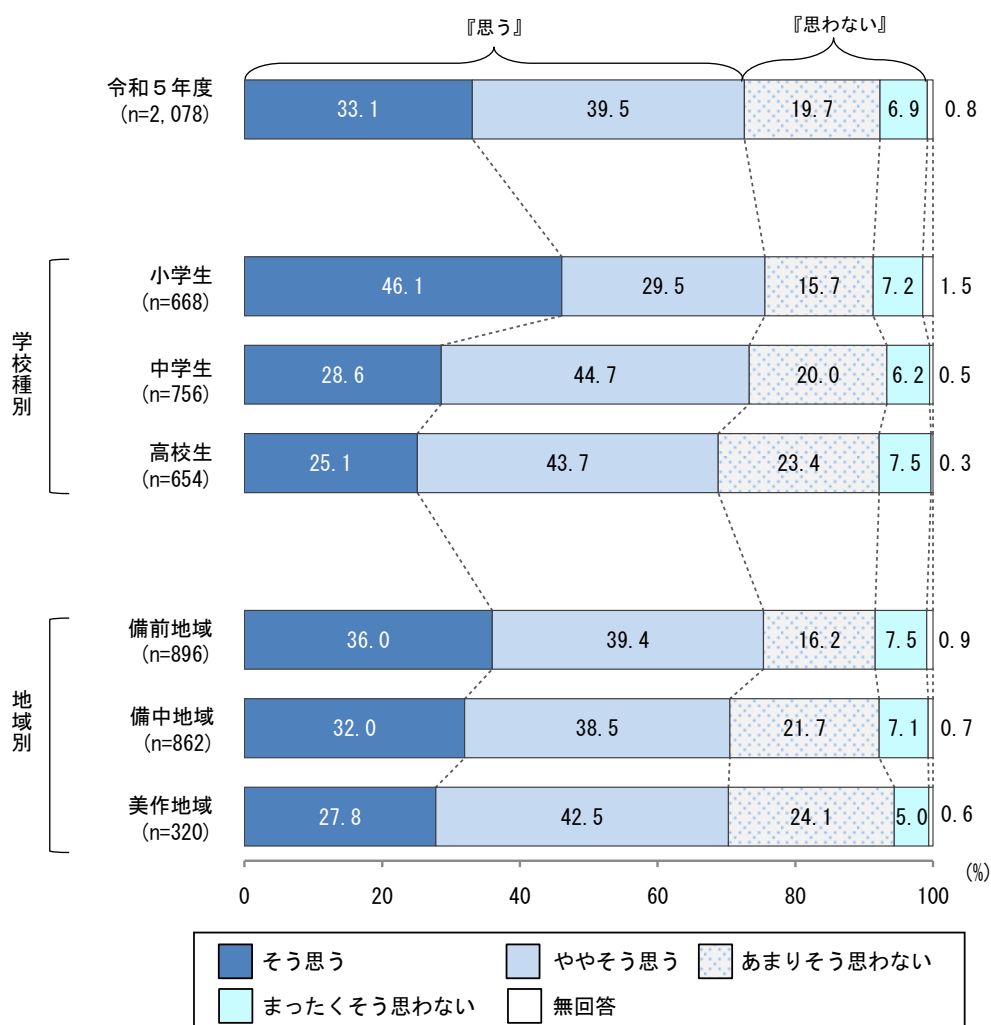
※令和5年度からの選択肢

自分には良いところがあると思うかどうかについて、『思う』との回答が72.6%、『思わない』との回答が26.6%となっている。

学校種別にみると、『思わない』との回答は高校生で約3割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、『思わない』との回答は備前地域で2割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

【図表 自分には良いところがある（全体・学校種別・地域別）】



11 大人の悪いところについて

問16 あなたが、今の大人を見て、悪いと思うところはどんなところですか。

《〇はいくつでも》

※小学生にはない設問

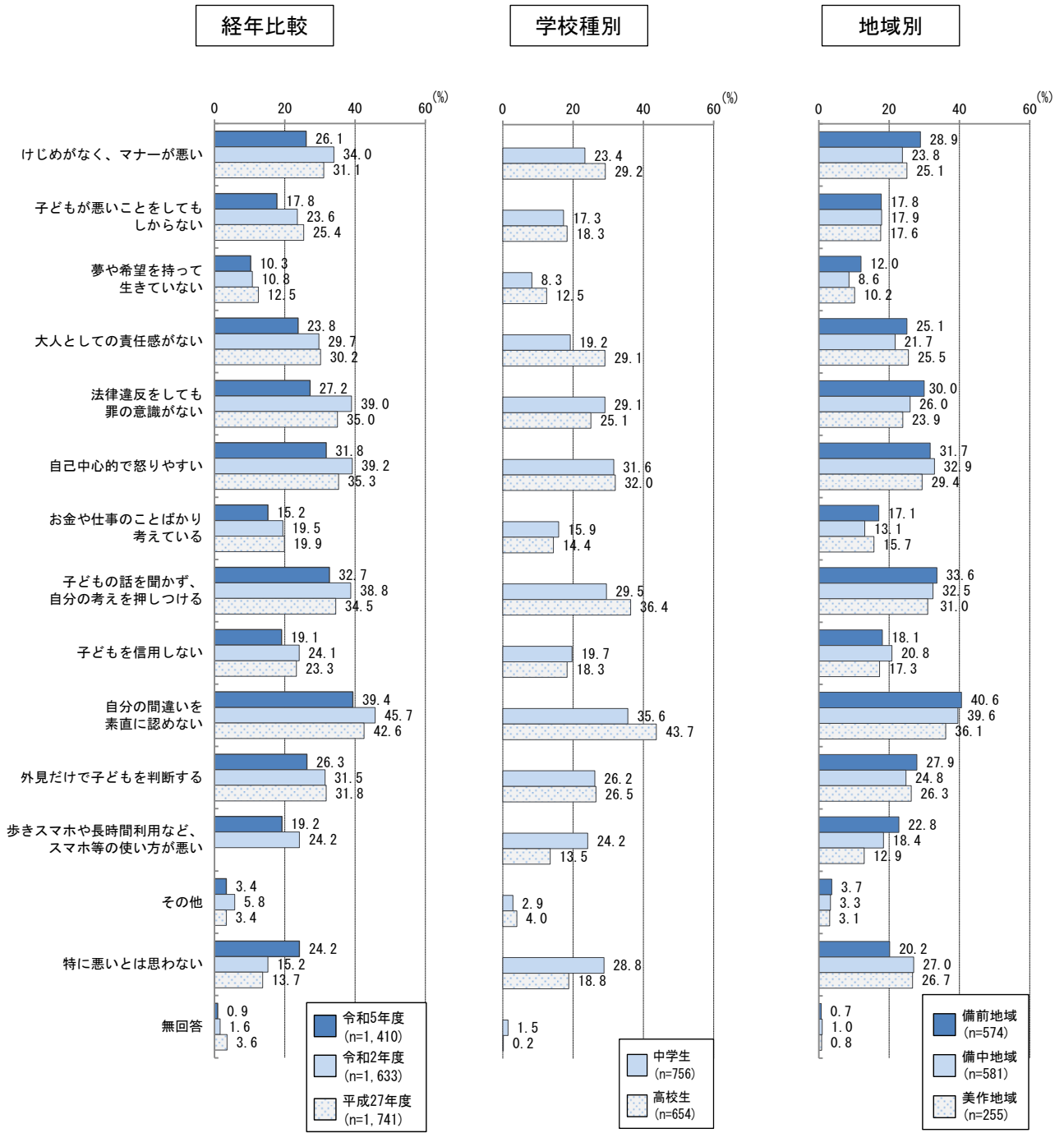
大人の悪いところについて、「自分の間違いを素直に認めない」との回答が39.4%と最も高く、次いで「子どもの話を聞かず、自分の考えを押しつける」(32.7%)、「自己中心的で怒りやすい」(31.8%)などの順となっている。

経年比較すると、「法律違反をしても罪の意識がない」との回答は今回調査が前回調査を11.8ポイント下回っている。一方、「特に悪いとは思わない」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「大人としての責任感がない」との回答は中学生が高校生を9.9ポイント下回っている。一方「歩きスマホや長時間利用など、スマホ等の使い方が悪い」、「特に悪いとは思わない」との回答は中学生で高くなっている。

地域別にみると、「歩きスマホや長時間利用など、スマホ等の使い方が悪い」との回答は美作地域で約1割と低く、「特に悪いとは思わない」との回答は備前地域で約2割と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 大人の悪いところ（経年比較・学校種別・地域別）】



12 将来の夢について

問17 あなたは、将来にどのような夢を持っていますか。《○はいくつでも》

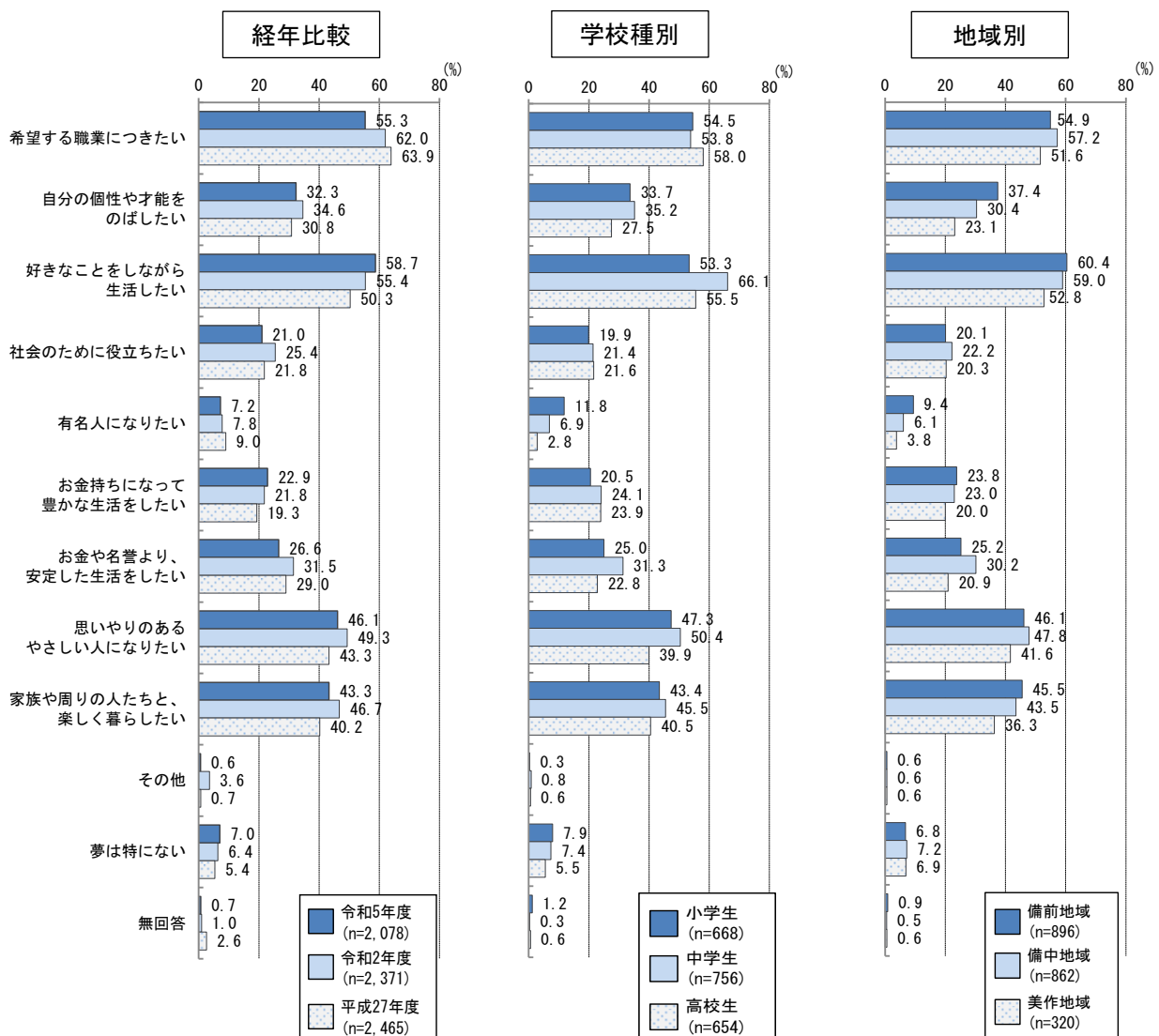
将来の夢について、「好きなことをしながら生活したい」との回答が58.7%と最も高く、次いで「希望する職業につきたい」(55.3%)、「思いやりのあるやさしい人になりたい」(46.1%)、「家族や周りの人たちと、楽しく暮らしたい」(43.3%)などの順となっている。

経年比較すると、「希望する職業につきたい」との回答は今回調査が前回調査を6.7ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「好きなことをしながら生活したい」、「思いやりのあるやさしい人になりたい」との回答は中学生で高くなっている。

地域別にみると、「自分の個性や才能をのびしたい」との回答は備前地域で3割台半ば、「お金や名誉より、安定した生活をしたい」との回答は備中地域で約3割と高くなっている。

【図表 将来の夢（経年比較・学校種別・地域別）】



13 住んでいる地域について

問18 あなたは、現在住んでいる地域が好きですか。《○は1つ》

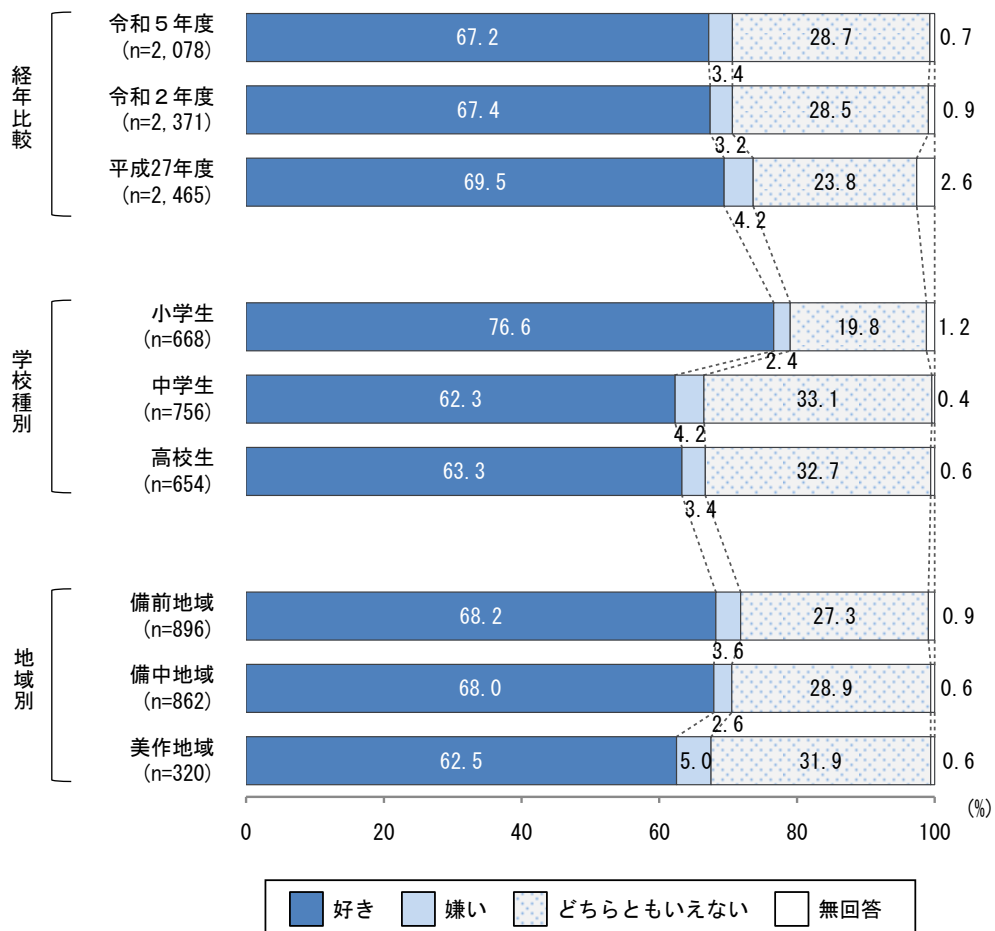
住んでいる地域について、「好き」との回答が67.2%、「嫌い」との回答が3.4%、「どちらともいえない」との回答が28.7%となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「好き」との回答は小学生で7割台半ばと高くなっている。

地域別にみると、「好き」との回答は美作地域で6割超と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 住んでいる地域が好きか（経年比較・学校種別・地域別）】



問19 あなたは、岡山県は将来どのような県になってほしいと思いますか。《○は3つまで》

※小学生にはない設問

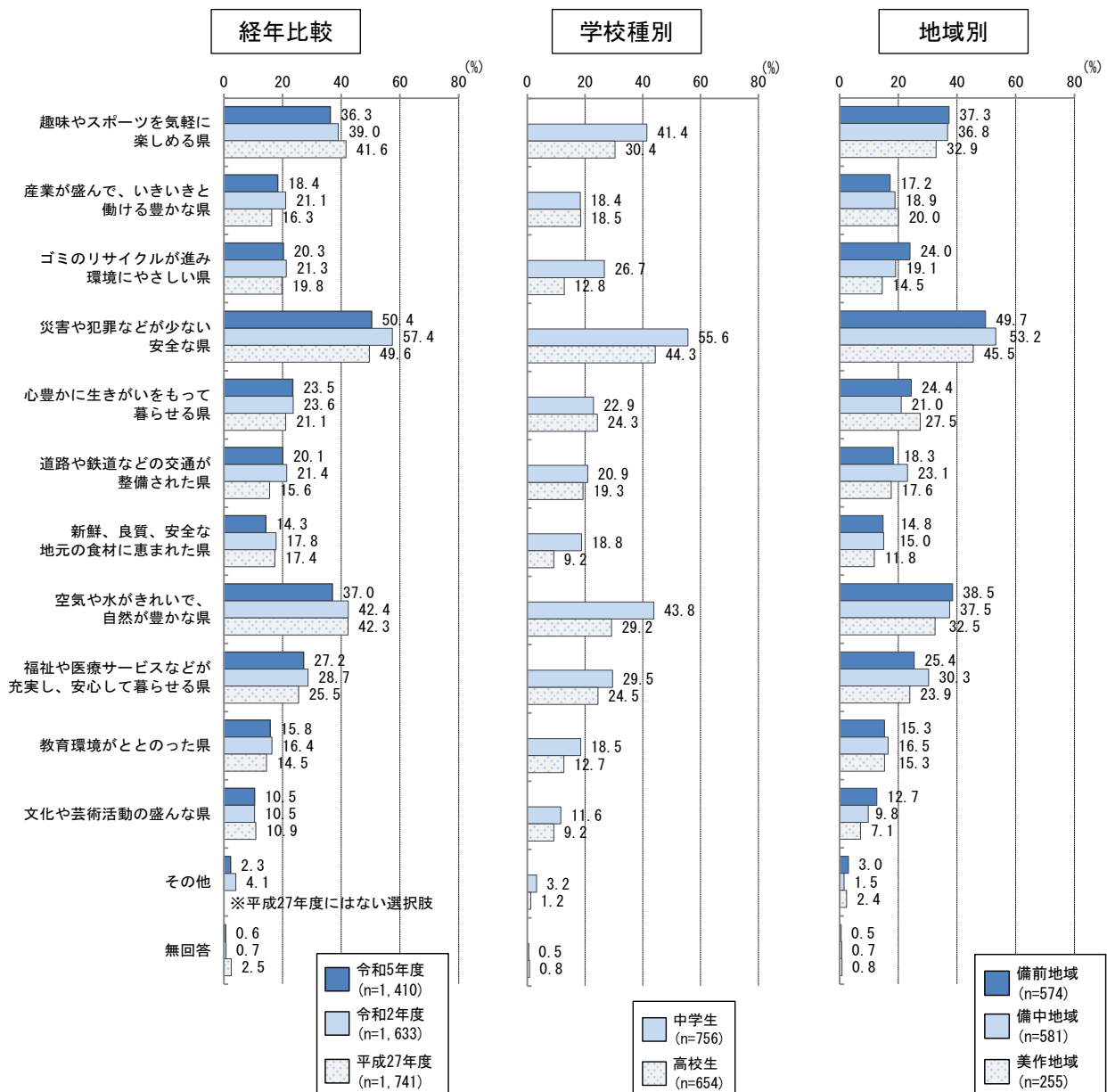
岡山県が将来どのような県になってほしいかについて、「災害や犯罪などが少ない安全な県」との回答が50.4%と最も高く、次いで「空気や水がきれいで、自然が豊かな県」(37.0%)、「趣味やスポーツを気軽に楽しめる県」(36.3%)などの順となっている。

経年比較すると、「災害や犯罪などが少ない安全な県」との回答は今回調査が前回調査を7.0ポイント、「空気や水がきれいで、自然が豊かな県」との回答は5.4ポイント下回っている。

学校種別にみると、「ゴミのリサイクルが進み環境にやさしい県」、「災害や犯罪などが少ない安全な県」、「空気や水がきれいで、自然が豊かな県」との回答は中学生で高くなっている。

地域別にみると、「空気や水がきれいで、自然が豊かな県」との回答は美作地域で約3割と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 岡山県が将来どのような県になってほしいか（経年比較・学校種別・地域別）】



14 関心のあることについて

問20 あなたが関心のあることはどのようなことですか。《○はいくつでも》

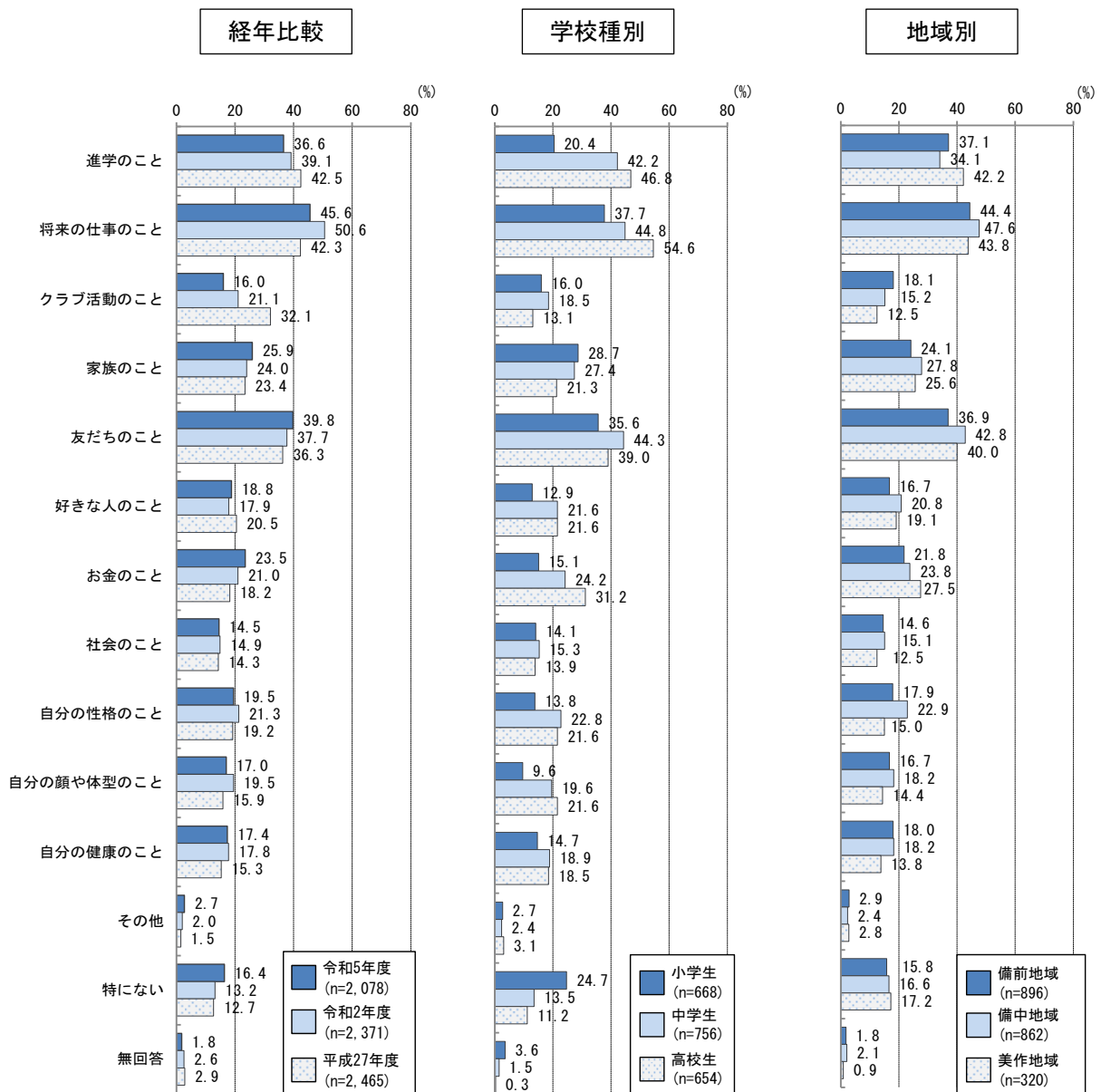
関心のあることについて、「将来の仕事のこと」との回答が45.6%と最も高く、次いで「友だちのこと」(39.8%)、「進学のこと」(36.6%)などの順となっている。

経年比較すると、「進学のこと」、「クラブ活動のこと」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「進学のこと」、「将来の仕事のこと」、「お金のこと」との回答は高校生で高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「進学のこと」との回答は美作地域で4割超と高く、「友だちのこと」、「自分の性格のこと」との回答は備中地域で高くなっている。

【図表 関心のあること（経年比較・学校種別・地域別）】



15 働くことについて

問 2 1 あなたは、将来したい仕事やつきたい職業がありますか。《○は1つ》

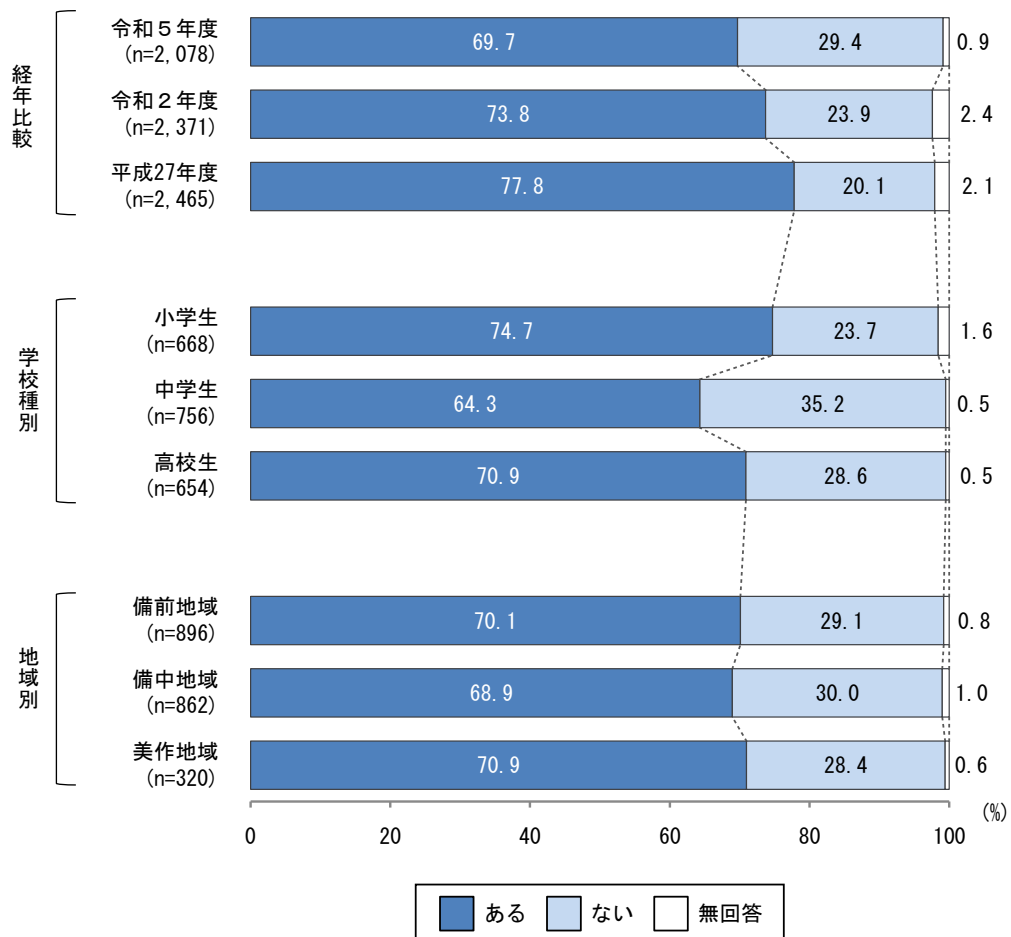
将来したい仕事やつきたい職業について、「ある」との回答が 69.7%、「ない」との回答が 29.4% となっている。

経年比較すると、「ある」との回答は今回調査が前回調査を 4.1 ポイント下回っており、平成 27 年度調査から令和 5 年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「ある」との回答は中学生が 6 割台半ばと低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 将来したい仕事やつきたい職業の有無（経年比較・学校種別・地域別）】



問22 あなたは、「働く」ということをどう思いますか。《○は1つ》

※小学生にはない設問

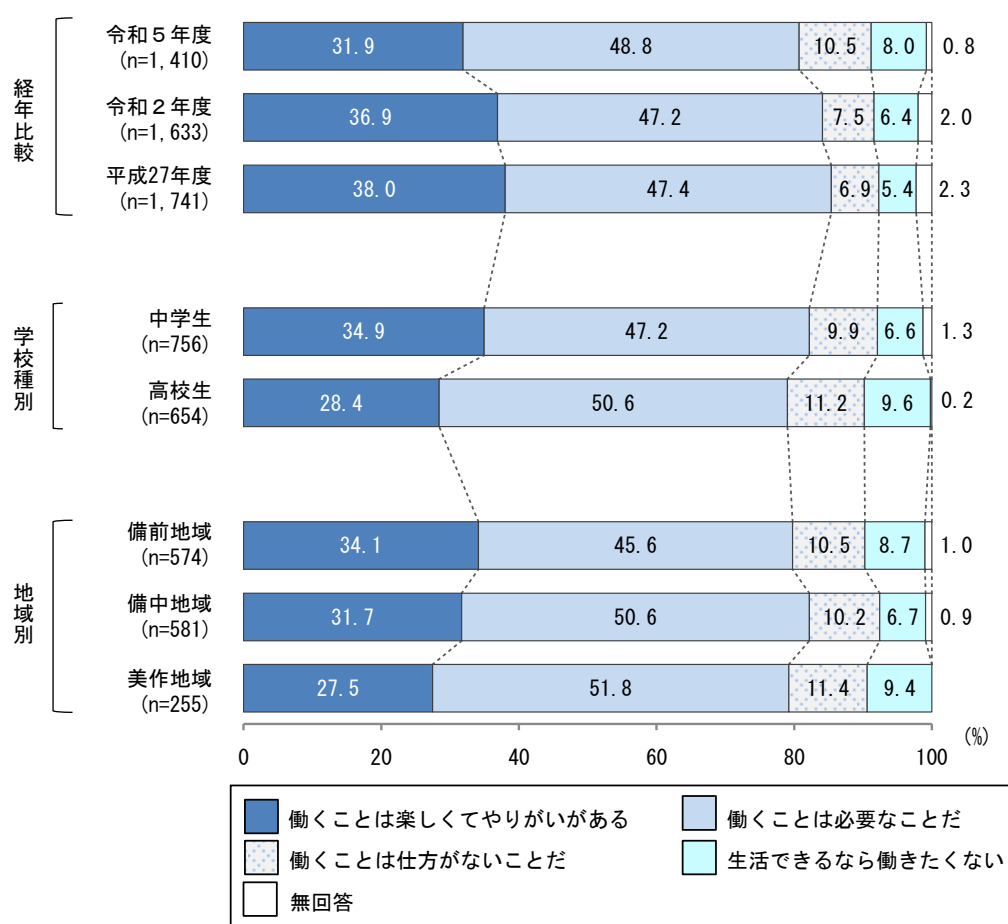
働くことへの考えについて、「働くことは必要なことだ」との回答が48.8%と最も高く、次いで「働くことは楽しくてやりがいがある」(31.9%)、「働くことは仕方がないことだ」(10.5%)、「生活できるなら働きたくない」(8.0%)の順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「働くことは楽しくてやりがいがある」との回答は中学生で3割台半ば、「働くことは必要なことだ」との回答は高校生で約5割と高くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

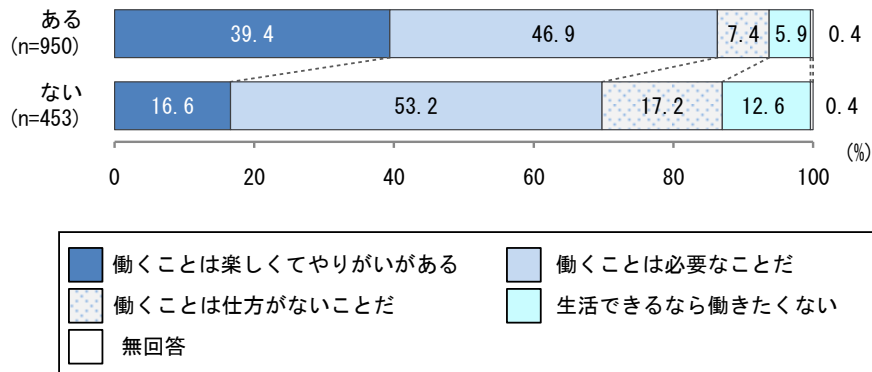
【図表 働くことへの考え（経年比較・学校種別・地域別）】



<問 22 将来なりたい職業の有無との関係>

働くことへの考えについて、将来なりたい職業の有無別にみると、「働くことは楽しくてやりがいがある」との回答は、将来なりたい職業がある中・高校生（39.4%）が、将来なりたい職業がない中・高校生（16.6%）を 22.8 ポイント上回っている。一方「働くことは仕方がないことだ」との回答は、将来なりたい職業がない中・高校生（17.2%）が、将来なりたい職業がある中・高校生（7.4%）を 9.8 ポイント上回っている。

【図表 働くことへの考え（将来なりたい職業の有無別）】



問23 あなたが職業を選ぶとき、特に大事だと思うことはどんなことですか。《○は2つまで》

※小学生にはない設問

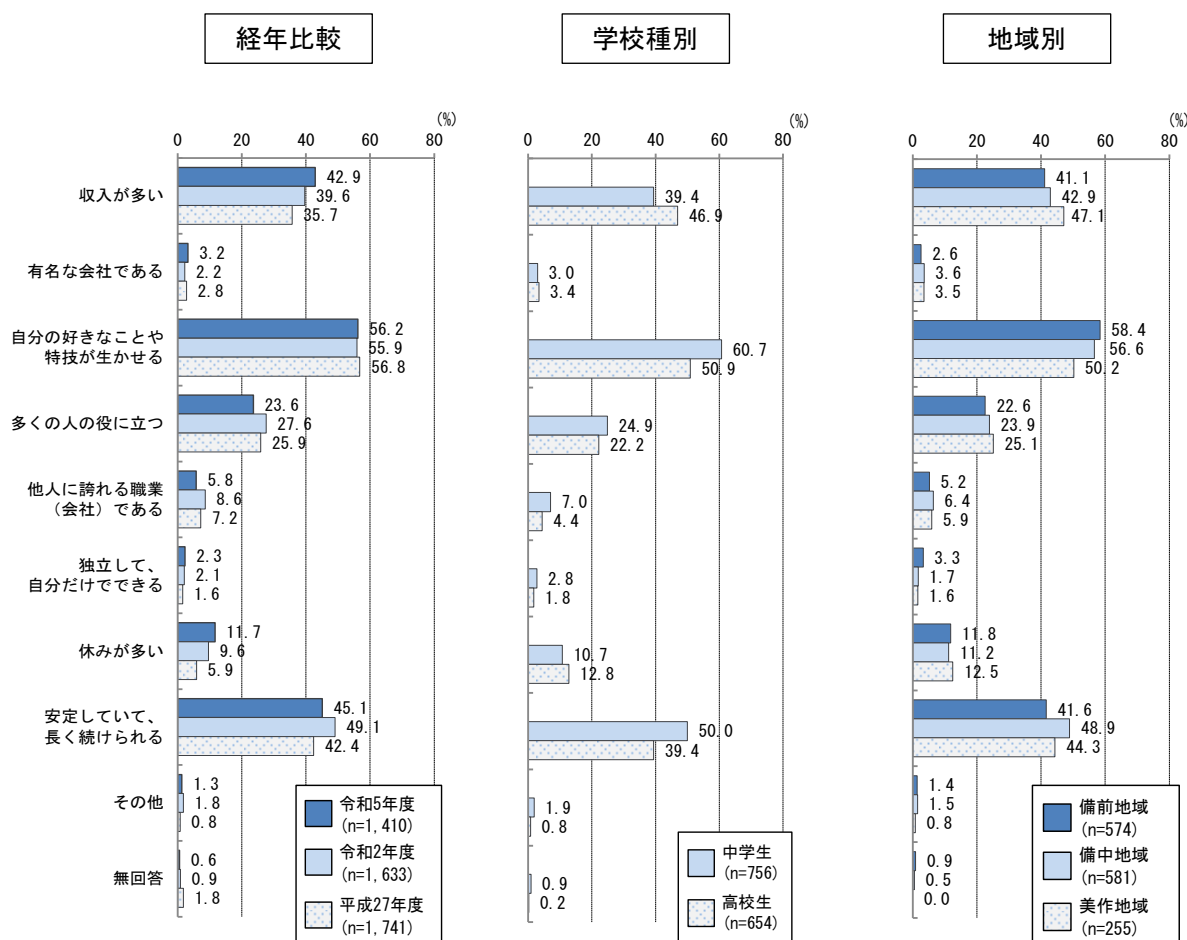
職業を選ぶときに重視することについて、「自分の好きなことや特技が生かせる」との回答が56.2%と最も高く、次いで「安定していて、長く続けられる」(45.1%)、「収入が多い」(42.9%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「自分の好きなことや特技が生かせる」「安定していて、長く続けられる」との回答は中学生が高校生を上回っている。一方、「収入が多い」との回答は高校生が中学生を上回っている。

地域別にみると、「自分の好きなことや特技が生かせる」との回答は美作地域で約5割と低くなっている。

【図表 職業を選ぶときに重視すること（経年比較・学校種別・地域別）】



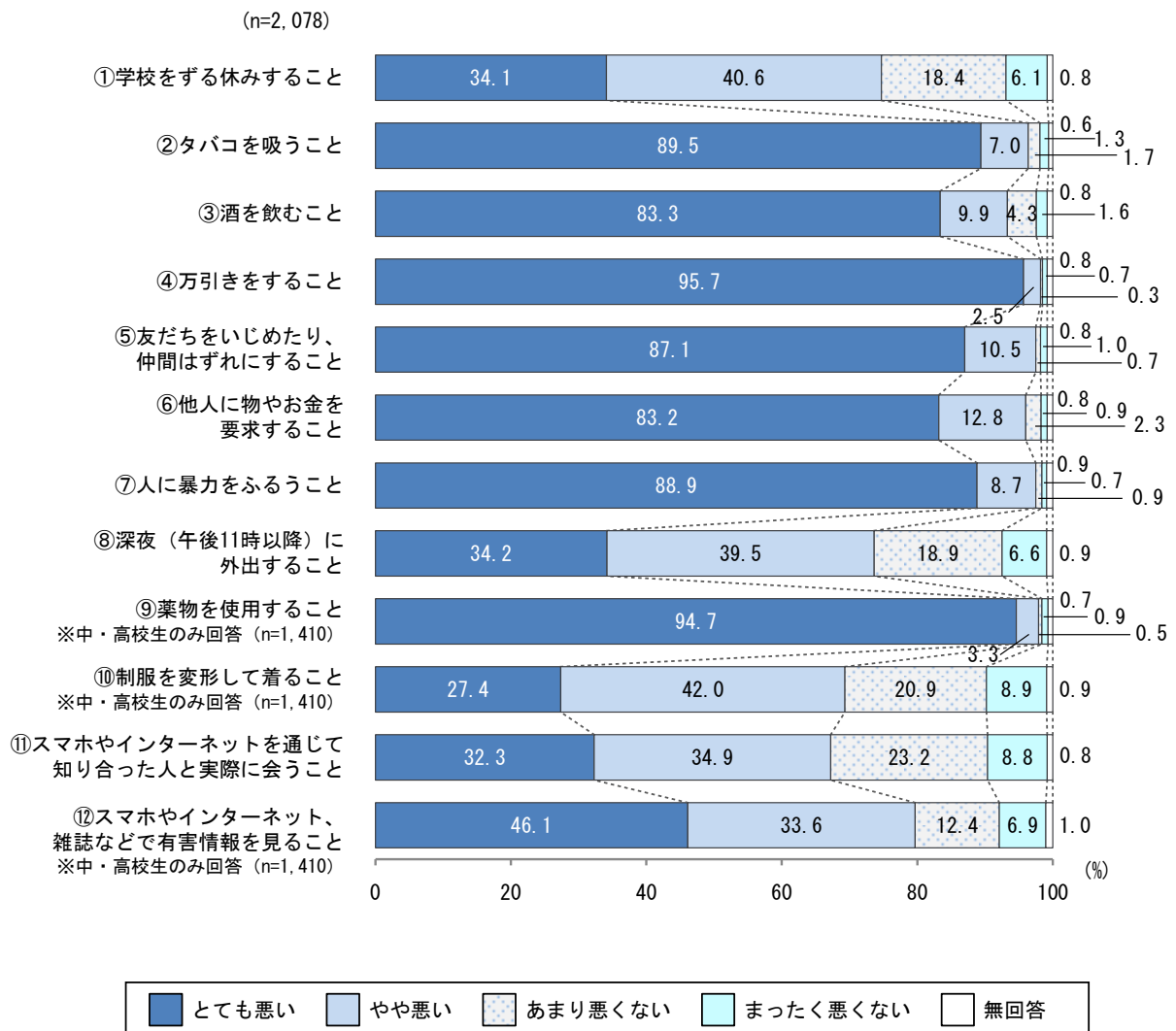
16 不良行為等について

問 2 4 あなたは、次にあげたことを中学生や高校生が行うことについて、どう思いますか。

※小学生用調査票では「小学生」《○は①～⑫それぞれ1つずつ》

不良行為等について、「とても悪い」との回答は「万引きをすること」、「薬物を使用すること」で9割台半ばと高く、「制服を变形して着ること」で約3割、「スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと」で3割超と低くなっている。

【図表 不良行為等について】



① 学校をずる休みすること

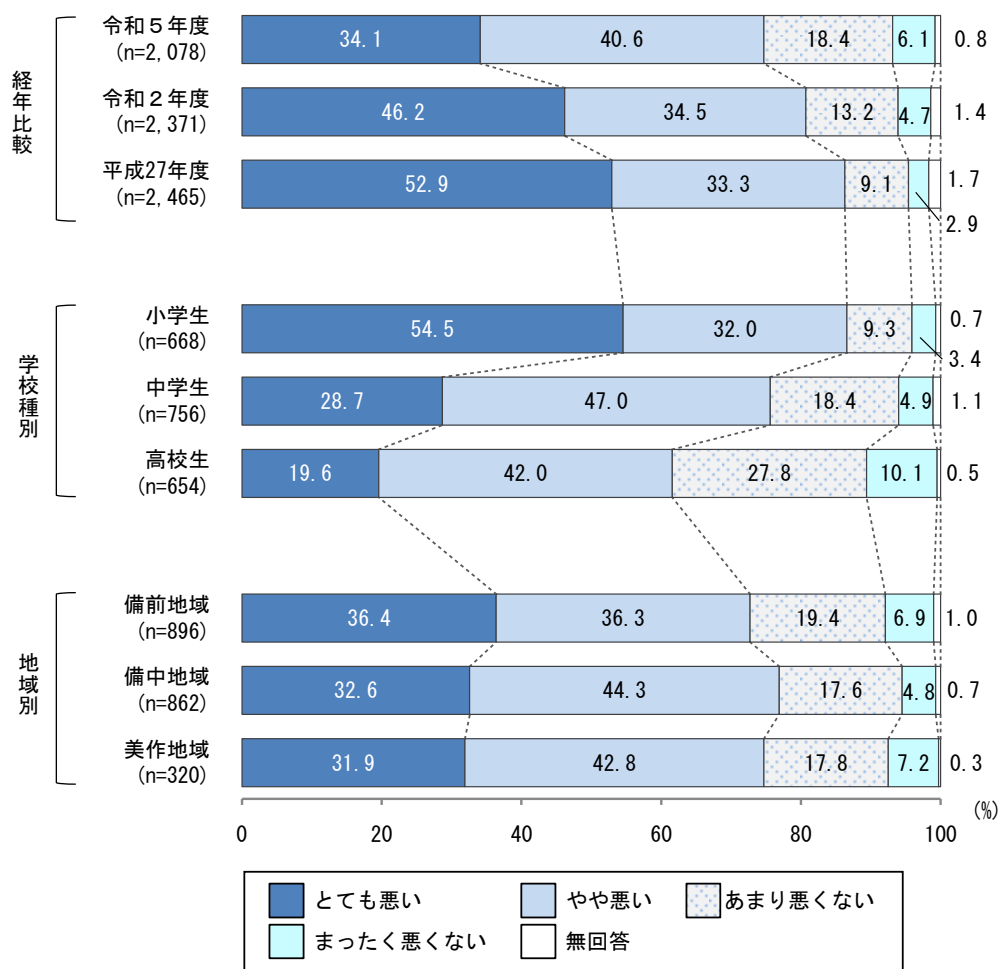
学校をずる休みすることについて、「やや悪い」との回答が40.6%と最も高く、次いで「とても悪い」(34.1%)、「あまり悪くない」(18.4%)、「まったく悪くない」(6.1%)の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を12.1ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で5割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「やや悪い」との回答は備前地域で3割台半ばと低くなっている。

【図表 学校をずる休みすること（経年比較・学校種別・地域別）】



② タバコを吸うこと

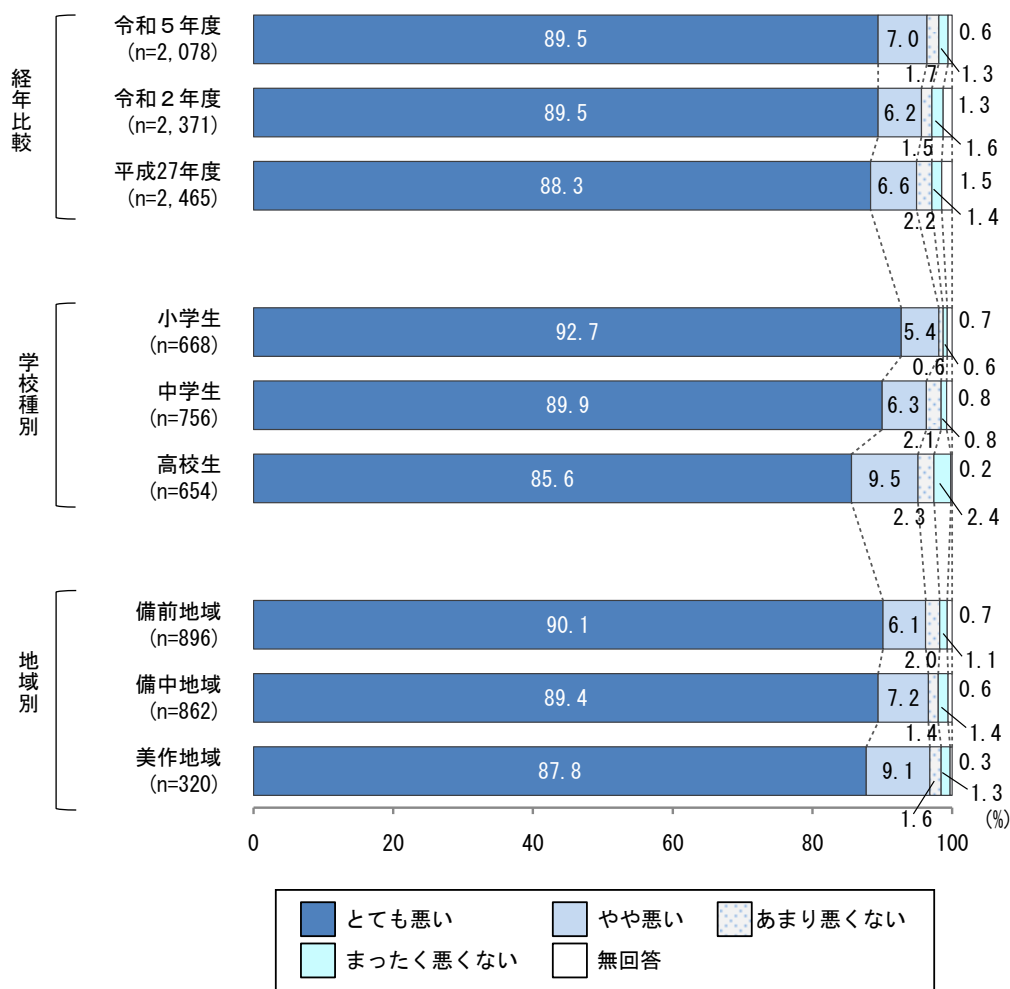
タバコを吸うことについて、「とても悪い」との回答が89.5%と最も高くなっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で9割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 タバコを吸うこと（経年比較・学校種別・地域別）】



③ 酒を飲むこと

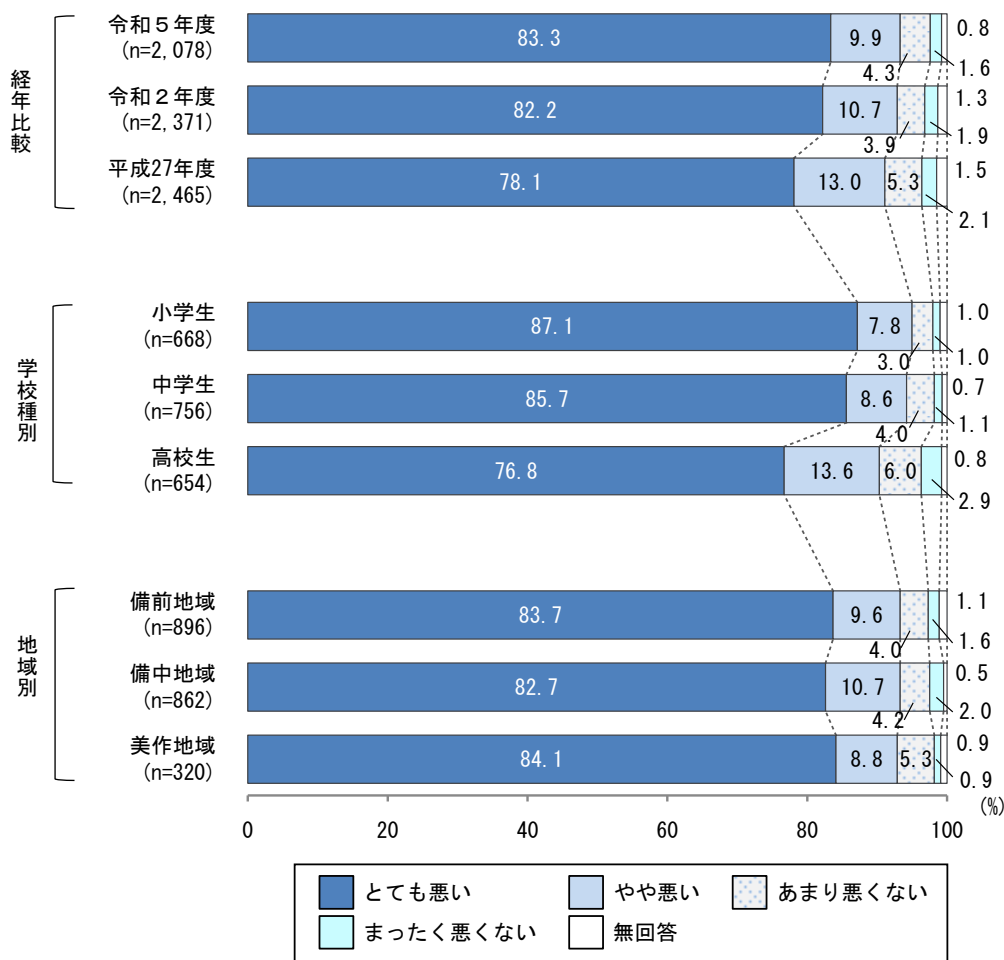
酒を飲むことについて、「とても悪い」との回答が83.3%と最も高くなっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で8割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

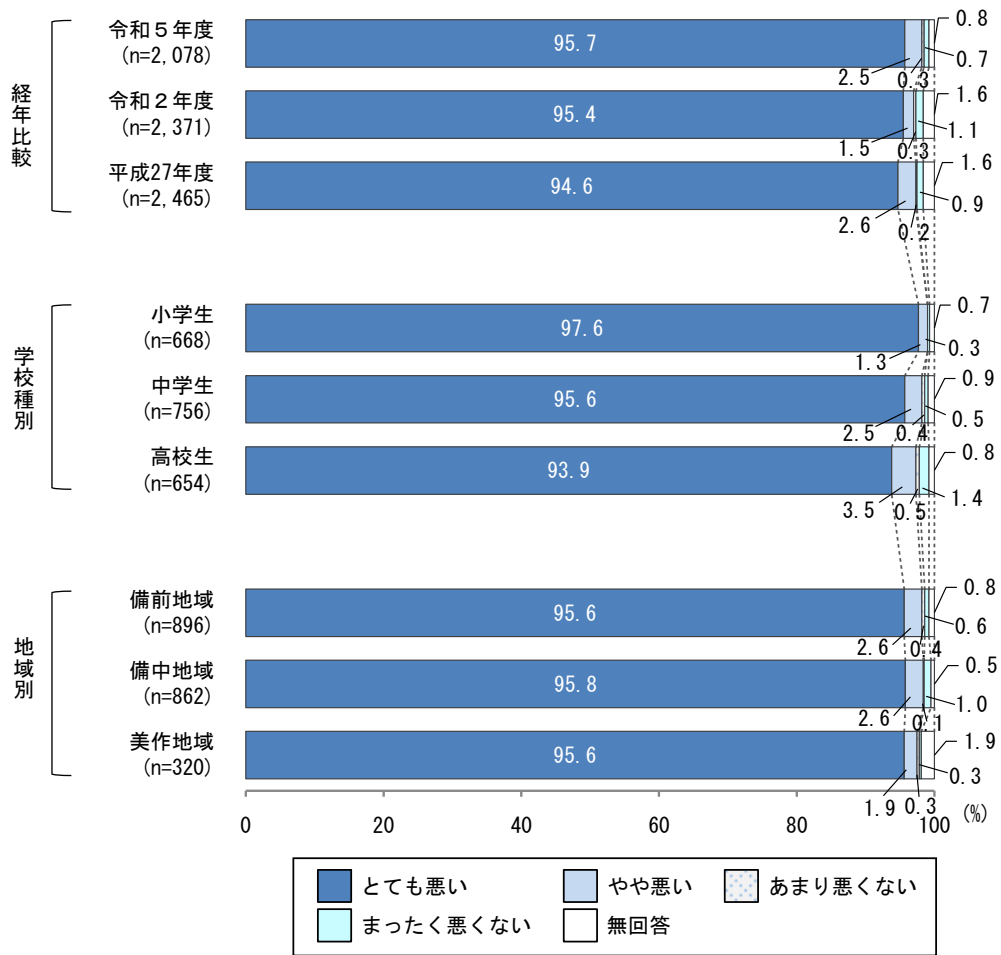
【図表 酒を飲むこと（経年比較・学校種別・地域別）】



④ 万引きをすること

万引きをすることについて、「とても悪い」との回答が95.7%と最も高くなっている。経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 万引きをすること（経年比較・学校種別・地域別）】

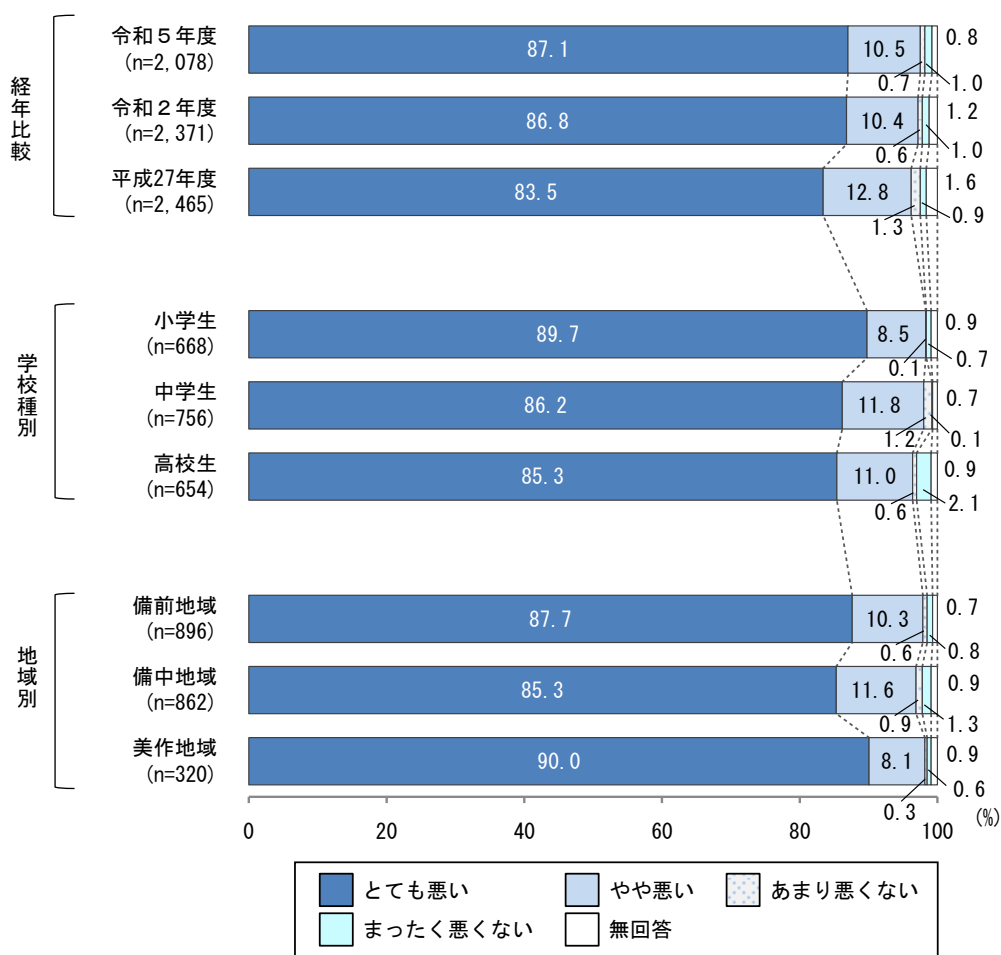


⑤ 友だちをいじめたり、仲間はずれにすること

友だちをいじめたり、仲間はずれにすることについて、「とても悪い」との回答が87.1%、「やや悪い」との回答が10.5%と高くなっている。

経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 友だちをいじめたり、仲間はずれにすること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑥ 他人に物やお金を要求すること

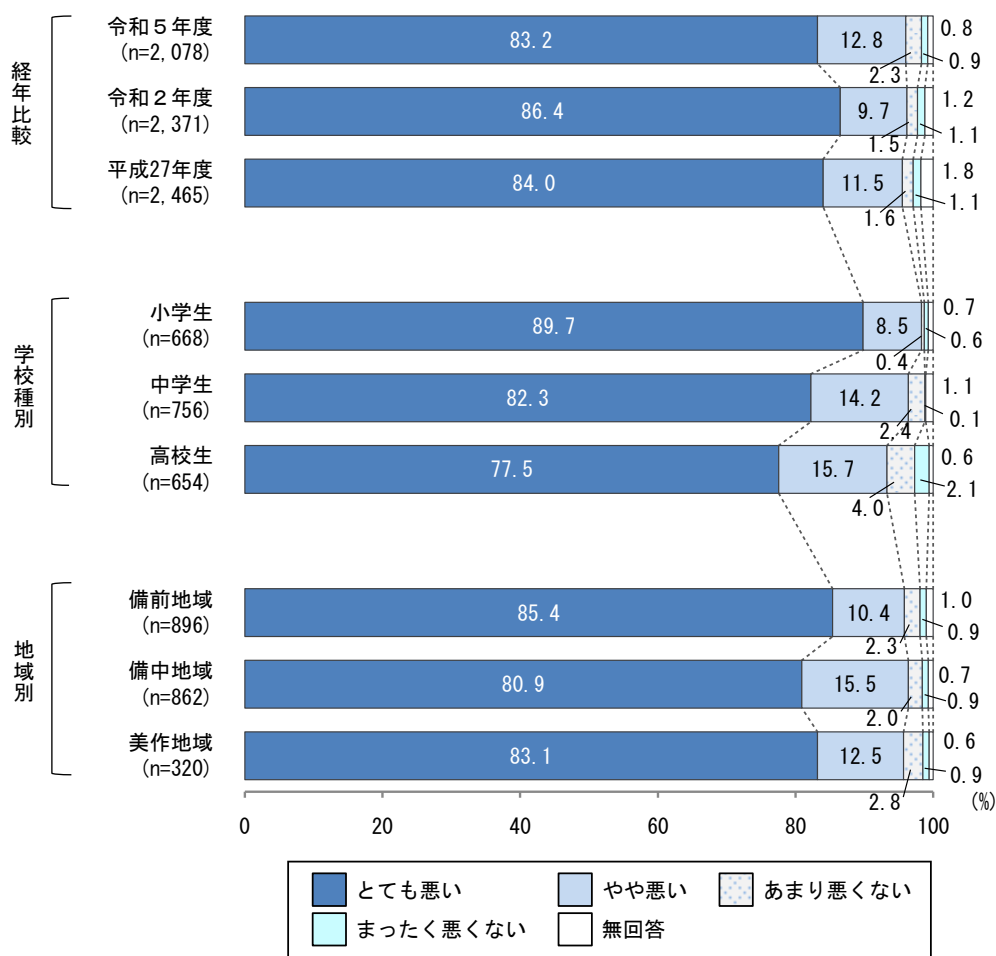
他人に物やお金を要求することについて、「とても悪い」との回答が83.2%、「やや悪い」との回答が12.8%と高くなっている。

経年比較すると、大きな変化は見られない。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で約9割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

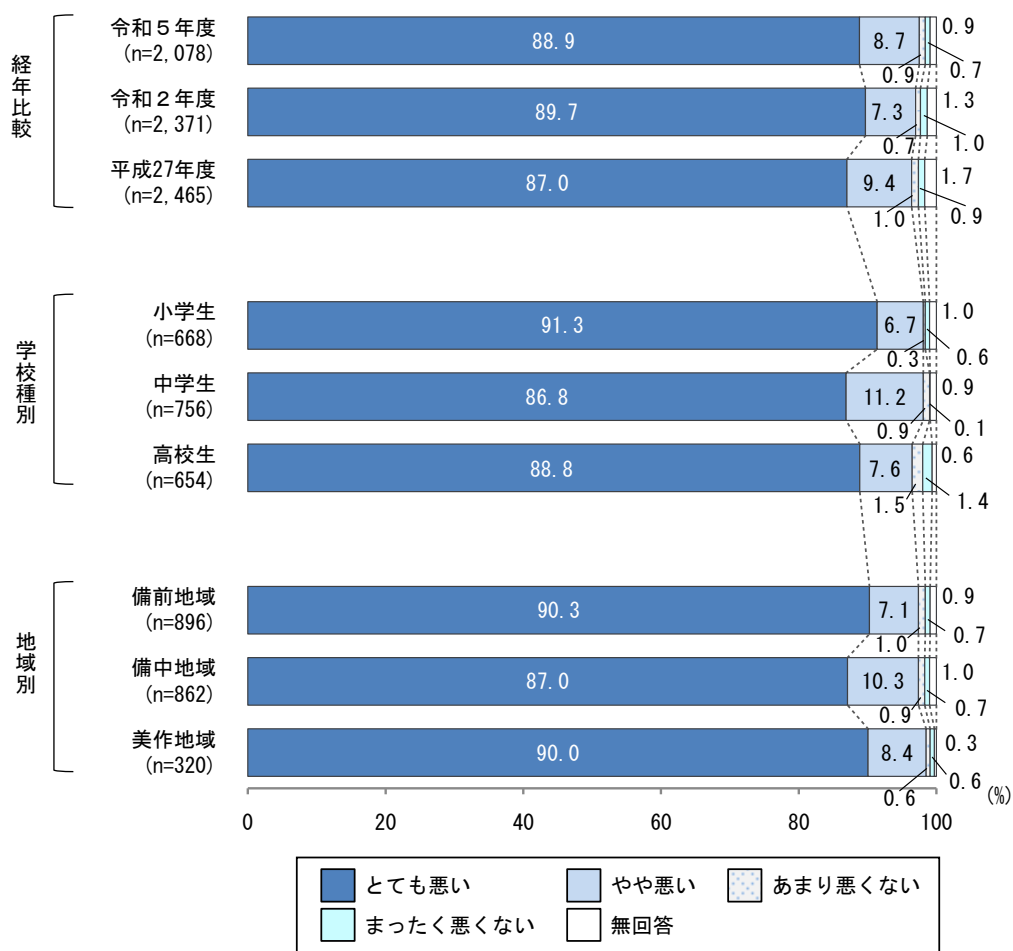
【図表 他人に物やお金を要求すること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑦ 人に暴力をふるうこと

人に暴力をふるうことについて、「とても悪い」との回答が88.9%と最も高くなっている。経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 人に暴力をふるうこと（経年比較・学校種別・地域別）】



⑧ 深夜（午後 11 時以降）に外出すること

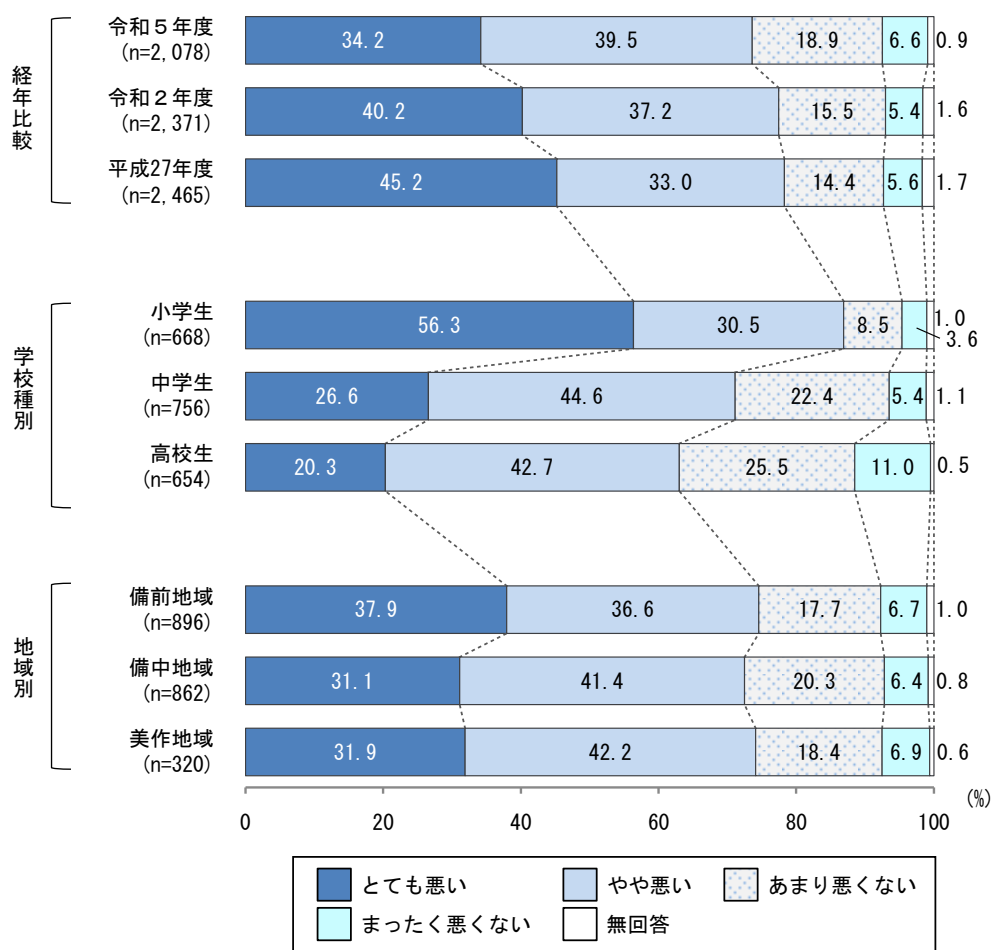
深夜（午後 11 時以降）に外出することについて、「やや悪い」との回答が 39.5%と最も高く、次いで「とても悪い」（34.2%）、「あまり悪くない」（18.9%）、「まったく悪くない」（6.6%）の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を 6.0 ポイント下回っており、平成 27 年度調査から令和 5 年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で 5 割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「とても悪い」との回答は備前地域で 3 割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

【図表 深夜（午後 11 時以降）に外出すること（経年比較・学校種別・地域別）】



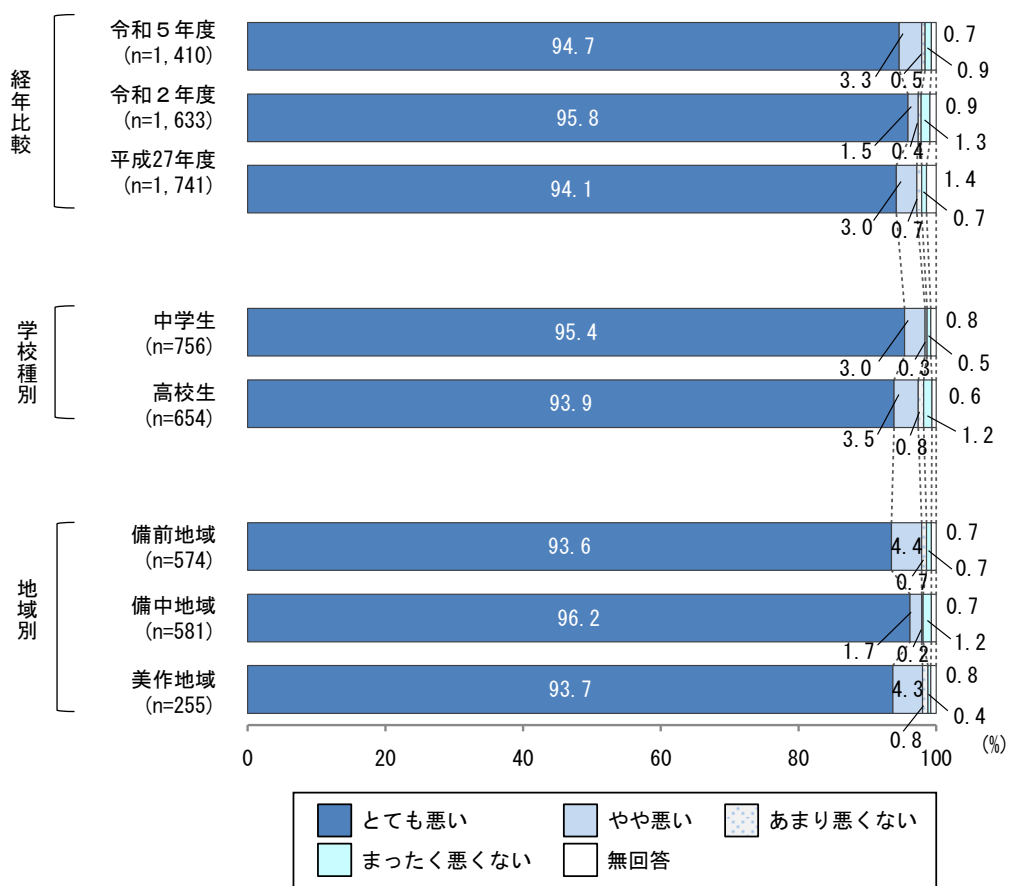
⑨ 薬物（シンナー、危険ドラッグ等）を使用すること

※小学生にはない設問

薬物（シンナー、危険ドラッグ等）を使用することについて、「とても悪い」との回答が94.7%と最も高くなっている。

経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 薬物を使用すること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑩ 制服を变形して着ること

※小学生にはない設問

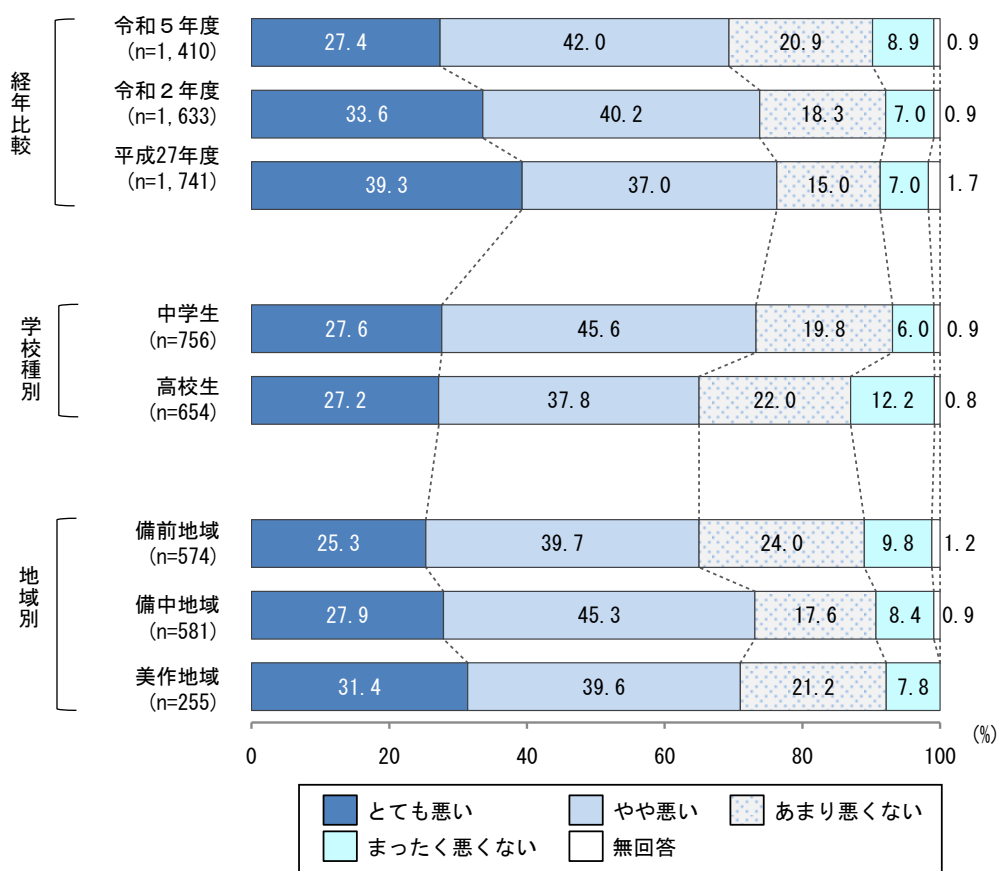
制服を变形して着ることについて、「やや悪い」との回答が42.0%と最も高く、次いで「とても悪い」(27.4%)、「あまり悪くない」(20.9%)、「まったく悪くない」(8.9%)の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を6.2ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「やや悪い」との回答は中学生が高校生を7.8ポイント上回っている。

地域別にみると、「やや悪い」との回答は備中地域で4割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 制服を变形して着ること（経年比較・学校種別・地域別）】



⑪ スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと

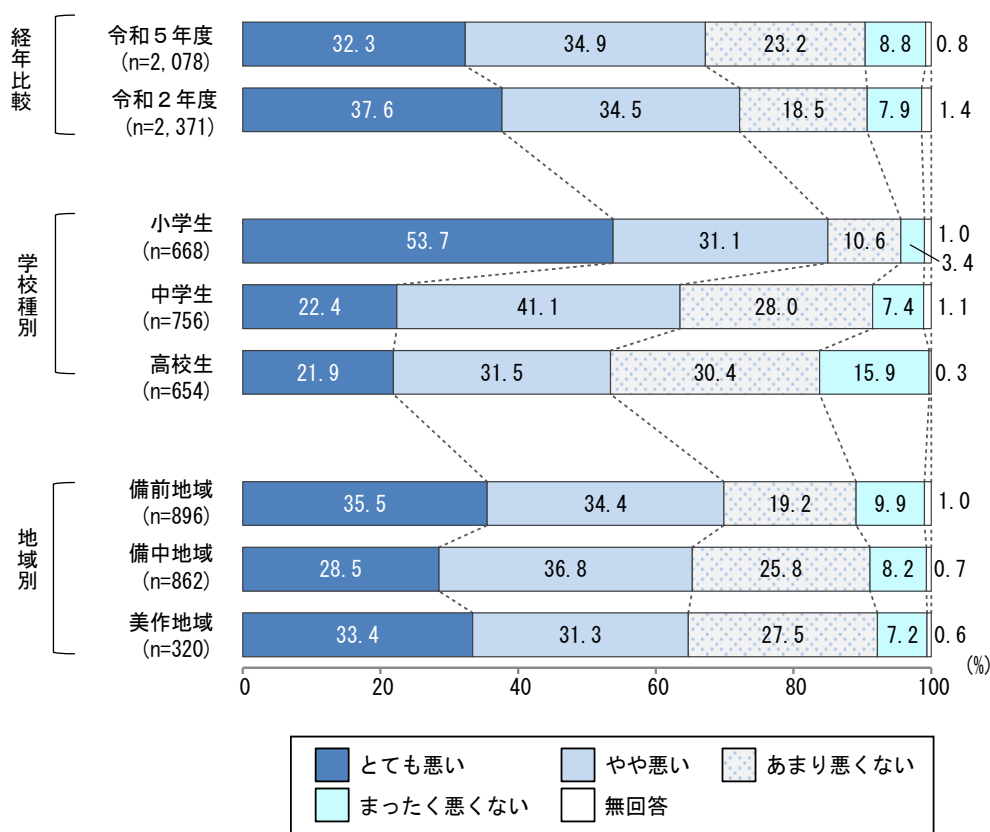
スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うことについて、「やや悪い」との回答が34.9%と最も高く、次いで「とても悪い」(32.3%)、「あまり悪くない」(23.2%)、「まったく悪くない」(8.8%)の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を5.3ポイント下回っている。

学校種別にみると、「とても悪い」との回答は小学生で5割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと
(経年比較・学校種別・地域別)】



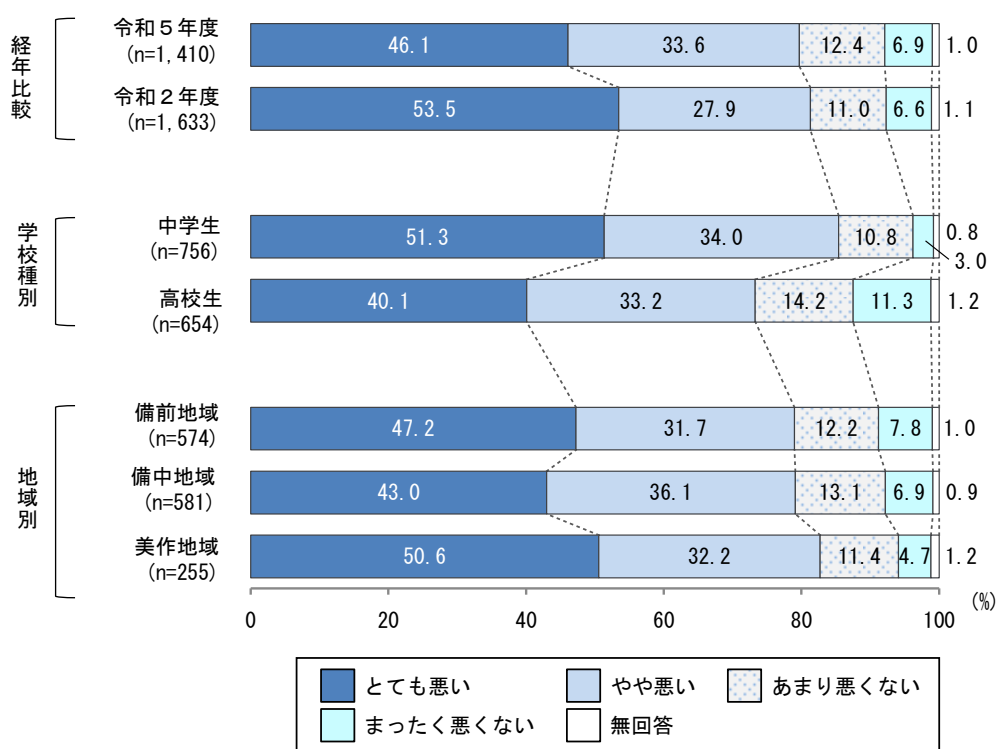
⑫ スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること

※小学生にはない設問

スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ることについて、「とても悪い」との回答が46.1%と最も高く、次いで「やや悪い」(33.6%)、「あまり悪くない」(12.4%)、「まったく悪くない」(6.9%)の順となっている。

経年比較すると、「とても悪い」との回答は今回調査が前回調査を7.4ポイント下回っている。学校種別にみると、「とても悪い」との回答は中学生が高校生を11.2ポイント上回っている。地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること
(経年比較・学校種別・地域別)】



<問 24 児童生徒と保護者の比較>

(注) 下表は「児童生徒編問 24」と「保護者編問 27」の回答結果を各項目別にまとめたものである。
『差』とは、「児童生徒」の回答結果から「保護者」の回答結果を差し引いたものを指す。

不良行為等について、児童生徒に比べ保護者の方が「とても悪い」として 10.0 ポイント以上差がある項目は、「他人に物やお金を要求すること」、「深夜（午後 11 時以降）に外出すること」、「スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと」、「スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること」となっている。一方、保護者に比べ児童生徒の方が「とても悪い」とした項目では、「学校をずる休みすること」が 9.8 ポイント上回っている。

(単位：%)

(不良行為等)	とても悪い			やや悪い			あまり悪くない			まったく悪くない		
	児童生徒	保護者	差	児童生徒	保護者	差	児童生徒	保護者	差	児童生徒	保護者	差
①学校をずる休みすること	34.1	24.3	9.8	40.6	53.8	-13.2	18.4	18.3	0.1	6.1	3.3	2.8
②タバコを吸うこと	89.5	87.0	2.5	7.0	11.7	-4.7	1.7	0.7	1.0	1.3	0.4	0.9
③酒を飲むこと	83.3	79.3	4.0	9.9	16.0	-6.1	4.3	3.3	1.0	1.6	1.2	0.4
④万引きをすること	95.7	98.3	-2.6	2.5	1.2	1.3	0.3	0.1	0.2	0.7	0.3	0.4
⑤友だちをいじめたり、仲間はづれにすること	87.1	93.8	-6.7	10.5	5.8	4.7	0.7	0.0	0.7	1.0	0.3	0.7
⑥他人に物やお金を要求すること	83.2	98.2	-15.0	12.8	1.3	11.5	2.3	0.2	2.1	0.9	0.2	0.7
⑦人に暴力をふるうこと	88.9	93.5	-4.6	8.7	5.8	2.9	0.9	0.1	0.8	0.7	0.3	0.4
⑧深夜(午後11時以降)に外出すること	34.2	71.2	-37.0	39.5	26.0	13.5	18.9	2.0	16.9	6.6	0.5	6.1
⑨薬物(シンナー、危険ドラッグ等)を使用すること	94.7	99.1	-4.4	3.3	0.5	2.8	0.5	0.0	0.5	0.9	0.2	0.7
⑩制服を变形して着ること	27.4	27.5	-0.1	42.0	50.9	-8.9	20.9	18.4	2.5	8.9	2.7	6.2
⑪スマホやインターネットを通じて知り合った人と実際に会うこと	32.3	56.2	-23.9	34.9	37.6	-2.7	23.2	5.1	18.1	8.8	0.7	8.1
⑫スマホやインターネット、雑誌などで有害情報を見ること	46.1	61.5	-15.4	33.6	33.5	0.1	12.4	4.0	8.4	6.9	0.7	6.2

児童生徒 (n=2, 078)、保護者 (n=1, 494)

ただし、⑨⑩⑫は中高生 (n=1, 410)

17 薬物について

問25 シンナー、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の害について、あなたが知っているものはどれですか。《○はいくつでも》

※小学生にはない設問

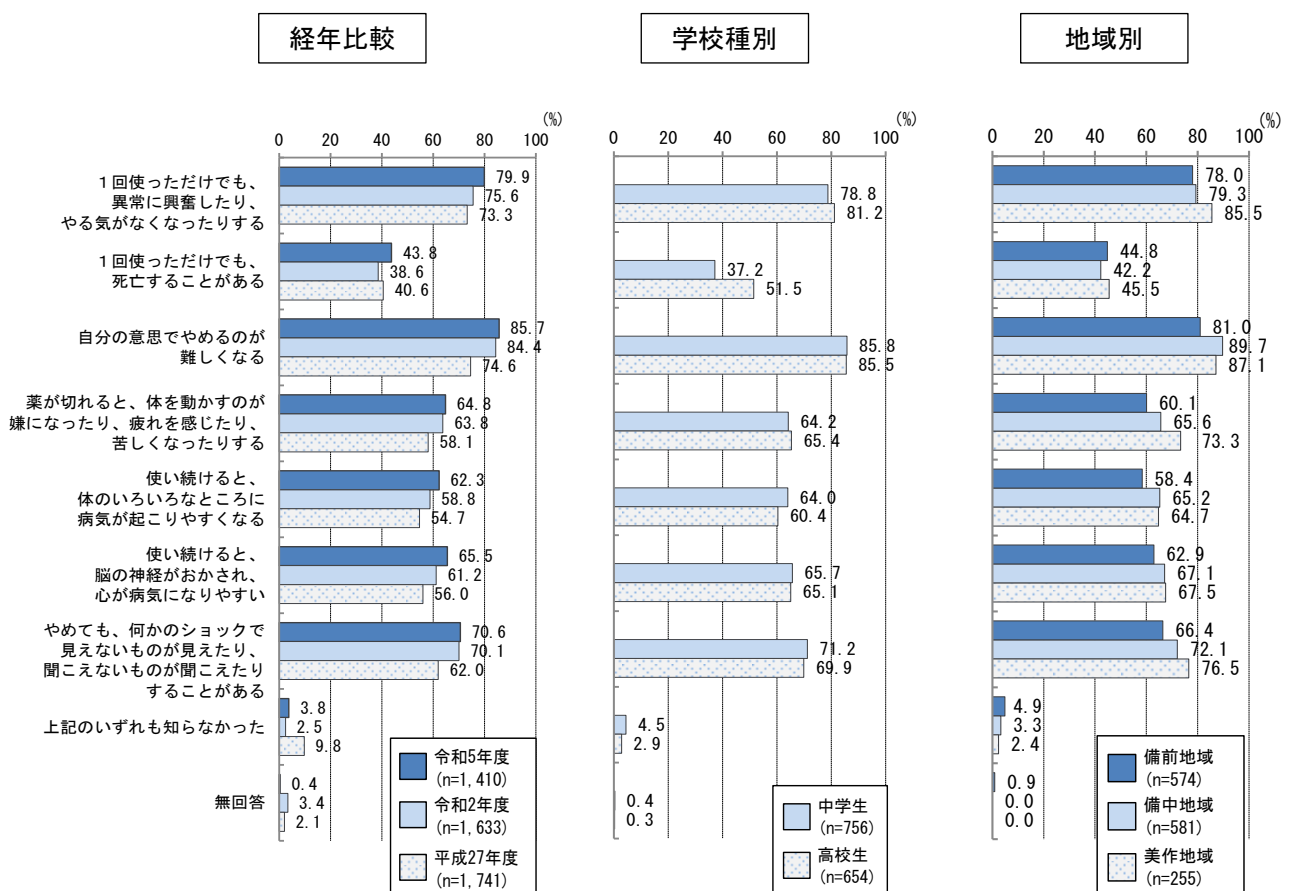
薬物の害について知っていることについて、「自分の意思でやめるのが難しくなる」との回答が85.7%と最も高く、次いで「1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする」(79.9%)、「やめても、何かのショックで見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりすることがある」(70.6%)などの順となっている。

経年比較すると、「自分の意思でやめるのが難しくなる」、「使い続けると、脳の神経がおかされ、心が病気になりやすい」との回答は平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「1回使っただけでも、死亡することがある」との回答は高校生が中学生を14.3ポイント上回っている。

地域別にみると、「薬が切れると、体を動かすのが嫌になったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする」との回答は美作地域で7割超と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 薬物の害について知っていること（経年比較・学校種別・地域別）】



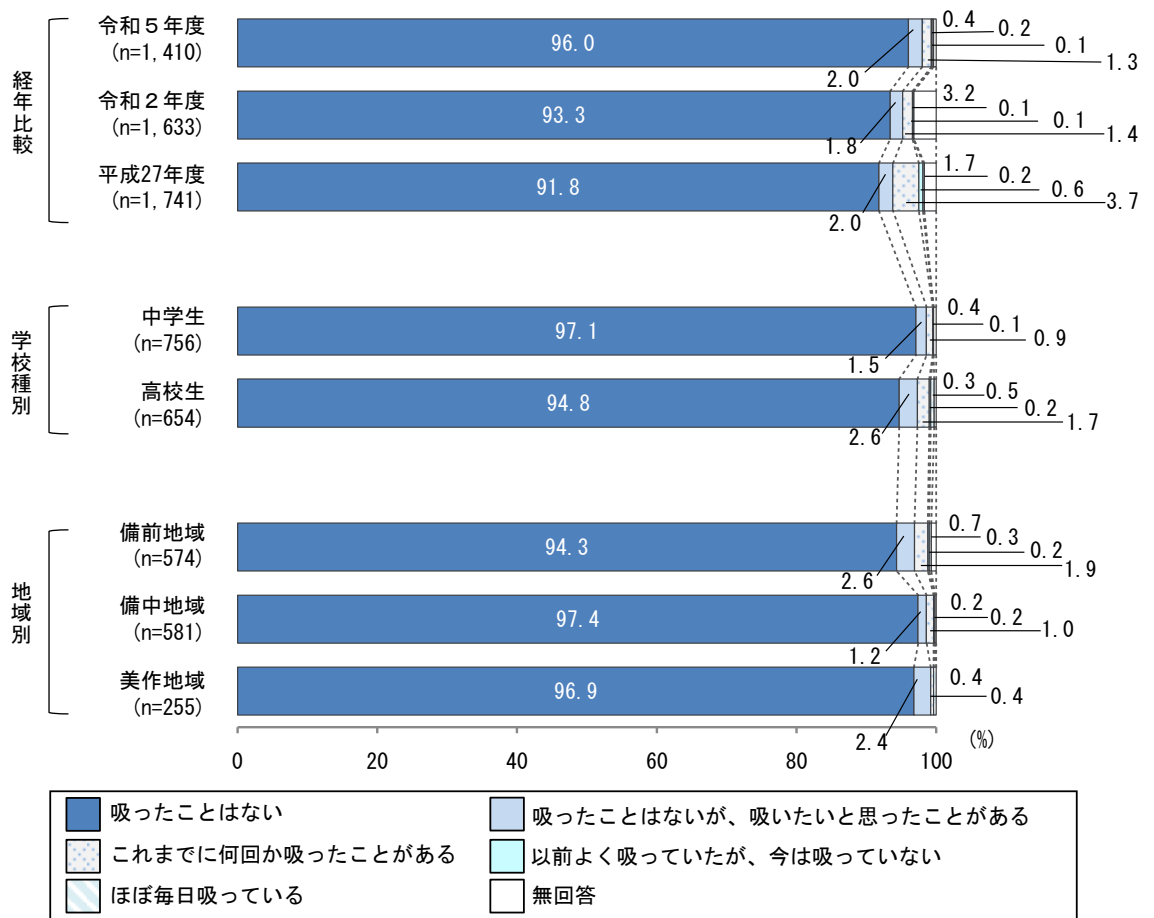
18 喫煙・飲酒について

問26 あなたは、タバコを吸ったことがありますか。《○は1つ》

※小学生にはない設問

喫煙経験について、「吸ったことはない」との回答が96.0%と最も高くなっている。
 経年比較、学校種別、地域別ともに大きな差はみられない。

【図表 喫煙経験（経年比較・学校種別・地域別）】



問 2 7 あなたは、お酒を飲んだことがありますか。《○は 1 つ》

※小学生にはない設問

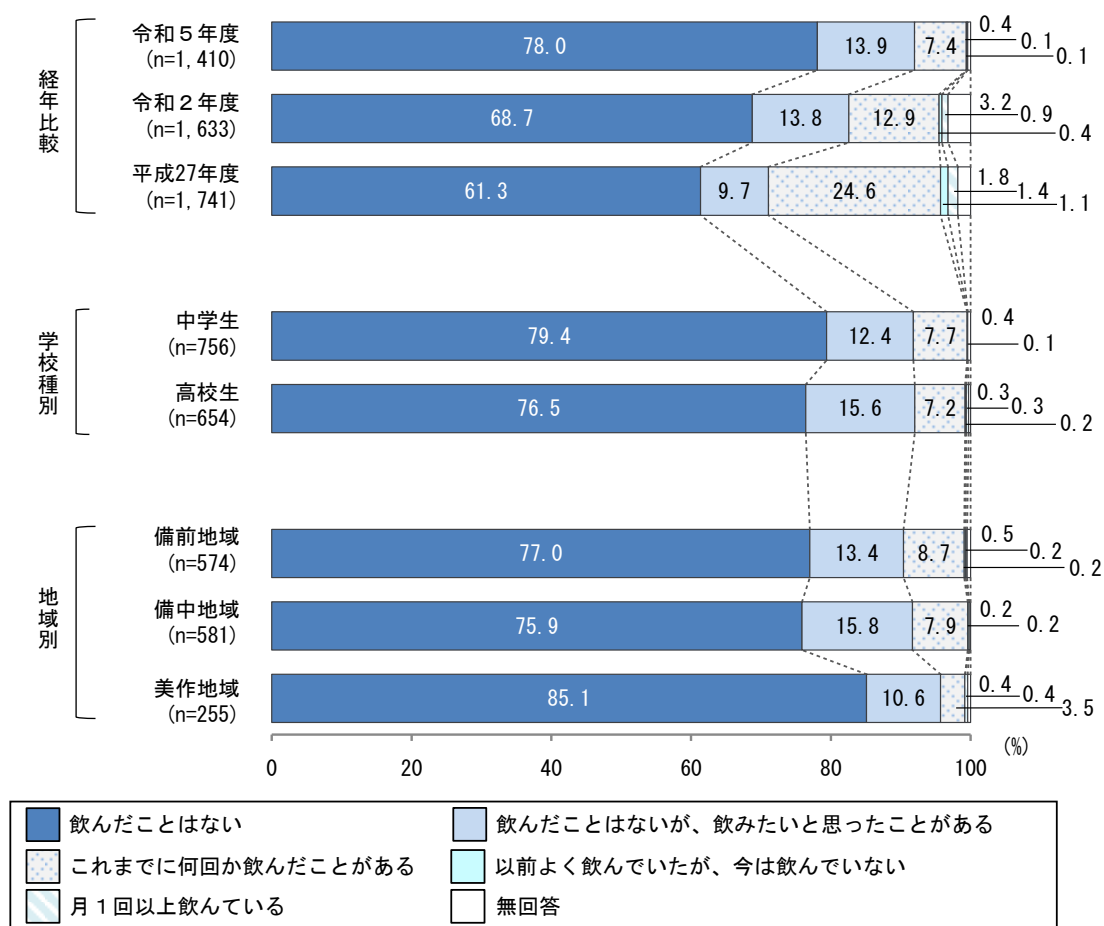
飲酒経験について、「飲んだことはない」との回答が 78.0%と最も高く、次いで「飲んだことはないが、飲みたいと思ったことがある」(13.9%)、「これまでに何回か飲んだことがある」(7.4%)などの順となっている。

経年比較すると、「飲んだことはない」との回答は今回調査が前回調査を 9.3 ポイント上回っており、平成 27 年度調査から令和 5 年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、大きな差はみられない。

地域別にみると、「飲んだことはない」との回答は美作地域で 8 割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 飲酒経験（経年比較・学校種別・地域別）】



19 インターネットの使い方について

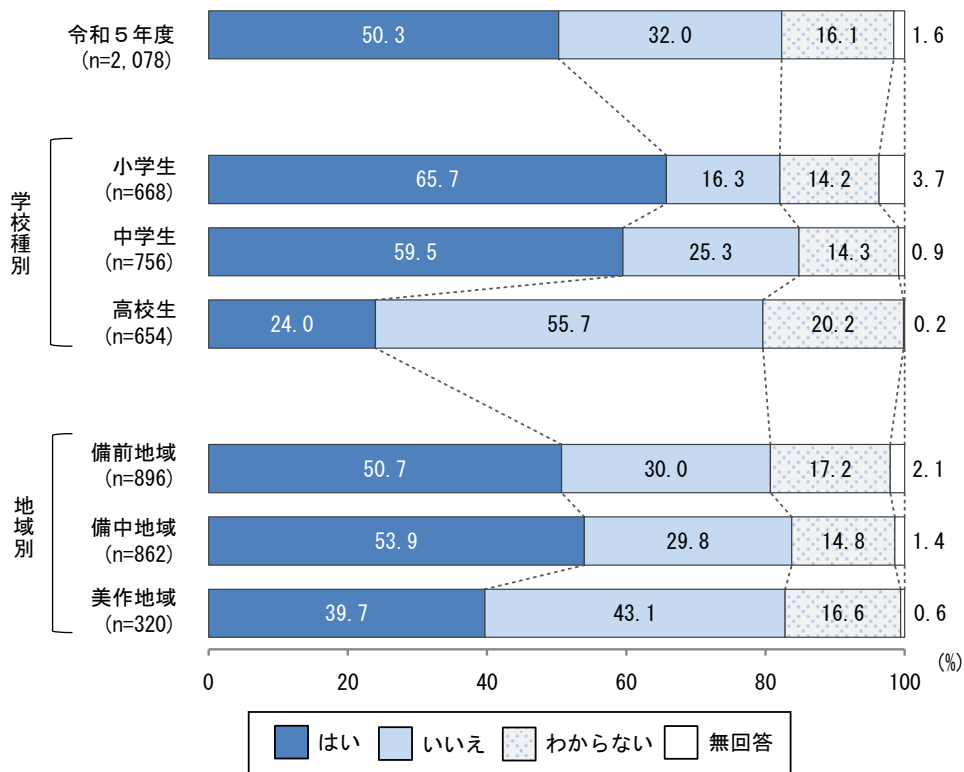
問28 あなたの家では、インターネットの使い方について、何か家庭でルールを決めていますか。《○は1つ》

インターネットの使い方に関する家庭でのルールの有無について、「はい」との回答が50.3%、「いいえ」との回答が32.0%、「わからない」との回答が16.1%となっている。

学校種別にみると、「はい」との回答は小学生で6割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「はい」との回答は美作地域で約4割と他の地域に比べ低くなっている。

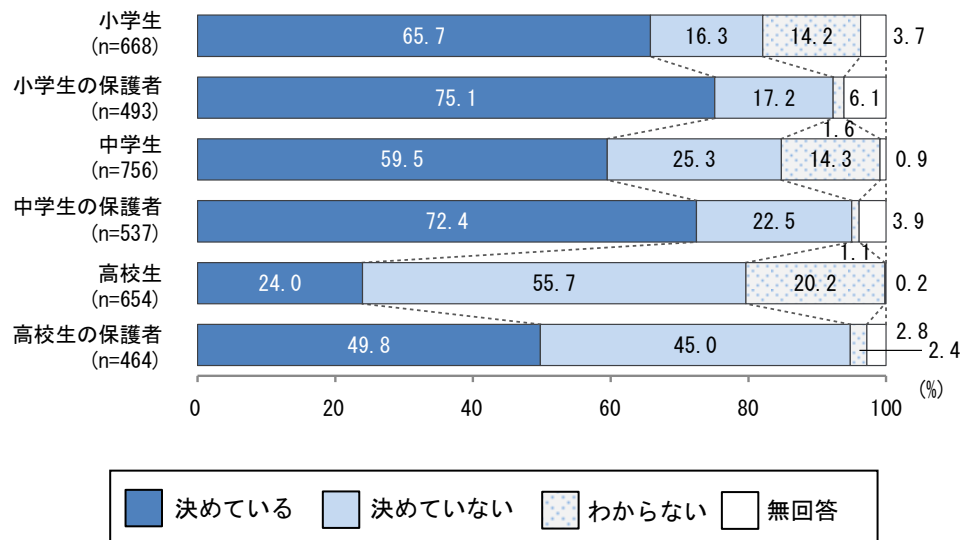
【図表 インターネットの使い方に関する家庭でのルールの有無（全体・学校種別・地域別）】



<問 28 児童生徒と保護者の比較>

インターネットの使い方について、「何か家庭でルールを決めている」と回答した児童生徒、保護者の割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。また、児童生徒と保護者の間で、小学生世帯では9.4ポイント、中学生世帯では12.9ポイント、高校生世帯では25.8ポイントの差があり、どの学校種別も児童生徒が低くなっている。

【図表 インターネットの使い方に関する家庭でのルールの有無（児童生徒・保護者別）】



(問28で「1. はい」に○がついた人だけお答えください。)

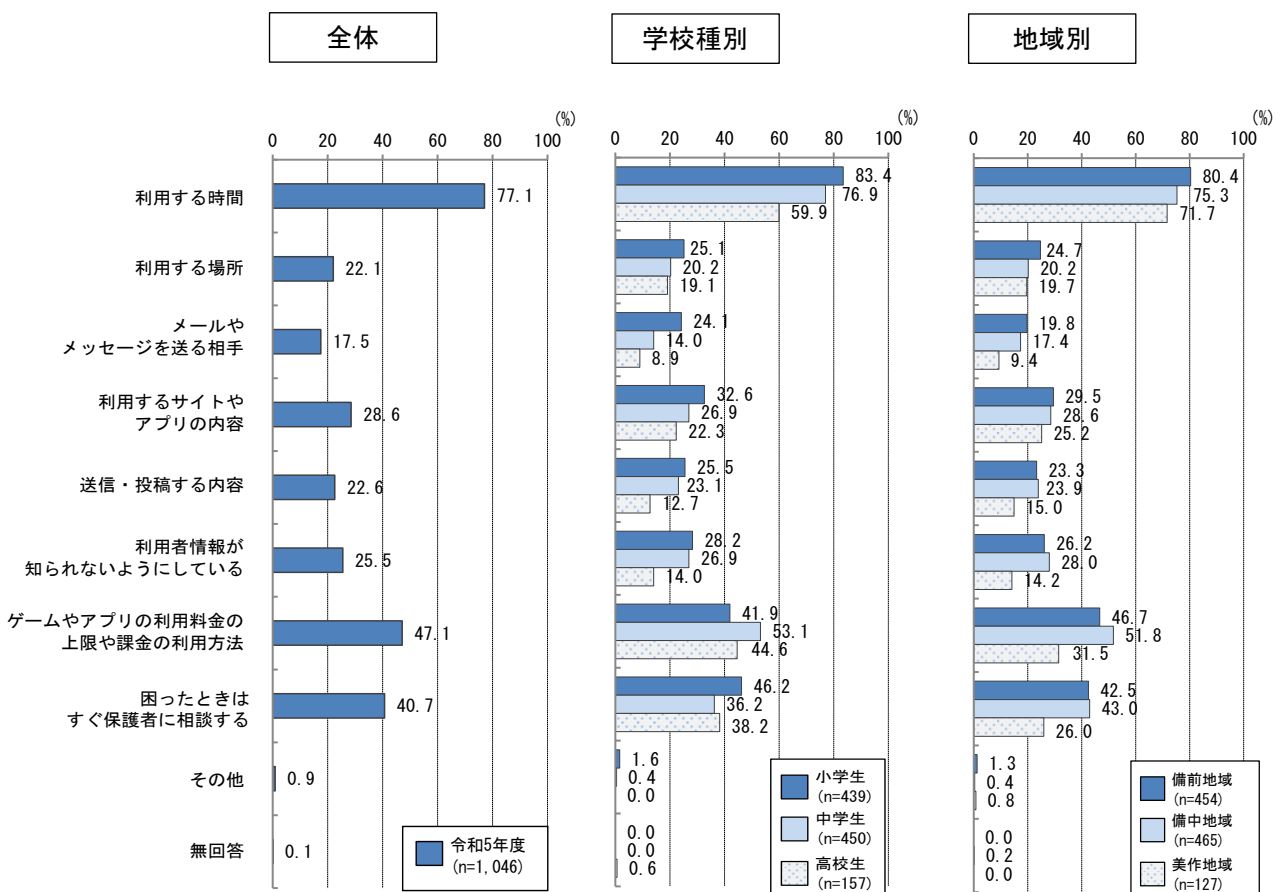
問28-1 この中から、あなたの家庭で決めている「インターネットの使い方のルール」にあてはまるものを、すべて選んでください。《○はいくつでも》

インターネットの使い方決めているルール内容について、「利用する時間」との回答が77.1%と最も高く、次いで「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」(47.1%)、「困ったときはすぐに保護者に相談する」(40.7%)などの順となっている。

学校種別にみると、「利用する時間」、「メールやメッセージを送る相手」「利用者情報が知られないようにしている」との回答は小学生で高いが、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」との回答は美作地域で約3割と他の地域に比べ低くなっている。

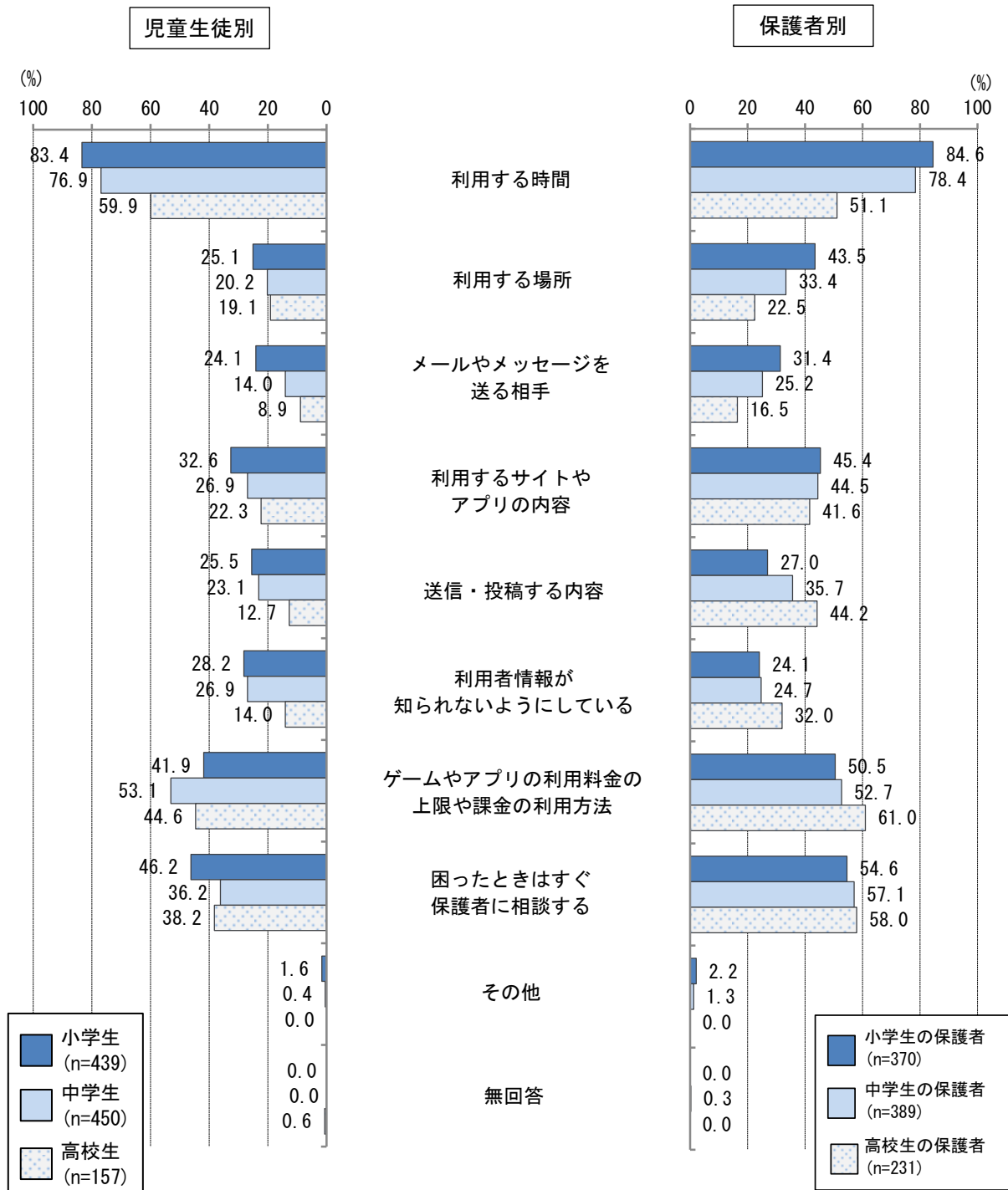
【図表 インターネットの使い方決めているルール内容 (全体・学校種別・地域別)】



<問 28-1 児童生徒と保護者の比較>

児童生徒、保護者ともに「利用する時間」との回答が最も高く、次いで「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」、「困ったときはすぐに保護者に相談する」などが高くなっている。

【図表 インターネットの使い方で決めているルールの内容（児童生徒・保護者別）】



20 危険な目にあうかもしれないと不安になることについて

問29 あなたは、次のような時、危険な目にあうかもしれないと、不安になることがありますか。《○は①～⑤それぞれ1つつ》

① 登下校中に不安になること

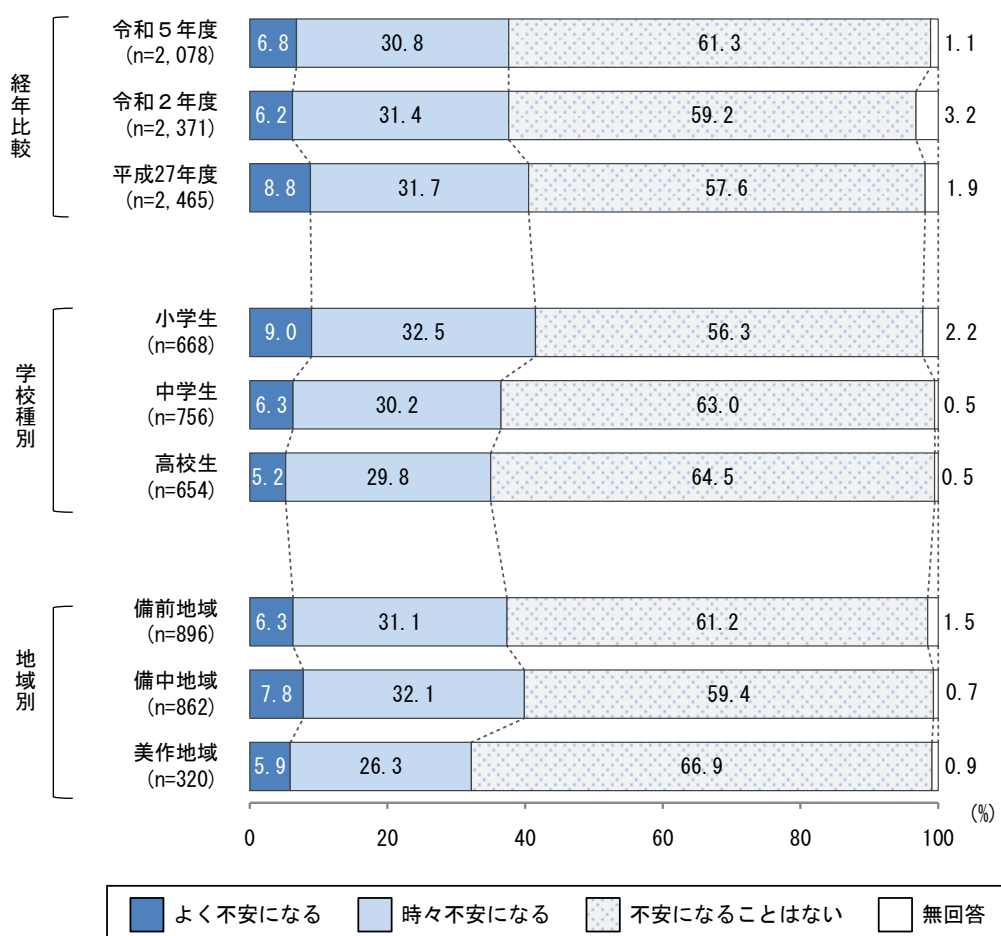
登下校中に危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が6.8%、「時々不安になる」との回答が30.8%、「不安になることはない」との回答が61.3%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「不安になることはない」との回答は高校生で6割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「不安になることはない」との回答は美作地域で6割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 登下校中に不安になること（経年比較・学校種別・地域別）】



② 塾や習い事の行き帰りに不安になること

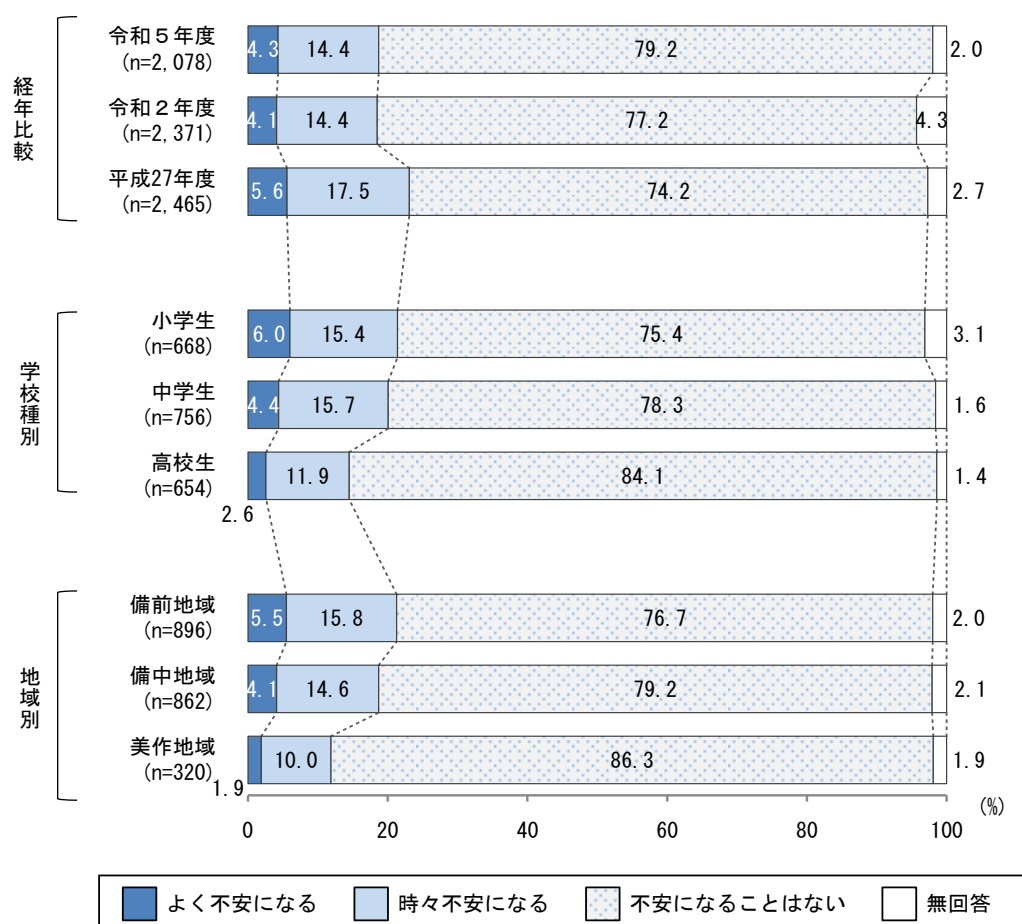
塾や習い事の行き帰りに危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が4.3%、「時々不安になる」との回答が14.4%、「不安になることはない」との回答が79.2%となっている。

経年比較すると、「不安になることはない」との回答は今回調査が前回調査を2ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「不安になることはない」との回答は高校生で8割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「不安になることはない」との回答は美作地域で8割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 塾や習い事の行き帰りに不安になること（経年比較・学校種別・地域別）】



③ 近所の公園などで遊んでいるときに不安になること

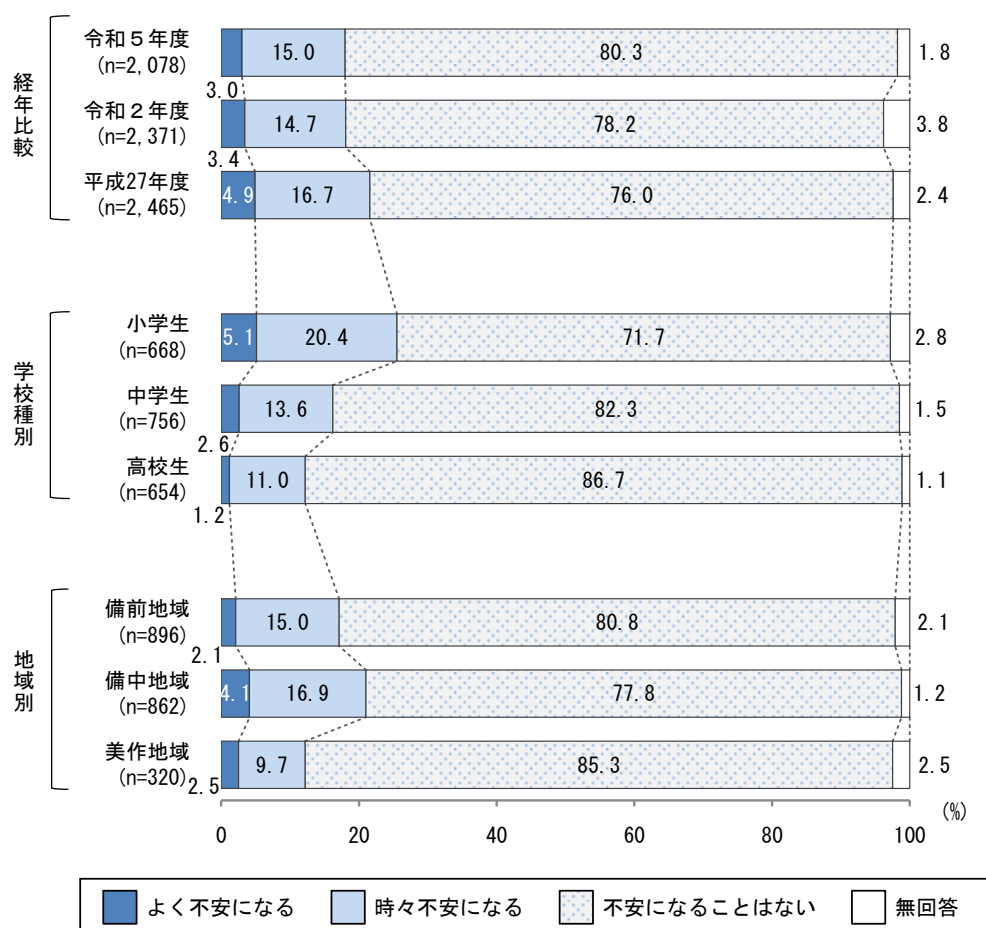
近所の公園などで遊んでいるときに危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が3.0%、「時々不安になる」との回答が15.0%、「不安になることはない」との回答が80.3%となっている。

経年比較すると、大きな差はみられない。

学校種別にみると、「不安になることはない」との回答は高校生で8割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「時々不安になる」との回答は美作地域で1割未満と他の地域に比べ低くなっている。

【図表 近所の公園などで遊んでいるときに不安になること（経年比較・学校種別・地域別）】



④ 買い物や遊びで、繁華街などに行くときに不安になること

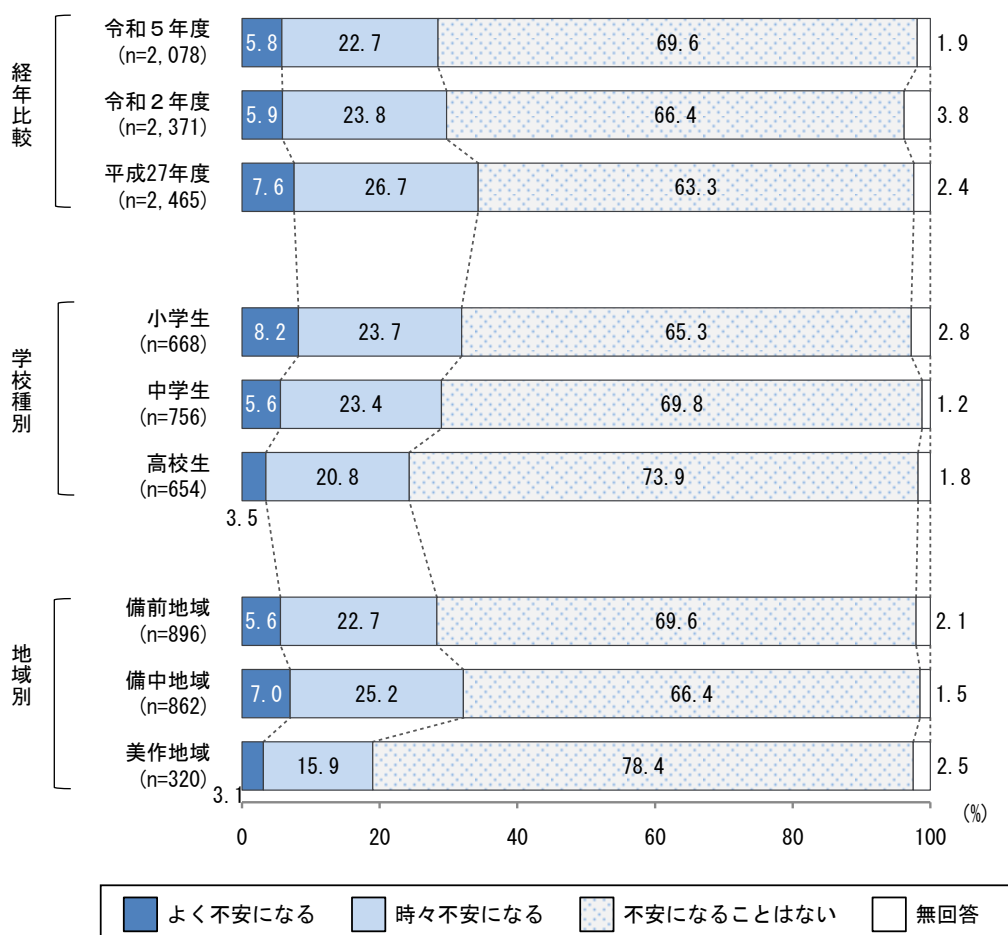
買い物や遊びで、繁華街などに行くときに危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が5.8%、「時々不安になる」との回答が22.7%、「不安になることはない」との回答が69.6%となっている。

経年比較すると、「不安になることはない」との回答は今回調査が前回調査を3.2ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。

学校種別にみると、「不安になることはない」との回答は高校生で7割台半ばと高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「不安になることはない」との回答は美作地域で約8割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 買い物や遊びで、繁華街などに行くときに不安になること
(経年比較・学校種別・地域別)】



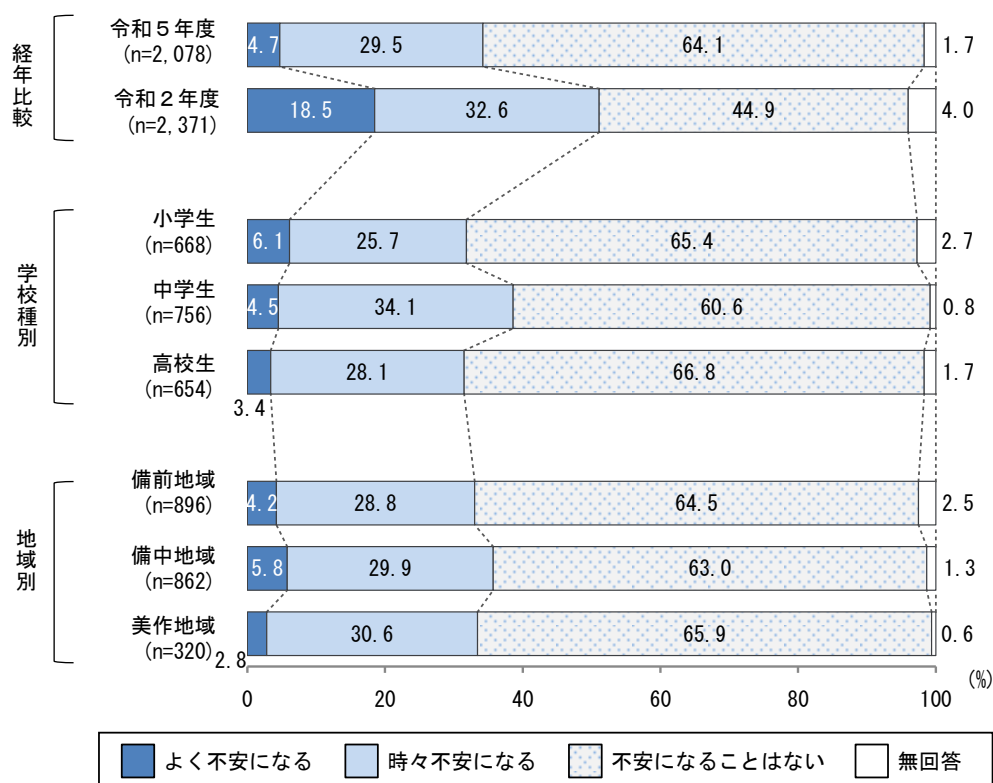
⑤ スマホやインターネットをしているときに不安になること

スマホやインターネットをしているときに危険な目にあうかもしれないと不安になることについて、「よく不安になる」との回答が4.7%、「時々不安になる」との回答が29.5%、「不安になることはない」との回答が64.1%となっている。

経年比較すると、「不安になることはない」との回答は今回調査が前回調査を19.2ポイント上回っている。

学校種別にみると、「時々不安になる」との回答は中学生が3割台半ばと高くなっている。地域別にみると、大きな差はみられない。

【図表 スマホやインターネットをしているときに不安になること
(経年比較・学校種別・地域別)】



21 不審者から子どもを守るための活動について

問30 あなたの住んでいる地域では、登下校中などに不審者から子どもを守るため、どのような活動が行われていますか。《〇はいくつでも》

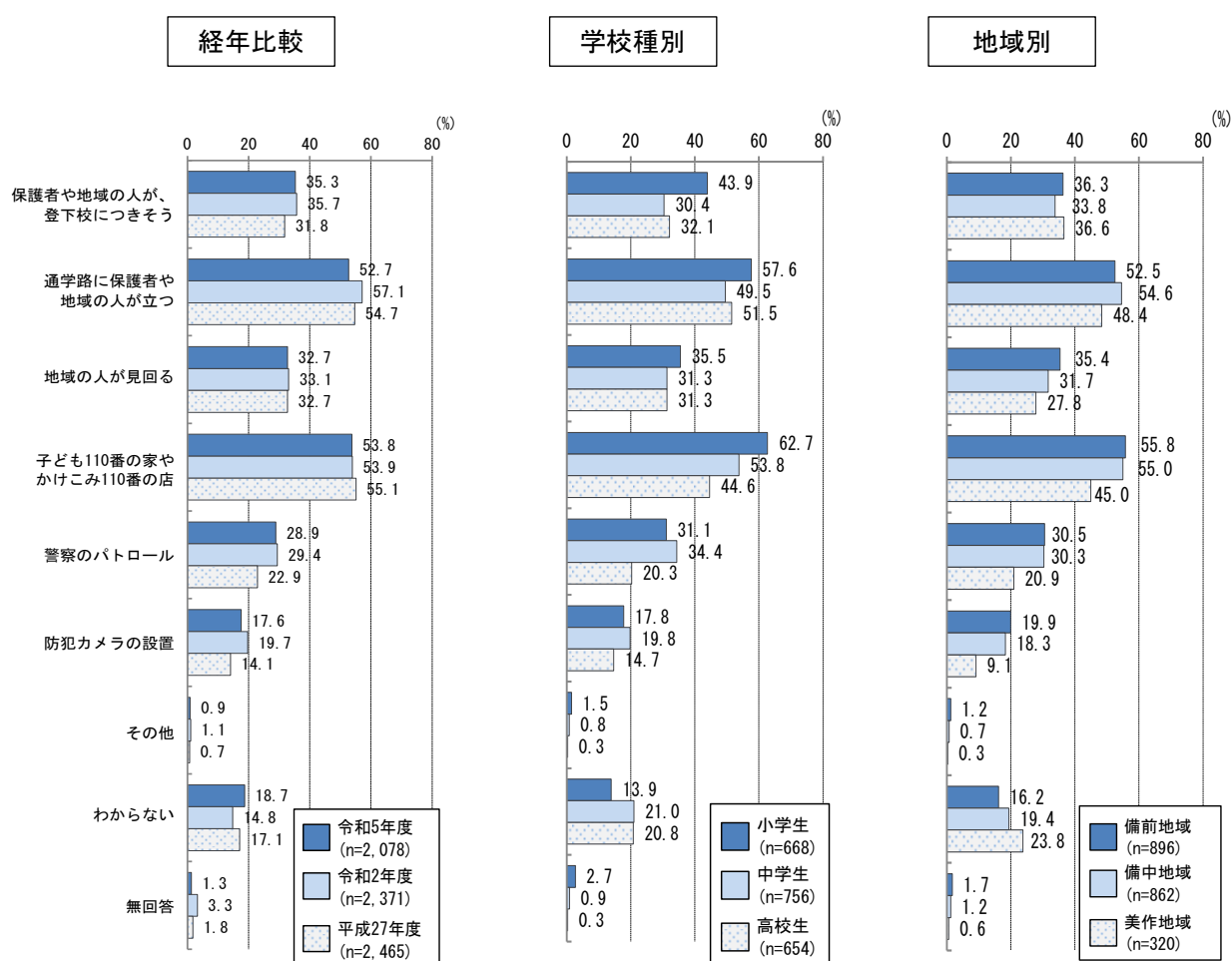
不審者から子どもを守るために居住地域で行われている活動について、「子ども110番の家やかけこみ110番の店」との回答が53.8%と最も高く、次いで「通学路に保護者や地域の人が立つ」(52.7%)、「保護者や地域の人、登下校につきそう」(35.3%)などの順となっている。

経年比較すると、大きな変化はみられない。

学校種別にみると、「子ども110番の家やかけこみ110番の店」との回答は小学生で6割超と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「子ども110番の家やかけこみ110番の店」「防犯カメラの設置」との回答は美作地域で他の地域に比べ低くなっている。

【図表 不審者から子どもを守るために居住地域で行われている活動
(経年比較・学校種別・地域別)】



22 子どもの安全を守るために重要なことについて

問3 1 あなたが、登下校中に危険な目にあわないために特に重要だと思うことは何ですか。

《○は2つまで》

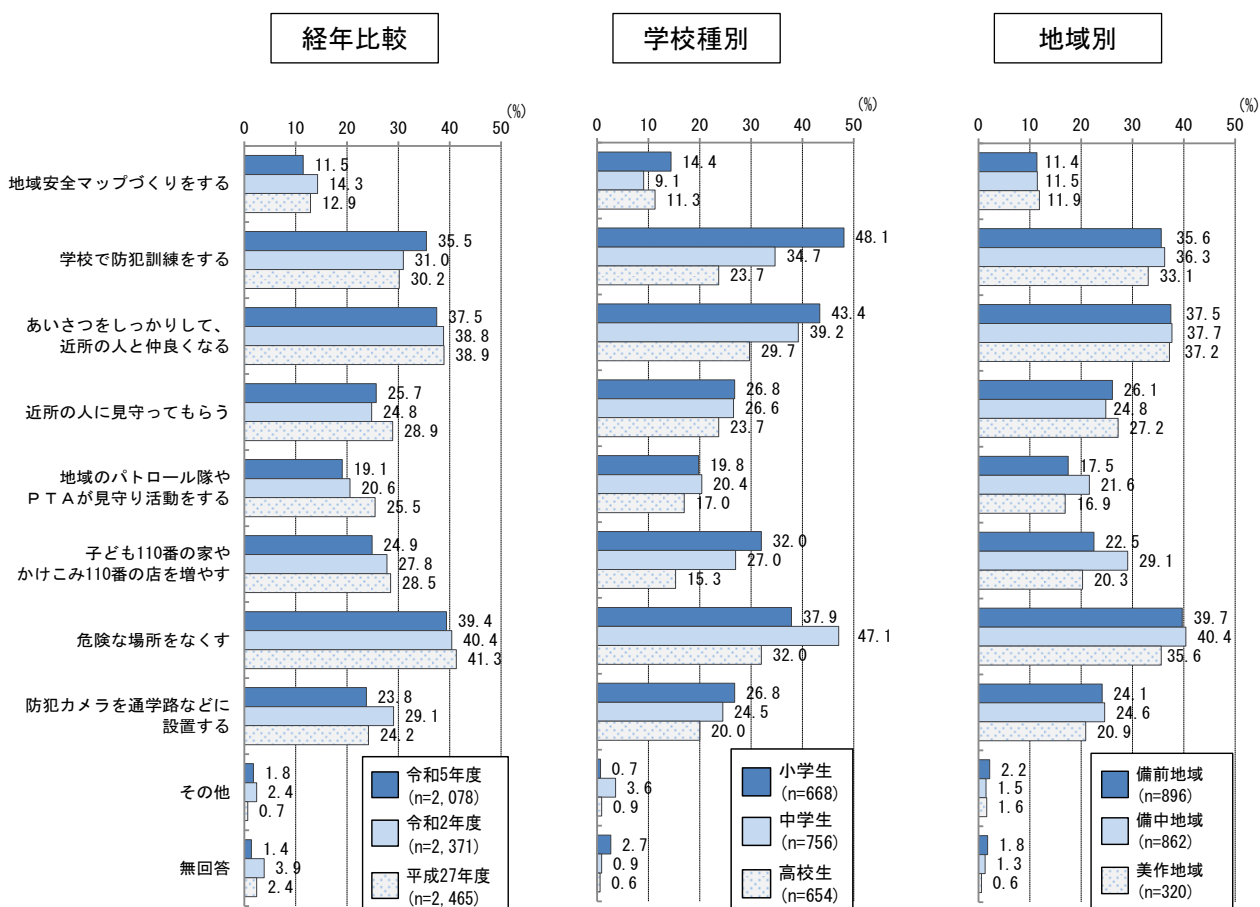
登下校中に危険な目にあわないために重要なことについて、「危険な場所をなくす」との回答が39.4%と最も高く、次いで「あいさつをしっかりと、近所の人と仲良くなる」(37.5%)、「学校で防犯訓練をする」(35.5%)などの順となっている。

経年比較すると、「学校で防犯訓練をする」との回答は今回調査が前回調査を4.5ポイント上回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて増加傾向にある。一方、「地域のパトロール隊やPTAが見守り活動をする」との回答は今回調査が前回調査を1.5ポイント下回っており、平成27年度調査から令和5年度調査にかけて減少傾向にある。

学校種別にみると、「学校で防犯訓練をする」との回答は小学生が約5割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっている。

地域別にみると、「子ども110番の家やかけこみ110番の店を増やす」との回答は備中地域で約3割と他の地域に比べ高くなっている。

【図表 登下校中に危険な目にあわないために重要なこと（経年比較・学校種別・地域別）】



23 「ヤングケアラー」という言葉の認知について

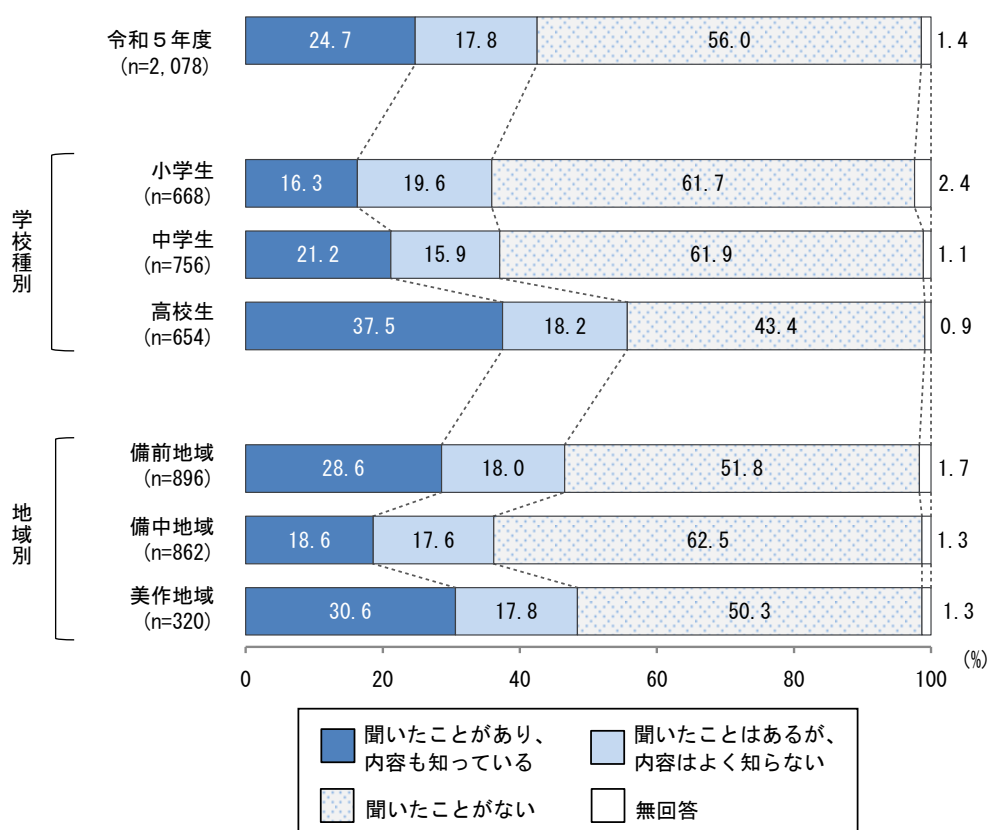
問32 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。《○は1つ》

「ヤングケアラー」という言葉の認知について、「聞いたことがない」との回答が56.0%と最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」(24.7%)、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(17.8%)の順となっている。

学校種別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答は高校生が約4割と高く、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて高くなっている。

地域別にみると、「聞いたことがない」との回答は備中地域で6割超と他の地域に比べ高くなっている。

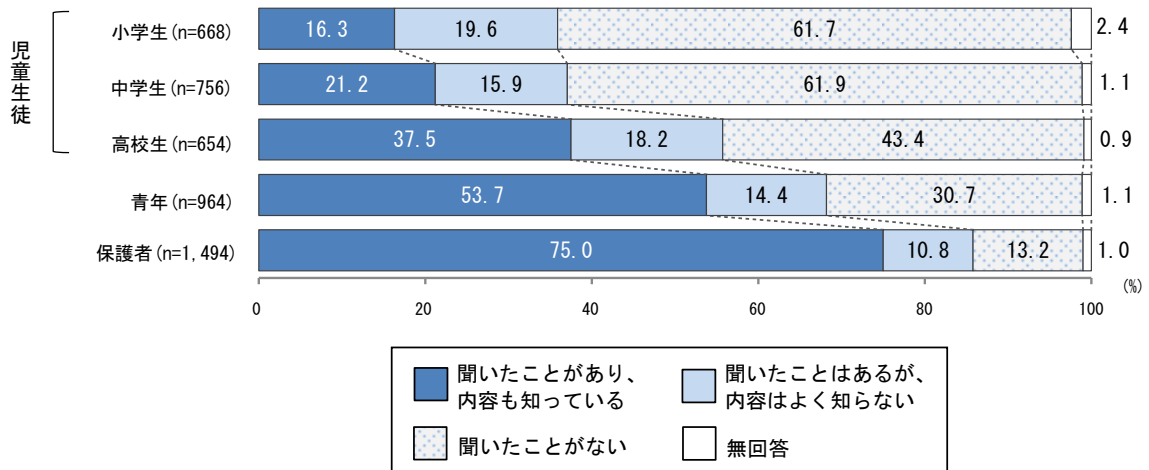
【図表 「ヤングケアラー」という言葉の認知（全体・学校種別・地域別）】



<問 32 児童生徒・青年・保護者の比較>

「ヤングケアラー」という言葉の認知について、年齢層が上がるにつれて「聞いたことがあり、内容も知っている」との回答が高くなっている。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉の認知（調査対象別）】



(問32で「1~2」に○がついた人だけお答えください。)

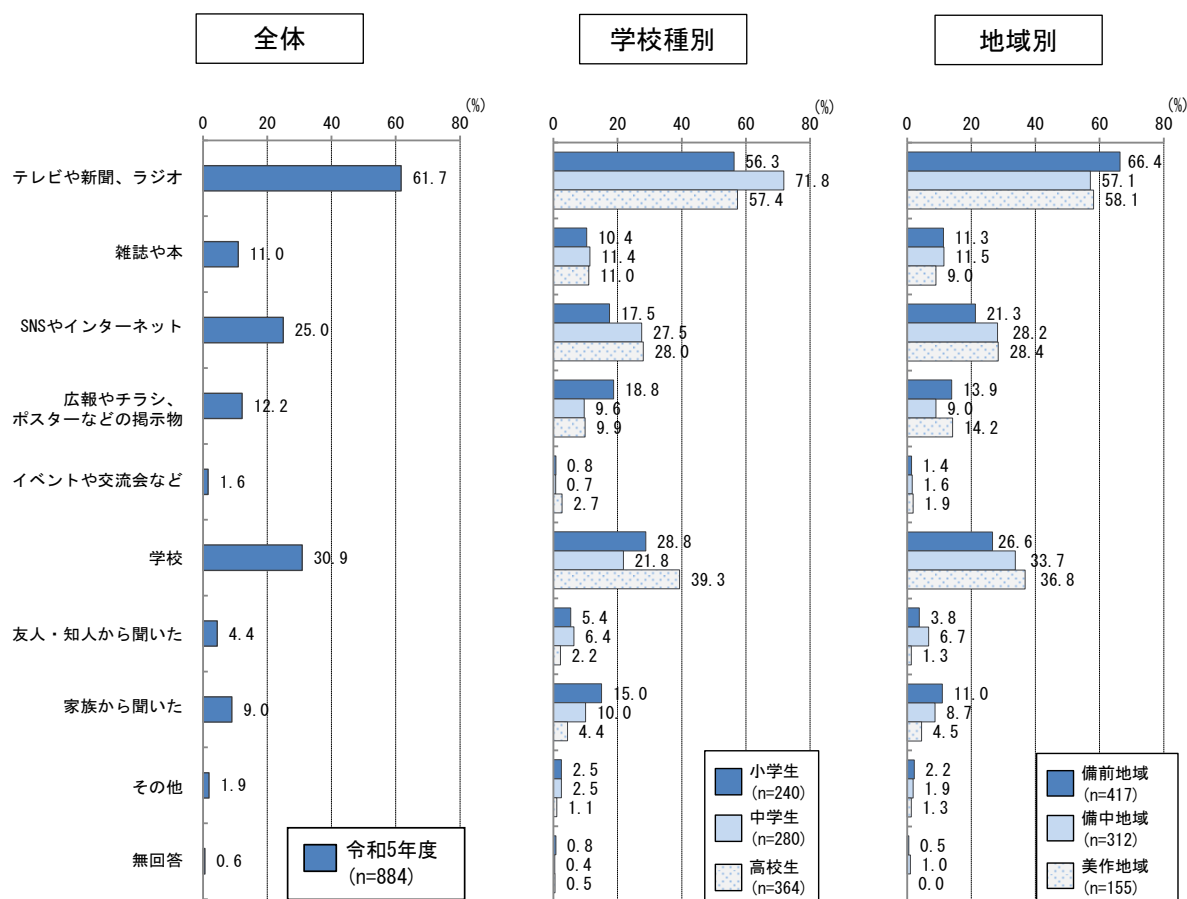
問32-1 「ヤングケアラー」という言葉を、どこで知りましたか。《○はいくつでも》

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったかについて、「テレビや新聞、ラジオ」との回答が61.7%と最も高く、次いで「学校」(30.9%)、「SNSやインターネット」(25.0%)などの順となっている。

学校種別にみると、「学校」との回答は高校生が約4割、「テレビや新聞、ラジオ」との回答は中学生が約7割と高くなっている。

地域別にみると、「学校」との回答は備前地域で2割台半ばと他の地域に比べ低く、一方、「テレビや新聞、ラジオ」との回答は備前地域で6割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

【図表 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか (全体・学校種別・地域別)】



24 自由意見

問33 あなたが、周りの大人たちに対して望むことがあれば、ご自由にご記入ください。

全体では391件のご意見・ご要望が寄せられた。区分別では、「子どもの権利について」が118件と最も多く、ついで、「大人の行動に対する不満など」(75件)、「学校・教育について」(61件)、「社会に対する意見・要望など」(46件)などの順となっている。

「子どもの権利について」は中学生で66件と最も多くなっている。また、「大人の行動に対する不満など」は中学生で43件と多くなっている。

【児童生徒（自由記述分類表）】

分類	合計	小学生	中学生	高校生
酒・たばこについて	16	6	8	2
安全・安心について	40	8	28	4
学校・教育について	61	18	33	10
スマホ、ゲームについて	11	2	7	2
環境について	16	6	8	2
子どもの権利について	118	19	66	33
大人の行動に対する不満など	75	14	43	18
社会に対する意見・要望など	46	11	24	11
将来について	9	5	4	0
その他	24	11	9	4
合計		88	213	89

※複数の内容を含む意見があるため、意見総数と内容件数は一致しない。

《主な自由意見》

問 16 あなたが、今の大人を見て、悪いと思うところはどんなところですか。

※小学生にはない設問

問 16「その他」に書かれた主な自由意見

分類	内容	学校種別
社会について	税金を上げたりしたり、寝ててもお金をもらう国会議員。	中学生
	後先考えずに、戦争する。	中学生
	増税する。	高校生
	検討しもしないところ。国民のことを何も考えていない。	高校生
	政治への理解度が低い。	高校生
	既存の時代遅れのようなルールを変えたがらず、保守的になっている	高校生
マナーについて	パチンコなどのかけごとをする。	中学生
	考え方が古臭い。周囲のことを考えない発言が多い（主に親）。	中学生
	口が悪い。	中学生
	平気で悪口や陰口を言う。	中学生
	挨拶をしても返さない。	高校生
しつけについて	みんな子どもだった頃があるのだから、もう少し子どもの目線に合わせて考えてもらいたい。	中学生
	人には言うけど、自分はやらない、守らない。	中学生
	古い悪い考えをいつまでも持つ。指摘されたらおこる。その姿をいけないと思っていない。	中学生
	スマホを持たせてくれない。遊びに行かせてくれない。	中学生
	相談をしても否定から入るところ。	高校生
	虐待や育児放棄する人が多い。望まない妊娠等で赤子を平気で捨てる人がいる。	高校生
	大人がしていることを子供がすると怒る。	高校生
その他	動物虐待。	中学生
	取り繕っていつも無理して、疲れている。	中学生
	勉強意欲がない。	高校生
	SNSで自分がどう見えるか気にしすぎ。	高校生
	偏見が多い。	高校生

問 19 あなたは、岡山県は将来どのような県になってほしいと思いますか。

※小学生にはない設問

問 19「その他」に書かれた主な自由意見

分類	内容	学校種別
都会化 について	岡山県全体が楽しい県。	中学生
	不便のない県。	中学生
	にぎやかになってほしい。	中学生
	都会にあるような店が増えてほしい	高校生
遊ぶところ について	スケートボードができる環境。	中学生
	楽しめる施設がある県。	中学生
	どんな人でも「岡山楽しい、来て良かった」と思える県。	中学生
	遊び場が多い県。	高校生
その他	地震対策をもっと進めている県。	中学生
	誰もが安心して暮らせて、岡山の良いところをアピールできる県。	中学生
	ポイ捨てが減ってほしい。	中学生
	部活動が盛んな県。	中学生
	一時停止が守れる県。県民性があたたかい県。	中学生
	県の良い所を県民が自信を持って言える県。全ての市と岡山県が協力する。	中学生
	国際交流が盛んで、留学制度が充実している県。	中学生
	他県にも貢献ができる県。	中学生

問33 あなたが、周りの大人たちに対して望むことがあれば、ご自由にご記入ください。

<問33の主な自由意見>

(1) 酒・たばこについて

内容	学校種別
お酒をあまり飲まない方がいい。	小学生
悪いものは悪いと決めつけず、その人のことも考えたほうがよいと思う。ギャンブル、酒、たばこが悪いと、理由を言わずにただ言うのはおかしいと思う。	小学生
受動喫煙をするかもしれないから、たばこを人前やひらけた場所で吸わないでほしい。	小学生
たばこなどを吸う時は、喫煙所で吸ってほしい。	中学生
たばこの煙を子どもに吸わせないでほしい。ビールを子どもの手の届く所に置かないでほしい。	中学生
たばこが臭くて大嫌いなので吸う人がいなくなってほしい。	中学生
たばこや酒のマナーを守ってほしい。特にたばこは場所とかが規制されているにもかかわらず別の場所で吸っている人がいる。	中学生
たばこを吸える場所と吸えない場所をはっきりさせてほしい。	中学生
自分たちの価値観や先入観が絶対に正しいと思わないでほしい。たばこなど、子どもの健康が悪くなるようなことはしないでほしい。	高校生
電車で酒を飲むことをやめてほしい。	高校生

(2) 安全・安心について

内容	学校種別
街灯のない所があって午後6時ごろになると真っ暗になるので街灯を増やしてほしい。	小学生
防犯訓練をしてほしい。通学路の歩道を広くしてほしい。	小学生
一人一人が安心して暮らせる社会をつかっていって欲しい。犯罪・争いのない社会にして欲しい。	中学生
交通ルールをきちんと守ってほしい。	中学生
スピードの出しすぎや信号無視などしないよう気をつけてほしい。	中学生
最近是不審者などが増えているので周りの大人が見守っていてほしい。	中学生
信号無視する人が多過ぎる。毎日の登校や下校のときに信号無視する場面を多く見る。警察には、一時停止違反の取り締まりだけでなく、信号無視も取り締まってほしい。	高校生

(3) 学校・教育について

内容	学校種別
子どもが親などに相談できない時に話をきいてほしい。	小学生
ストレス発散などと言って殴ったり、棒で叩いたり、刃物などをもって脅したりしないでほしい。人が嫌がることをわざとして人を泣かせたりしないでほしい。たまに優しくしてくれて嬉しいけど、少し嫌な時もあるから、しつこく聞いてきたりするのをやめてほしい。	小学生
学校の先生の言葉づかいが悪い。先生は自分の考えばかりを私たちに押しつけないでほしい。	小学生
部活時間が短くなることはやめてほしい。私は部活をもっと頑張りたいのにできなくなっているのが辛いし、私達子どものことを分かっていないなと思います。	中学生
子どもを声の音圧で黙らせずに、ちゃんと理由を聞いてから言うことをしてほしい。	中学生
昔の考えの押しつけはやめてほしい。「昔はこうだった」という教育は、成長に悪影響だと思う。いじめへの対処もどうにかしてほしい。証拠などが無くても、ちゃんと真偽を確かめてほしい。	高校生
インターネットに関するモラルやリテラシーについて大人は自身で考え注意することを大事にしてほしい。身近な子どもに対しても、しっかりと教育や指導をしてもらいたい。	高校生

(4) スマホ、ゲームについて

内容	学校種別
スマホばかり見ずに、しっかり話や音読を聞くこと。	小学生
子どもに歩きスマホをするなど言いますが、大人の方が歩きスマホをやっているし、ぶつかりそうになったこともあります。自分達が出来ていないことを守れと言わないでください。自分達ができてから言ってください。でないと、示しがつきません。	小学生
スマホを持たせてほしい。	中学生
子どもに「スマホの時間が長すぎる・スマホがないと何もできないのか」と言うけど、大人もそこまで子どもと変わらないので自分が改善してから子どもに注意してほしい。	高校生

(5) 環境について

内容	学校種別
道にゴミをポイ捨てしている人がいるからやめてほしい。	小学生
環境に優しく、自然豊かな世界にしてほしい。	中学生
環境問題について理解を深めて、ゴミのポイ捨てなどをやめてほしい。	中学生

(6) 子どもの権利について

内容	学校種別
自分の子どもを所有物にしないこと。	小学生
親戚と自分を比べて親戚ばかりほめるので、平等に接してほしい。	小学生
みんな平等に、態度を人によって変えないで接しよう。	小学生
もうちょっとみんなの意見を出させて。	小学生
「子どもだから」って言わないでほしい。もっと好きなことや、やりたいことをしたい。	小学生
自分の気持ちを分かってほしい。	小学生
大人は、すぐ怒る。自分のことしか考えず、自己中心的に子どもに怒ることがあるから良くないと思う。	中学生
子どもを甘く見ないでほしい。DVは許されない。子どもを殴る蹴るはおかしい。	中学生
子どもの意見に耳を傾け、その意見を取り上げてほしい。	中学生
子どもの意見を尊重するべき。	中学生
子どもも一人の人間であるため、意見を無視したり聞き入れないのはあってはならないと思います。自分が正しいと思うのは止めましょう。	中学生
まずは話を聞いてほしい。失望したような目をしないでほしい。すぐ否定しないでほしい。子どもの時の心を忘れないでほしい。	中学生
多様性や個人差があることを理解する。	中学生
意見を聞く前に否定することをやめてほしい。	高校生
干渉しすぎないようにしてほしい。干渉されすぎると、言いたい事もやりたい事も言える環境じゃなくなるので辛い。	高校生
Z世代とか言って一括りにしないでほしい。自分達がしてこなかったものの責任を若者に押し付けないでほしい。	高校生

(7) 大人の行動に対する不満など

内容	学校種別
登下校中などに路上で挨拶をしたら、約7割の人は明るく返してくれるけど、あと3割はイヤホンを付けたり、暗そうな人で、返してくれません。一部だけでなく、町全体が明るくなるようにしてほしい。	小学生
口だけで行動が伴っていない人は、行動もするべきだと思う。	中学生
日本の未来のため、失われた30年を取り戻すため、みんなが安心して暮らせるために、もう少し夢や希望をもって様々な活動に取り組んでほしい。	中学生
勉強意欲のない大人が多すぎる。ポイ捨てやたむろなど、見ていて恥ずかしい大人が多すぎる。	高校生

(8) 社会に対する意見・要望など

内容	学校種別
大人達の世界は色々あるけど、戦争はしないでほしい。	小学生
もう少し休んでください。体にしろ、心にしろ、無理をしているのはとっても伝わります。こちらが顔色をうかがいながら接するのもすごく疲れるし、自分もこうなってしまうのではないかと不安にもなります。学校では心の休ませ方を教えてくれませんが、もう少し休みやすい社会を作ってください。	中学生
みんなが安心して暮らせるよう、さまざまな活動に取り組んでほしい。	中学生
年功序列を重要視するのをやめてほしい。	高校生

(9) 将来について

内容	学校種別
立派な大人になりたいと思う。	小学生
みんなが楽しく笑って過ごせるような世界になってほしい。	小学生
安全な未来を作ってください。	小学生
できれば、これからの若い人たちにまかせるのではなく、自分たちで終わらせられることを終わらせてください。解決してください。引き継ぐのは嫌です。	中学生